

「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」（素案）に対する意見と市の考え方

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

1. 10代以下（子ども）からの意見

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
《計画全般に関わるもの》（6件）				
1	<p>1 赤ちゃんがすくすくそだつように安心してむかえられるのがいい。</p> <p>2 毎日楽しくすごせるように、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家に近い所がいい ・守ってくれるいい <p>3 こまっている子どもがいなくなるように、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いっしょにすごせなくても代わりにしている人と楽しくすごせるようにいい。 <p>4 いつでも楽しくいられるよう、父、母を応援する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・父・母相だんじょができるいい。 <p>5 安全、安心 災害時、安心してくらせる場所を作った方がいい</p>	<p>「いい」とご意見をいただいた、5つの目標に向かって、みんなの笑顔があふれるまちをつくっていきます。</p> <p>家に近い所に楽しい場所をつくっていけるように、子ども食堂など、子どもの居場所を増やしていきます。</p>	1	1
2	<p>①は赤ちゃんのこと、お父さんお母さんのことをよく考えていて、将来、赤ちゃんが生まれたときに①がひろがっていたら、とても役に立つし、便利だと思いました。私は、サン・ムラタで命について学び、赤ちゃんを育てる大変さが分かったので、より便利だと思いました。</p> <p>②は、私たちのいつもの生活について考えてくれていて、もしも、人生楽しくない人でも、このしえんがあれば、より、毎日が楽しくなるのではないかと思います。</p> <p>③と④は、親子生活を、楽しく、しようとしてくれていて、これがあればみんなが笑顔になれると思います。</p> <p>⑤は、私たちの心によりそってくれていて、安全にくられれば、心配もなくなるし、よりよく、楽しい生活ができるようになると思います。</p>	<p>①から⑤の5つの目標に向かって、みんなの笑顔があふれるまちをつくっていきます。</p>	1	1
3	<p>これはいいと思いますそのりゆうは、みんながたのしく、学校や生活などができるようになったらいいと思ったからです。安ぜんにくらせるなど、町をたのしくさせたいと思ったからです。</p> <p>あかちゃんなどがすくすくそだつと、みんなも、うれしくなるからです。</p> <p>しょうがいがあったとしても、みんなとえがおでいたいからです。</p>		1	1
4	<p>いいとおもいます。そのりゆうは、人がこまったときなどにいいとおもいます。</p>		1	1
5	<p>北九州市内でこのように様々な施策に対する取り組みがあり、推進してくださっていることを初めて知り、とても安心しました。</p>	<p>引き続き、本計画に基づき、子ども・子育て支援に取り組みます。</p>	1	1
6	<p>ふつうに過ごしているときはあまり感じないかもしれないけど、改めて読んでみると、「北九州市は、こんなにもたくさんの方をされているんだな」と思いました。私もこの5つの目標に沿って過ごせるよう、がんばりたいです。</p>	<p>もっとたくさんの方に、子どもや子育てを応援してもらえよう、この子どもプランを広く伝えていきたいと考えています。</p>	1	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>《総論》（1件）</p>				
7	<p>「あかちゃんがすくすくそだつようにする」というのはとても大切だと思います。子どもが増えて、「放課後児童クラブ」がもっと楽しくなることにつながるからです。</p>	<p>初めて赤ちゃんをお世話するときは、いろいろ分からないことがありますが、北九州市では、お父さんがお母さんが、そういったことを勉強したり、お医者さんなどの専門家に相談できるようにしています。</p> <p>お友達がたくさんいると、放課後児童クラブもにぎやかで楽しくなることでしょう。これからも、赤ちゃんがすくすく育つような北九州市を目指して努力していきます。</p>	1	1
<p>《各論》（307件）</p>				
<p>施策1 母子保健の充実（12件）</p>				
8	<p>あかちゃんはどんなことをしてもらおうとよるこぶのか、あかちゃんはどんなことをするといやがるのか、いもうとがいるからいやがることやうれしいことをおしえてほしいです。</p>	<p>小学校・中学校などで「思春期健康教室」をしています。その中で、赤ちゃん人形の抱っこ体験などができます。</p> <p>これからもこの「思春期健康教室」を続けていきたいと思っています。</p>	2	1
9	<p>お父さんやお母さんにも学べる場所があるとはじめてしました。</p>	<p>区役所で、お父さんやお母さんが一緒に赤ちゃんのおせわのしかたなどについて学べる両親学級などの教室を開いています。</p> <p>これからも、お父さんやお母さんが安心して赤ちゃんをむかえられるように、教室をつづけます。</p>	1	1
10	<p>お父さんやお母さんがおせわができるように学べる場所を作れたらいいと思います。理由は、分からなかったらあかちゃんがいい育ち方ができないからです。</p>	<p>区役所で、お父さんやお母さんが一緒に赤ちゃんのおせわのしかたなどについて学べる両親学級などの教室を開いています。</p>	2	1
11	<p>お父さんお母さんが赤ちゃんのおせわができるようにミルクのあげ方やお風呂の入れ方などを分かる場所をつくるというのがいいと思った。</p> <p>なぜなら、すくすく育つには、育て方をしておかないとあかちゃんはすくすく育てられないと思ったから。</p> <p>しかも、ネットでもいいけど少し意味が分からない人もいるのでやはり人の言葉でしっかり伝えた方がいいと思ったから。</p> <p>あとほくは一回体験したことがあります。サン・村田に行って命について学んだから。必要と思った。</p>	<p>これからも、赤ちゃんがすくすく育つよう、お父さんやお母さんが一緒に赤ちゃんのお世話について学べる教室をつづけます。</p>	1	1
12	<p>私は、「赤ちゃんが生まれてくるのを、お父さんやお母さんが安心してむかえられるようにする」というのがいいと思います。理由は私がお母さんになったときにちゃんと準備をしていたら、とても安心できると思ったからです。</p>		1	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
13	赤ちゃんのミルクのあげ方やお風呂の入れ方など学べる場所をつくるのは、いいと思います。理由は、何も知らないで赤ちゃんのお世話していたらちゃんと育てられないからです。		1	1
14	ぼくは、お父さんやお母さんがあかちゃんの育て方を学べる場所をつくるのがいいなと思いました。りゆうは、ぼくもお父さんになったばかりのときに、赤ちゃんの育て方が分からないので、そこで学べば赤ちゃんを元気に育てることができるのではないかと思ったからです。		1	1
施策3 乳児・幼児期の教育や保育の充実（5件）				
15	「困っている子どもがいなくなるようにします」はいいと思った。どんなにこまっていたもどんなかていてもみんな笑顔で暮らせるようにするのはいいことだと思う。	「困っている子どもがいなくなるようにします」といった5つの目標に向かって、みんなの笑顔があふれるまちをつくっていきます。	1	1
16	お父さん、お母さんが病気になった時、赤ちゃんをあずけられれば、お母さんお父さんの看病をぼくができるから、保育所や幼稚園がいい場所になると思いました。	北九州市には、一時保育というお父さん、お母さんが病気等の時に赤ちゃんを保育所に預けることができる制度があります。市内では82箇所でおこなっているので、お父さん、お母さんが病気の時は利用してください。	1	1
17	赤ちゃんをあずける保育園を作る。（大人も入ってもいい）	保育園に入るためにはお父さんお母さんが働いているなど、いろいろな決まりがありますが、保育園に赤ちゃんも入ることができます。「大人も入ってもいい」とありますが、お父さんお母さんはお仕事をしているため保育園ですと一緒にご一緒することはありません。でも、子育てに心配がある場合は、お父さんお母さんと一緒に過ごすことのできる「親子通園（おやくつえん）」というものもやっています。	2	1
施策4 放課後児童の健全育成（12件）				
18	児童クラブをしめるのが今は6時30分だけど7時までにしてほしい	クラブを実施している人たちの意見も聞きながら、午後7時まで開いているクラブが増えるよう、努力していきます。	2	1
19	放課後児童クラブの部屋を増やし、おしゃべりができる場所をつくります。	利用する子どもの人数によって、部屋の数などを決めています。子どもの人数が多くなった場合には、部屋の数を増やすことができるかもしれません。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
20	放課後児童クラブで自然とふれあうのは、いいことだしみんながたのしめるようにするほうがいい。理由せつかくクラブにくるなら楽しみたいから	放課後児童クラブが、みなさんにとってもっと楽しい場所になるように努力していきます。	2	1
21	わたしがいる学童は、ふだんできないことやほかの学童ではできないことをして、日ごろできないあそびができて、先生もとってもやさしいからすごしやすいです。もっとこんな学童がふえるといいと思います。		2	1
22	私のならっている学童ではフラダンスなどをおしえてもらって、おどったりしています。フラダンスは優しく教えてくれるのでおぼえるのがたのしいです。フラダンスのほかにもダッシュむらというものもあって、はたけのしごとをします。フラダンスもダッシュむらも、入らなくてもいいし、入ってもいいのでしやすいです。これからたのしい学童がふえるといいです。		2	1
23	学童保育や公園はもっと楽しい場所にしたいと思いました。理由はもっともっと多くの人に来てほしいからです。		2	1
24	ぼくはこどもたちを見てくれる放課後児童クラブがあることがいいと思います。 なぜかという家で一人で遊ぶよりも児童クラブで楽しくみんなで遊んだほうがいいからです。 それに、大人になって3～4歳の子どもをもったときに児童クラブの子どものしつけ方やめんどうの見かた話の聞き方などが分かります。 家で勉強が分からないとき、1人だと分からないままだけど、児童クラブにいと同級生の友達に聞けたり、先生に聞けたりします。 このプランを聞いて、北九州市を安全で元気な市にしなければいけないと知った。		2	1
25	学童には学生の人に来てくれたりしています。なので、こんどは学童の人がようち園に行っこりゅうしたりすると思います。		2	4
26	ほうかごじどうクラブがもっと楽しい場所にするには、おばあちゃんなどとも関わりをつくり、みんなでどこかに行ったりする。		2	4
27	ほうかごじどうクラブをもっとたのしくするには、どこかにでかけたりするのもいいし、みんなでする行じをつくると思います。	2	4	

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
28	放課後児童クラブで学生ボランティアとして活動する中で、長期休暇中のイベント内容や、季節に合わせた児童の手作りによる飾りなど、児童クラブの魅力の向上を常と感じます。施策（4）に関しまして、私も微弱ながら協力してまいりたいと思いました。	北九州市の放課後児童クラブは、校区の社会福祉協議会など地域が運営委員会を構成し、創意工夫を凝らして、地域の特色を活かした運営を行っていただいておりますが、引き続きクラブの魅力向上のために、ご協力いただきますようお願いいたします。	1	1
施策5 地域における子どもの居場所づくり（94件）				
29	あそべる場所の料金を安くする。	北九州市では、子どもが利用しやすいように料金を低くしています。例えば、元気のもりでは、子ども100円で一日中遊べます。子どもの館もフリーパスで子ども300円で一日中遊べます。 こうした料金は、そこで働く人のお給料、家賃、電気代など、その遊び場をずっと続けるために必要なお金（費用）を考えて決めます。 市の施設の料金が低いのは、そういった費用の多くをみなさんの税金で負担する（支払う）ようにしているからです。全部の費用を税金で負担する方法もありますが（そのときは料金が無料です）、利用する人と利用しない人との差をつけるため、いくらか料金をもらうところもあります。	2	1
30	赤ちゃんでも遊べる場所がほしいです。	北九州市は、赤ちゃんでも遊べる場所として、区役所などに「親子ふれあいルーム」というものを作っています。部屋の中で、安心して遊べる場所です。 この「親子ふれあいルーム」以外にも、小倉駅近くの「元気のもり」や黒崎駅近くの「子どもの館」の中に、赤ちゃんが遊べるコーナーを作っています。こちらもお部屋の中なので、安心して遊べます。 家の近くにある市民センターでも、「フリースペース」という赤ちゃんの遊び場を作っているところもたくさんあります。 これからも赤ちゃんが安心して遊べる場所づくりに取り組んでいきます。	2	1
31	犬の遊ぶ所がないからドッグランを作ってほしい	北九州市は、市が管理している公園2か所にドッグランを作っています。このほか、お店などがドッグランをやっているところもありますし、若松区には、警察犬の訓練所がやっているドッグランもあります。 北九州市では、ドッグランが欲しいというみなさんの声を受けて、公園の中にドッグランを作る取り組みを行っています。公園の近くに住んでいる人の生活に影響がないかとか、公園を使っている他の人たちとすみ分けできるかといったことを確認して、「できる」と判断したときにドッグランを作っています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
32	共働きで、さみしくても友達と遊べるようにします。	これからも放課後児童クラブを楽しい場所にしていきます。 放課後児童クラブ以外でも、みなさんがいつでも遊びにいける、友達がたくさん集まる居場所をたくさんつくっていけるよう取り組んでいきます。	2	1
33	子どもたちだけでも行けるショッピングモールをつくってほしい。	ショッピングモールは、「大人と一緒に出かけするもの」というふうに考えてしまいがちですが、子どもだけでも行けるショッピングモールがあると、面白いし、楽しいと思います。 こうしたものをつくるとなると、なかなか難しいかもしれませんが、その代わりとして、学校や市民センターなどでやっているバザーや縁日（えんにち）などもあります。みんなで意見を出し合えば、学校のバザーなども、ショッピングモールに負けない楽しい場所になると思います。 みなさんにとって楽しい場所がもっと増えていくよう、これからも努力していきます。	2	1
34	子どもたちだけでも行けるような、楽しく遊べるような所をつくってほしい。	これからの目標として、「全ての子どもが自然と足を向けることのできる、楽しく魅力ある居場所を、地域の中のでできるだけたくさん生み出せるよう取り組む」をあげました。 地域とは、「子どもが歩いていける場所」に、という意味です。お友達と楽しく遊んで過ごせる場所を、家の近くにてできるだけたくさん作っていくよう取り組んでいきます。	2	1
35	子どもたちが遊べる所を作ってほしいです。		2	1
36	近くに室内で遊べる場所がほしいです。		2	1
37	校区内で遊べる場所がほしいです。		2	1
38	1人で、おちつける場所がほしい	みんなとわいわい楽しく過ごすことも良いですが、一人になって落ち着きたいときもあると思います。 誰もいない場所なのか、静かな場所なのか、くわしくは分かりませんが、北九州市には、海や山など自然もいっぱいです。図書館など静かに過ごせる場所もあります。 ぜひ、お父さんやお母さん、先生やお友達などに相談してみてください。24時間受け付けている電話相談（093-881-4152）もあります。相談しやすい人に相談してみてください。	2	4

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
39	安全な遊び場をふやします。	施設や公園などの子どもの遊び場については、子どもたちが遊ぶときにケガをしないかということを確認してつくっています。 （なお、素案69ページの「2 施策の柱 ①子どもの遊び環境の充実」の文章を下記のとおり修正します。 「安全性に配慮しながら、公園や屋内施設など、これまで整備してきた様々な	2	2
40	西折尾中公園がせまいのでほかに広い公園をつくってほしいです。	折尾地区では折尾駅を中心に、鉄道の高架化や道路の拡幅、住環境を改善する面的な整備を一体的に行う折尾地区総合整備事業を行っています。その中で公園・緑地が整備される予定になっています。	2	1
41	ブランコのある公園が少なくなっている気がします。なぜでしょうか。ひびきの北公園にブランコをお願いします。	いま、ひびきの北公園には、遊具（ゆうぐ）をいろいろ組み合わせた「複合遊具（ふくごうゆうぐ）」というものを2つおいています。 いまのところ、あたらしい遊具をおく予定がありませんが、ひびきの北公園にあたらしい遊具をおくことになったときは、いただいたご意見も参考（さんこう）にしていきたいと考えています。	2	1
42	公園や親子で遊んだりおじいちゃんやおばあちゃんが休めるところをつくるといいんじゃないかなと思います。わけは、このようなものを作ることで、家族や地いきの人とたくさん関わることができるようになるから、人とのコミュニケーションが取れ、笑顔があらわれるすてきな町になるとと思います。	公園の整備につきましては市民の皆様の意見を取り入れながら計画的におこなっています。	2	1
43	公園のベンチに日かげを増やしてほしい		2	1
44	こうえんがあってほしいです（ぼーるあそびができる。じてんしゃにのれる。といれがあって、こどもだけでいってもあんぜんなこうえん）		2	1
45	こうえんを小さい子からだれでも楽しい公園にしてほしい。		2	1
46	そとでもっとあそべるようにしてほしい 例えば公園に、子供達専用の遊び道具入れと、簡単な休憩室、授乳などができる小さな設備を設置します。そこを拠点に、子育て支援拠点活動を実施します。（屋外型の親子ふれあいルーム 多世代交流可能型）		2	1
47	公園に、バスケットゴールをつけてほしい。		2	1
48	公園の遊具を増やしてほしい		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
49	公園をもう少しきれいに、明るくて、遊具がたくさんあるようにしてほしいです。		2	1
50	ゆうぐを少しでも、おおく作れば、小さな赤ちゃんがふえた時に、やくだつし、今の自分もたのしくあそべる。		2	1
51	低学年、高学年と遊具を分けて、上の学年の人も、あきないような遊具にしてほしいです。		2	1
52	公園を増やしてほしいです。		2	1
53	公園をもっと楽しい場所にしてほしい。		2	1
54	(公園に) 公しゅうトイレをつくってほしいです。		2	1
55	公園のベンチに、屋根をつけるか、木かげができるようにしてほしい。	いつでも公園を利用してもらえよう、みなさんの意見をききながら、よりよい公園づくりを進めていきます。	2	1
56	じてんしゃののれるこうえん（自転車の練習ができる公園。芦屋の公園までサイクリングに行く。貯水池の周りは、すこしはしりにくい。こどもようではない）	自転車（じてんしゃ）の練習（れんしゅう）ができる公園としては、「交通公園（こうつうこうえん）」があります。自転車の乗り方を学んだり、交通ルールを学ぶことができます。ぜひ利用してみてください。	2	1
57	とてもいいものばかりで、みんなが幸せになれると思います。もっとこの町がすきになれました。特に（パブコメ資料子ども向けの）②の毎日たのしくすごせるようにのところがいいです。もっと美しい町になったらいいなと思いました。みんなが楽しくかかわりあえるようなところや、公園をつくったらいいなと思っています。	これからも、公園をもっと楽しい場所にしたり、いろんな年齢の子と遊んだり、自然の中でのびのび遊べるようにしていきたいと考えています。	2	1
58	もっと広い公園がほしい	北九州市には、大小合わせて数多くの公園があります。公園の種類も様々です。北九州市のホームページでは、「北九州市公園の本」を掲載していますので、ご覧ください。	2	1
59	大きい公園や、遊園地を作ってほしいです。		2	3
60	公園にアスレチックをつくってほしい	グリーンパークでは、大型ネット・アスレチック遊具（ゆうぐ）「空中冒険遊具（くうちゅうぼうけんゆうぐ）あみ〜こ」が楽しめます。10月にオープンしたばかりです。11種類のチャレンジができますので、ぜひ遊びにきてください。	2	1
61	アスレチックができるたのしい公園を作ってほしい。		2	1
62	公園をふやしてください。	北九州市には、大小合わせて数多くの公園があります。公園の種類も様々です。北九州市のホームページでは、「北九州市公園の本」を掲載していますので、ご覧ください。	2	1
63	公園をひろくしてほしい		2	1
64	スポーツが楽しめる広い公園をつくってほしい。		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
65	プレイボードを自由に使えるようにしてほしい。	延命寺臨海公園にできた「北九州スケボーパーク」で楽しむことができます。	2	1
66	公園をもっときれいにしてほしいです。	公園内の清掃など維持管理は、市民の皆様と市が協力しあって行っています。	2	1
67	公園・しせつのざっそうをかって。		2	1
68	公園のトイレをきれいにしてほしいです	一部の公園のトイレについては、利用状況等に応じて週1日から週7日のペースで市が定期清掃を実施しています。今後も、市民の皆様が使いやすい、清潔なトイレを維持できるよう努めます。	2	1
69	ひびきのに児童館が欲しい（こどものいばしょがどこにもない）	これまで北九州市は、「2つの中学校の校区に1館つくる」ことを目標に児童館をつくってきました。今のところ、新しく児童館をつくる予定はありませんが、他の市の施設に児童館をくっつけたりすることも考えながら、子どもの居場所づくりをふやす努力をしていきたいと考えています。	2	1
70	ゲームセンターなど楽しいしせつをつくってほしい	北九州市には、ゲームセンターもたくさんありますが、自然の中で遊んだり、友達といっしょに自分たちだけの遊びを考えたり、知らなかったことをいろいろ知ったりすることも楽しいことだと思います。楽しいものをいろいろ探してみてください。	2	3
71	ゆうえんちがあつたらいいな	スペースワールドは、北九州市の遊園地としてたくさんの人に楽しんでもらっていましたが、残念なことに閉園してしまいました。スペースワールドのあった場所には、大きなショッピングモールや新しい科学館ができる予定です。	2	3
72	ジェットコースターをふやしてほしい	北九州市には、遊園地に代わる楽しいものが他にもあるので、いろいろ探してみてください。	2	3
73	スペースワールドがなくなったから、そんな遊園地をつくってほしい。		2	3
74	がっこうにゆうえんちがあつたらいいな。がっこうにぶうるがあつたらいいな。（いつでもじゆうにはいれるぶうる。がっこうにみんなであそべるゆうぐがあるといいな）	楽しいアイデアをありがとうございます。学校と遊園地（テーマパーク）が一緒になった施設をつくるのはなかなか難しいですが、学校がもっともっと楽しい場所になるといいな、ということだと思います。先生たちにいろいろ自分たちの考えや意見を伝えてみてください。そうすれば、学校がもっと楽しい場所になっていくと思います。	2	3
75	寄付をして、子どもだけのテーマパークを造り、その中に学校を造る。		2	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
76	ふれすぽ がほしい 鹿児島県にあるもの。プールやくさそり、大型遊具、小さな遊園地などがあり、1日中親子で遊べる	ふれすぽは、鹿児島ふれあいスポーツセンターのことでしょうか。ここには確かに大きな遊具や草そりができる場所があります。ラグビー場やプールもあるようです。 北九州市にも草そりができる場所があります。大きな遊具があるところも、プールもあります。 ふれすぽと全く同じものではないかもしれませんが、家族の方と一緒にいろいろ調べてお気に入りの場所を探してみてください。	2	3
77	図書館に自習スペース、談話室（グループ使用できる）をたくさん作って欲しい	学習室などを増やすとなると、閲覧室（本を置くスペース）を減らさないといけない可能性もありますので、図書館の広さなども考えて、しっかりと検討する必要があります。 これからの図書館をどうしていくのか考えるときの参考にしたいと考えています。	2	1
78	大きな一年中使える市民プールがほしいです	現在、八幡東区の桃園公園内に、桃園市民プールを新しく建設しています。 桃園市民プールは、50m、25m、幼児用の3種類のプールを持つ、市内最大規模の室内プールで、令和2年の春頃にオープン予定です。	2	1
79	こどもようのぶうるがあったらいいな (みずまきちょうみんぶーるのようなもの。バスで子どもだけでいけるとなおい。）	これからも、みなさんの声をききながら、利用しやすい施設づくりを進めていきます。	2	1
80	すぐ近くに市民プールができてほしい。		2	1
81	わかものたまりば が、中学校区に一つあるとよい (ユースステーションを、各区に一箇所以上。高校生が日常的に行き来でき、学べる場所を作る。そこは日中は、赤ちゃんや子供が使えるようにして欲しい。たとえば、学童保育の昼間は未就園児、7時以降は若者の集いば、にすればよい) 具体的には、若松イオンの中に、ユースステーションがあると良い。駅から近く、通学途中に立ち寄れるような場所が理想的	ユースステーションを他の場所に増やすかどうかについては、黒崎にある今の施設の利用状況を見ながら、いただいた意見も参考に、これからも考えていきます。	2	1
82	いろいろな年齢の人と、遊んだり自然の中でのびのびと遊べるようにするとういと思う	これからも、いろいろな年齢の子どもたちと遊んだり、自然の中でのびのびと遊んだりすることができるような遊び場づくりを行っていきます。	2	1
83	いろいろな友達と遊んだり楽しいことをもっとできるようにしたいです。		2	1
84	年代ごとの集会を作ったり、交流の場をふやしたりする		2	1
85	毎日楽しくすごせるようにすることはいいことだと思います。6年生と1年生とちがう学年であそぶといいと思います。 困っている子どもがいなくなるようにすることもいいと思います。ひとを傷つけないようになかよく遊んだり、仲間はすれにしないようにするとういと思います。もっと楽しくなればいいと思います。	これからも、いろいろな年齢の子どもたちと遊んだり、自然の中でのびのびと遊んだりすることができるような遊び場づくりを行っていきます。 子どもたちが遊びの中から、困っている子を誘ったり、みんなで楽しく遊んだりできるようにするなど、学んでもらえるような遊び場になるようにしていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
86	いろいろな年れいの子と遊んだり、自然の中で遊びのび遊べるようにするには、ちがう学年とペアになって、森の中に入り、木登りやアスレチックなどをつくったりすることがいいと思いました。	北九州市では、NPO法人(ほうじん)と協力(きょうりょく)して、森の中で木登(のぼり)をしたり、ロープでブランコを作(つく)ったりする外(そと)遊(あそ)びを毎月(まいつき)決(き)まった曜日(ようび)などに行(い)っています。	2	1
87	自然の中で遊ぶのは、いいと思いました。理由は、自然の中で遊ぶことは、めったにないからです。	これからもいろいろな年齢(ねんれい)の子どもたちと遊(あそ)んだり、自然(しぜん)の中でのびのびと遊(あそ)んだりすることができるといいと思います。	2	1
施策6 こころの教育、体験・学習機会の充実（21件）				
88	道徳で、しょうがい(性同一しょうがい)について学んだので、そのようなしょうがいがある子どもでも、いじめられずにたのしく生活してほしいから。	これからも道徳の授業や学校生活の中などで、いろいろなことを学べるように取り組んでいきます。 障害のある子もない子も、どんな家庭でも、みんな笑顔で過ごせるよう努力していきます。	2	1
89	障害のある子も、ほかの人と差別にならないようにしてほしい。	みんなが障害や障害のある人のことを深く理解することができるように、これからもみんなに知ってもらったり、学んでもらったりすることに取り組んでいきます。 障害が理由で差別されることのない、誰もが生き生きと暮らせる北九州市を目指していきます。	2	1
90	学校の遠足でいろいろな勉強をしたらいいと思います。	遠足に参加することで、いろいろなことを学ぼうとしている意欲があることをとてもうれしく思います。 学校の遠足には大切な目的があります。その他に、社会科見学や歓迎遠足など、普通の授業ではできない体験をいろいろな場所でいろいろな人と学ぶことができるような工夫もされています。その中から多くを学んでください。	2	1
91	キャンプやボランティア活動をして、いろいろな体験ができるようにしてほしい。 (理由) みんなが楽しめるといいから	北九州市には「青少年の家」という山や川の近くで宿泊ができる施設が5ヶ所あります。青少年キャンプ場も6ヶ所あります。お父さんやお母さんなど家族の方と相談して、ぜひ利用してみてください。 それから、ボランティア活動については、戸畑区に「青少年ボランティアステーション」という場所があります。いろいろなボランティア活動を紹介しているので、ぜひ利用してみてください。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
92	スタジアムをふやしてください。	北九州市では、「公共施設マネジメント実行計画」という計画をつくっています。これに沿って、北九州市の施設を新しく建てたり、廃止したり、一か所にまとめて建てたりしています。この計画の中では、今のところ新しいスタジアムを作る予定はありませんが、これからも、みなさんの意見を聴きながら、いろんな施設をどうしていくのがいいのか、考えていきます。	2	1
93	スポーツをおもっいきりできる場所がほしいです。	北九州市内には、体育館やプール、テニスコートなど、いろんな施設があります。北九州市のホームページなどで紹介していますので、探してみてください。	2	1
94	無料参加のスポーツ教室をつくってほしい	北九州市では、「北九州市スポーツ協会」や「北九州市レクリエーション協会」、「ギラヴァンツ北九州」などの団体が、いろんなスポーツ教室を開催しています。無料で参加できるものもあります。詳しくは各団体のホームページでご確認いただくか、直接電話でお問い合わせください。	2	1
95	トライアスロンをしたい	北九州市では、今のところ、本格的なトライアスロン大会を開催する予定はありませんが、ミニミニトライアスロン大会やアクアスロン大会、マラソン大会、そのほか市民が参加できるスポーツイベントもたくさんありますので、いろんなスポーツに興味を持っていたいただければと思います。	2	1
96	パルクールえりあをつくってほしい	パルクールなどの「ニュースポーツ」ができる専用の施設やエリアは、「それぞれの種目をしている人の数がどれくらいいるか」といったことを考えながら、つくるかどうか検討していくこととしています。パルクールについては、今のところ、新しくつくる予定はありませんが、これからも、こうした「ニュースポーツ」に注目していきたいと考えています。	2	1
97	きゅうぎ大会や陸上記録会、連合音楽会を残してほしい	様々な行事に興味をもっていることがよくわかります。令和2年度から、新しい学習内容にかわり、みなさんが学校で学習することや体験することも多くなります。そこで、それぞれの学校では、これまで行ってきた行事（球技大会など）をなくすだけでなく、みなさんが楽しく学んだり、良さを発揮したりできるような工夫をしていくことを考えています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
98	1学期に1回インターネット教室をひらく	インターネットについての学習は、みなさんが日々学習する内容（「教育課程」と言います）の中に組み込まれています。 小学校では、様々な教科で「調べ学習」をするときに、中学校では「技術・家庭科」という教科の中で、パソコン教室を使って行う授業がそれにあたります。 また、使い方だけでなく、インターネットと上手につき合う方法（「情報モラル」と言います）についても、教科などの授業の中で学んでいきます。	2	1
99	学校にとまれるようにする。	最近では安全面のことから、児童・生徒のみなさんが学校に宿泊するということは、行われなくなっています。 宿泊することにより、仲間とのつながりや自律心などが高まるなど、良いこともたくさんありますが、各学校では、普段の学習や行事、また、校外での宿泊の学習などを工夫し、みなさんの良さが伸ばせるようにしていきます。 今後、学校を利用した地域行事などに参加することなども一つの方法です。	2	3
100	しぜんとふれあえるばしょをふやす（川や森をたいせつに守って生物・魚・こん虫・などとふれあえるばしょをふやすと命のたいせつさをしれる	北九州市には「青少年の家」という山や川の近くで宿泊ができる施設が5ヶ所あります。青少年キャンプ場も6ヶ所あります。お父さんやお母さんなど家族の方と相談して、ぜひ利用してみてください。	2	1
101	交流の場を作ったり、学童のできる行事を増やしたりする	学校や放課後児童クラブ、市民センターなどでは、いろいろな交流や行事が行われていると思います。 どういった交流がいいのか、どういった行事がしたいのか、いろいろとみなさんの意見を聞いてみたいところです。 ぜひ、学校の先生や、放課後児童クラブの先生、地域の人たちと話し合ってみてください。回数を増やすのがいいのか、今やっていることを変えたほうがいいのか、いろいろとアイデアを出し合ってみてください。 子どもプランでは、新しく「地域における子どもの居場所づくり」という目標をつくりました。みなさんが、気軽に立ち寄ることができて、いろいろな人と交流できる場所をたくさんつくっていかようと考えています。 こうした「子どもの居場所」で、いろいろな交流や行事が行われるようになるよう努力していきます。	2	4

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
102	新しいプラネタリウムをつくってくれることはいいと思います。 (理由) ほくも好きだし、みんなもすきと思うからいいと思います。	新しいプラネタリウムは、より自然に近い星空とまるでその場にいるように感じる映像を体験できるよう、とても大きなドームを作る予定にしているので、完成を楽しみにしててください。	1	1
103	わくわくする新しいプラネタリウムを作って欲しい。 (理由) みんなが楽しめるといいから		1	1
104	ぶらねたりうむじゃなくてすいぞくかんがいい。	水族館（すいぞくかん）は、隣の下関市（しものせきし）に、りっぱな「海響館（かいきょうかん）」があるので、今のところ、北九州市に新しいものを作る予定はありません。 プラネタリウムは、すごくいいものをつくりますので、完成したら、ぜひ遊びにきてください。	2	3
施策7 青少年の非行防止や自立・立ち直りの支援（13件）				
105	をみておもったことは、「わるいことにまきこまれないように、きんじょの大人の人が守ってくれるようにします」がいいと思いました。なぜかというわるいことに大人の人が守ってくれるからです。そうしたらいろいろこわいことにならないからです。	北九州市では、「少年補導委員（しょうねんほどういいん）」という人たちや、お父さんやお母さん、地域の人たちと協力して、パトロールを行っています。 これからも、みなさんが危険（きけん）な目にあわないようなまちにしていきます。 そのほか、子どもたちが悪いことにあわないために、中学校で「非行防止教室（ひこうぼうしきょうしつ）」をやったり、スマホなどで悪いことにまきこまれないように、チラシを配ったり、駅やリバーウォークの大きなテレビで放映（ほうえい）したりしています。 これからも、悪いことがおこらないまちにしていきます。	2	1
106	わるい人は、親におこってもらう		2	1
107	学校に楽しいしせつを作ったりすると休み時間が楽しげさる。 学校に行きたくないと思ったら休んでもよい。	学校が楽しいと思える環境づくりを進めることは大切なことです。これからも進めていきます。 また、学校に行きたくないと思ったら、すぐにお父さんやお母さん、学校のスクールカウンセラー、電話相談（24時間子ども相談ホットライン093-881-4152）など、自分がいちばん相談しやすい人に相談してみてください。	2	1
108	差別しない友達ができたらいい	学校では、「こころの教育」というものを進めています。 自分だけでなく他の人も大切にすることや、お互いの良いところを認め合うというような、人権を大事にする取り組みをやっていきます。 みんながお互いを差別をしないようにしていくため、学校でいろいろ学べるようにしていきます。	1	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
109	いじめや、さべつを起こさないかんきょうを作る	いじめや差別を起こさない環境をつくることは大事なことです。これからも、そういった環境づくりに取り組んでいきます。	1	1
110	いじめをなくす	これからも、いじめ防止に取り組んでいきます。	1	1
111	「学校でのいじめ」について。よく、お母さんからいじめの話聞きます。きいていると私もかなしくなってきました。だから、いじめをなくすために、きがるにだれでも相談でき、そのかいけつ法を話しあえるところをつくりいじめをなくしたらいいと思う。	毎年、7～9月ごろに、小学校の「児童会」と中学校の「生徒会」のみなさんが集まって、「中学校区（ちゅうがっこうく）ミーティング」という話し合いを行っています。 このミーティングでは、いじめ防止の取り組みのことや、学校の決まりなどについて、話し合っています。 これからも、この取り組みを続けていきたいと考えています。	2	1
112	学校でいやなことがあったりしたら相談できるひとがいたのでとてもおちつきました。これからもたくさんの人に世界のすばらしさを知ってほしいです。	これからも、みなさんが気軽（きがる）に相談できるように努力していきます。	2	1
113	学校で嫌なことがあって、行きたくないと思っても相談できるようにするとみんなが安心してすごせるので、いいと思う。		2	1
114	子どもたちのことをこんなにも考えてくださっているの、ほくもこの目標にそって僕も（パブコメ資料子ども向けの）②に協力しようとおもいました。なぜかという、いやなことがあったりとかかかれていたので、ほくならそれに協力できると思ったからです。	子どもプランの5つの目標は、市役所の人だけが目指すものではなく、市のみんなで目指す目標です。そのことを理解してもらい、うれしく思います。 ぜひ、目標の②「毎日楽しくすごせるようにします」に協力をよろしくお願いします。	1	1
115	二ートをなくして、いっしょに遊ぶ	若い人たちが元気に働いて、仕事が終わったら、いろんな人と楽しく遊ぶことができるようにしていくため、これからも、会社や地域の人たち、専門家の人たちなどと、協力しながら努力していきます。	2	1
施策8 社会的養護が必要な子どもへの支援（2件）				
116	親とくらしなくても親がわりになってくれる人をふやします。	親がわりになってくれる人のことを「里親（さとおや）」といいます。 里親は、いろんな理由で、親と暮らすことができなくなった子どもを、家族の一員として受け入れます。 温かい愛情で、子育てのこともきちんと勉強して、子どもを育てていきます。 この子どもプランでは、そのような里親をもっと増やしていくことを目指しています。	1	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
117	3 どんな家庭でも、みんな、笑顔で過ごせるようにすることもいいと思う。	親がわりになってくれる人のことを「里親（さとおや）」といいます。里親は、いろんな理由で、親と暮らすことができなくなった子どもを、家族の一員として受け入れます。温かい愛情で、子育てのこともきちんと勉強して、子どもを育てていきます。これからも、この里親さんたちを手助けし、みんなが笑顔になれるようにしていきたいと考えています。	1	1
施策9 児童虐待への対応（北九州市子どもを虐待から守る条例の推進）（7件）				
118	私は、困っている人がいなくなることが大切だと思います。理由は、今、「ぎゃくたい」でなくなったことがいてかわいそうだなと思ったからです。だから「ぎゃくたい」などをなくすために、ポスターなどを書き様々な人にしらせたいと思います。	虐待（ぎゃくたい）をなくすためには、たくさんの人に虐待について知ってもらうことが大切です。北九州市では虐待防止のポスターやパンフレット、チラシを作って、市役所や区役所の壁などに貼ったり、市民の皆さんに配ったりしています。これからも皆さんに色々な形でお知らせしていきます。	2	1
119	心や体が傷つかないように守ってほしい	虐待（ぎゃくたい）をなくすためには、たくさんの人に虐待について知ってもらうことが大切です。北九州市では虐待防止のポスターやパンフレット、チラシを作って、市役所や区役所に壁などに掲示したり、市民の皆さんに配布したりしております。これからも皆さんに色々な形でお知らせしていきます。 また、子どもからも相談を受ける「24時間子ども相談ホットライン」があり、虐待やいじめ、学校での問題など様々な相談ができるようになっていきます。	2	1
120	1か月に1度、ぎゃくたいについてのアンケートを出す。	虐待（ぎゃくたい）をなくすためには、虐待を受けたり、見つけたりした時に、いつでもすぐに相談できることが大切です。毎月のアンケートは難しいですが、24時間365日電話で相談できるホットライン（093-881-4152）もありますので、これからも皆さんが相談しやすい環境をつくっていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
121	暴力（大人）をうけた子どもは、ほごして、暴力（大人）を子どもにした人は、子どもあずけない。	大人が子どもに暴力をふるったりして、大人と子どもをしばらく引きはなす必要がある場合は、子どもを守ることを一番に考え、すぐ保護（ほご）します。 保護した子どもを大人に戻（もど）すときは、本当に戻しても大丈夫か、しっかり確認します。 戻した後も、児童福祉司（じどうふくし）という専門家が家庭訪問したりしてお話をしながら、お家の様子を確認します。このまましていると、また大人が暴力をふるうかもしれないと判断したときは、すぐにまた保護をしたりします。	2	1
122	大人からのぼう力で心や体が傷つかないように守るのは、いいと思います。理由は、こうゆうことで、自殺する人や学校に行きたくなくなる人がふえていくからです。	子どもには、あらゆる暴力（ぼうりょく）から「守られる権利」があります。 「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」では「子どもの権利を大切にすること」を大事な考えとしています。 これからも、大人からの暴力で心や体が傷つかないように守っていきけるよう、さまざまな取り組みを行います。	1	1
123	みんなが傷つかないように、守ります。（守ってほしい）	北九州市では、子どもみんなが虐待（ぎゃくたい）から守られるよう、平成31年4月に「子どもを虐待から守る条例（じょうれい）」という決まりをつくりました。 この「条例」では、北九州市に住んでいる人みんなが協力して、子どもたちが幸せを感じて生きていくことができるようにしていくことを目的としています。 この「条例」をみんなに知って理解してもらったり、虐待を防ぐために働いている人を増やしたりして、虐待を防ぐようにしていきます。	1	1
施策10 障害のある子どもや発達の気になる子どもへの支援（5件）				
124	③を見て思ったことは、「障害のある子もいない子も、どんなかいてもみんながえがおですごせるようにします」のところをいいなと思いました。どこがいいと思ったかというところ、「みんな、えがおですごせる」の部分です。もっとみんなが楽しくすごせるといいと思います。	子どもプランのキーワードは、「笑顔」です。シンボルマークも、みんなの笑顔にあふれています。 みんなの笑顔のために、何ができるのか、今やっていることが本当にみんなの笑顔につながっているのか、この子どもプランが、そういったことを考えるきっかけになるといいなと考えています。 みんなと一緒に、笑顔のために努力していかうと考えています。	1	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
125	ほちょう器などを安くする。	北九州市には、障害のある子どもたちが、毎日の生活や、人と人との関係がうまくいくようにしていくため、補聴器（ほちょうき）などを買ったり、修理（しゅうり）したりするときのお金を補助（ほじょ）する制度（せいど）があります。 障害のある子どもや親にもっと知ってもらうため、今までよりもっとお知らせしていくよう努力していきます。	2	1
126	障害のある人が楽しめるような場を作る	障害のある人が楽しめるような場をつくっていくために大切なことは、障害のある人たちのことをしっかり理解することです。そのため、北九州市では、芸術や音楽のイベント、学びの場づくりなどを行っています。また、こうしたイベントにたくさん参加してもらえよう、お知らせしています。これからも、障害のある人もない人も一緒に暮らすことのできるまちづくりに取り組んでいきます。	2	1
127	障害のある子ども専用の工夫された遊びの道具を作る。	「おもちゃライブラリー」などでは、障害のある子どもたちのために、それぞれの障害の状態や子どもたちの希望に合わせたおもちゃの研究、相談、おもちゃの貸出しを行っています。	2	1
128	寄付をして、障害がある人だけの学校をつくる	北九州市には、障害がある人だけの学校が8校（市立の学校が8校）あります。これを「特別支援学校（とくべつしえんがっこう）」といいます。令和元年度は、1,240人の児童生徒が通っています。 このほかにも、市内には、福岡県立の特別支援学校が2校あります。 また、今は「小倉総合特別支援学校」、「小池特別支援学校」の2校の工事をして、より過ごしやすい学校にしているところです。 ご意見のような障害がある人だけの学校をつくるための寄付があった場合は、これからの特別支援学校をよくしていくために使わせていただきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策12 子育てを応援する体制づくり（34件）				
129	わたしは外でおっぱいやミルクをあげられる場所に一度だけ行ったことがあるので、やっぱりべんりだなと思っていました。	赤ちゃんの駅は、赤ちゃんを育てているお父さんやお母さんが、お出かけをしたときでも、安心しておむつ替えやミルクをあげられる場所を、たくさん作っていくことを目指しています。 北九州市内にあるお店や会社にも協力してもらい、今、赤ちゃんの駅は全部で447か所あります。 ピンクのシンボルマークは北九州市が作ったもので、他の市町村でも使われていて、全国に広がっています。	2	1
130	外でおむつ替えなどができる場所をつくったらいいなと思います。理由は、1回1回家に帰って買い物ができなくなったりするからです。	これからも、もっと多くの場所で安心しておむつ替えやおっぱいをあげることができるよう取り組んでいきます。	2	1
131	外食で、あかちゃんでも、たべれるおいしいものがあったらいいなと思う。	いつもと違う雰囲気です。親子にとってすてきな体験となると思います。 北九州市にも、赤ちゃんと一緒に外食できるお店があります。赤ちゃん用のメニューを用意してくれたり、おむつ替えの場所などを用意してくれているところもあります。 北九州市では、市役所だけではなく、市内にある会社やお店、地域の人たちと一緒に、子どもや子育てを応援するまちをつくっていかうと考えています。 これからも、赤ちゃんとお父さんお母さんが一緒に外出できるようなまちづくりを進めていきます。	2	1
132	親子が、気がるに笑える場所を増やす	気軽に笑えるようになるためには、いろいろな悩みや不安があっても、それが無くなったり、小さくなったりすることが大切です。 北九州市では、「親子ふれあいルーム」という場所を区役所などに作って、子育ての悩みを気軽に話せる場所を作っています。 公園やいろいろな施設など親子で一緒に遊べる場所もたくさんあります。もっと楽しい場所になるよう、努力していきます。	2	1
133	赤ちゃんの用品だけを売る子育てのママようのお店を作る。	北九州市にも、赤ちゃんの用品をまとめて売っているお店があって、そこにいけば、色々なものを買うことができます。 インターネットで購入できるお店もあります。 こうしたお店は、子育てをするお母さんやお父さんを応援しています。こういったお店に協力してもらいながら、みんなで北九州市を子育てしやすいまちにしていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
134	生まれたとき子育てに必要なものを寄付	子育てに必要なものをプレゼントすると喜ばれると思います。ギフト商品として、そういうものをセットで売っている店もありますし、無料でプレゼントしている会社もあります。	2	1
135	ほにゅうびんやおむつなどのあかちゃんのためのグッズを1つにしてセットにして売る	北九州市は、プレゼントしている会社を応援することもやっています。	2	1
136	ふれあいコーナー（店）をつくる	どういったものか、くわしく分かりませんが、友達どうして楽しくすごせるお店でしょうか。高齢者と子どもと一緒に過ごせる場所でしょうか。 北九州市でも、低学年と高学年の子ども、赤ちゃん和高齢者など、いろんな年齢の人が交流できる場所を作っていると考えています。子ども食堂もその一つです。 地域の方などに協力してもらいながら、いろんな形のふれあいの場を増やしていきたいと考えています。	2	1
137	寄付をして、特別な栄養食器を作る。	特別な栄養食器とは、栄養バランスのとれたご飯を用意できるように「お肉、野菜」などの絵や文字が印刷された食器のことでしょうか。それとも「食品」のことでしょうか。どちらにしても、しっかり栄養を取れるようにしてほしいということだと思います。 毎日のご飯をバランスよく食べることができるよう、親子で勉強できるようにすることは、とても大切です。 これを「食育（しょくいく）」といいます。北九州市ではこの「食育」を大切なことと考え、いろいろ勉強できる教室を開いたりしています。 これからも、この「食育」にしっかり取り組んでいきます。	2	1
138	にんびさん専用のタクシー	妊婦さん専用のタクシーは、北九州市にもあります。赤ちゃんが生まれそうときや、赤ちゃんとお出かけしたいときに、妊婦さんのことなどを勉強した運転手がタクシーで送迎をしてくれます。 バスタオルなどを用意してくれるサービスもあると聞いています。 北九州市では、市役所だけではなく、市内にある会社やお店、地域の人たちと一緒に、子どもや子育てを応援するまちをつくっていかうと考えています。 タクシー会社もそういった思いから、妊婦さん専用のタクシーをやっているのだと思います。	2	4

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
139	<p>すごく、いいなと思いました。 子ども、大人、お年寄りの人が安心できる場所を作ってほしいです。みんながよりよく関われるように、たのしくなるように、こまったことをすぐに言えるように、たくさんの工夫をしているなと思いました。</p>	<p>子どもプランでは、新しい取り組みとして、「子どもの居場所（いばしょ）づくり」をやっていくことにしました。 子どもの居場所は、子どもだけではなく、大学生や高齢者など、いろいろな年齢の人が交流することが大事です。 地域の人たちの力を借りながら、この「居場所づくり」に取り組んでいきます。</p>	2	1
140	<p>おうえんする</p>	<p>北九州市にいる人みんなで子どもと子育てを応援するまちをつくっていかこうと考えています。</p>	2	1
141	<p>4 お母さんもお父さんも、安心してすごせる場所をつくるのが、とてもいいと思う。</p>	<p>子育てをするとき、いろいろ悩んだり不安になったりすることもあります。 そんなお父さんお母さんを楽しんでもくれる場所があると、子育てがもっと楽しくなります。 そういった場所をたくさん作っていけるように、これからも取り組んでいきます。</p>	1	1
142	<p>寄付</p>	<p>「寄付」という言葉だけなので、くわしいことが分かりませんが、寄付をしたいという方はいますし、実際に「子どもたちのために使ってほしい」と、北九州市に寄付をしてくれる人もいます。 子ども食堂には、野菜やお米など、お金以外の寄付もあります。 北九州市のいろいろな方から支援を受けながら、みんなが笑顔になれるまちをつくっていかこうと考えています。</p>	2	4
143	<p>赤ちゃんのおむつやミルク、おやつを安くする</p>	<p>北九州市では、おむつやミルクなどを安く買えるようにすることはやっていませんが、お父さんお母さんが子育てを学べる教室や、お医者さんへの子育ての相談、赤ちゃんへの予防接種や病院代などを無料にしたり安くしたりしています。その他、紙おむつを捨てるが多くなるので、ごみ袋を無料で配ったりもしています。</p>	2	3
144	<p>教育費などを何%か市が出す</p>	<p>小・中学校は教育費がかかりません。いろいろな学用品（学校で使うもの）にはお金がかかりますが、お家の生活状況によっては、補助金を出すことも行っています。 塾代などについて、補助金を出すことはやっていませんが、学校では、塾の代わりとなる「夏の教室」や「子どもひまわり学習塾」など、無料で受けられる勉強の場をつくっています。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
145	しょうひぜいやすく。	消費税（しょうひぜい）の制度（せいど）は、日本全体で行われますので、北九州市だけ安（やす）くすることはできません。消費税は8%から10%に上がりましたが、食品などは8%のままとなっていて、高くないような工夫も行われています。消費税は、幼稚園（ようちえん）や保育園（ほいくえん）の利用（りよう）が無料（むりよう）になるためなど子育てを応援（おうえん）することに使われます。	2	4
146	子育てのそうだんコーナーをつくってあげるとよい	子育ての相談（そうだん）ができる場所（ばしょ）としては、「子ども・家庭（かてい）相談（そうだん）コーナー」があります。このコーナーはそれぞれの区（く）役所（やくしょ）の中にあります。子どものことや子育てのことなど、どんなことでも相談（そうだん）に乗（の）っています。何か相談（そうだん）したいことがあれば、ここに来てもらっています。そして、相談（そうだん）の内容（ないよう）にあわせて、子育てをしている人たちが使（つか）うことのできるいろいろなしくみを紹介（しょうかい）したり、アドバイスをしたりしています。	2	1
147	子育て相談所を作る。親が管理出来る子供の位置情報がわかる電話を持たせる。	これからも、この「子ども・家庭（かてい）相談（そうだん）コーナー」を広く知ってもらえるよう、お知らせしていきます。	2	1
148	お父さんやお母さんのかわりに相だんできる相手を増やす	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談にワンストップで応じ、各種支援制度を適用したり、関係機関等へつなぐ等それぞれの相談内容に応じた支援を行っております。「子ども・家庭相談コーナー」について、広く皆様に知っていただけるよう周知に努めます。また、児童本人からも相談を受ける「24時間子ども相談ホットライン」があり、虐待やいじめ、学校での問題など子どもの関する様々な相談ができるようになっていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
149	赤ちゃんが安全にお世話できるような場所を作りたいと思いました。理由はお父さんやお母さんが分からないところがあってもその所に行けば分かる場所を作りたいからです。	赤ちゃんが生まれる前や、赤ちゃんのお世話としているときに、わからないことや困ったことがあったら、区役所の中の「子ども家庭相談コーナー」に相談してください、とお知らせしています。 このほかにも、24時間いつでも電話やメールでも相談できるようにしています。 それから、赤ちゃんを安全にお世話できる場所としては、区役所や児童館などの中につくっている「親子ふれあいルーム」があります。このほか、市民センターには「フリースペース」という場所もつくっているところもあります。 これからも、こうした場所を続けていきます。	2	1
150	毎日子育て中の家を訪問する	北九州市では、赤ちゃんが4ヶ月になるまでに、ぜんぶの家庭訪問をするようにしています。 家庭訪問したときに、「赤ちゃん大丈夫かな？」といった気になったり、心配に感じたお家には、その後も、続けて訪問するようにしています。 これからも、こうした家庭訪問を続けていきます。	2	3
151	このような計画を拝見でき、東京での就職を考えておりますが、子育てする際には、ぜひ北九州に戻ってきたいという思いが強くなりました。高校や大学や図書館などを利用して、ぜひ10代への周知を推進することで10代にもっと北九州市を好きって欲しいと思います。	子どもプラン策定後も、広く周知を図っていきたいと考えています。ご提案の場所の活用も検討します。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策14 子育てと仕事の両立に向けた環境づくり（13件）				
152	会社などに子どもをつれていける場所	<p>お父さんお母さんが仕事に行っている間、子どもは保育所に行きますが、お父さんお母さんによっては、会社の中にある保育所がいいとか、子どもとずっと一緒に仕事したいといった考えもあると思います。</p> <p>北九州市では、お父さんお母さんが、やりがいを感じ働きながら、お家で子どもと楽しく過ごせるようにすることを進めています。このことを「ワーク・ライフ・バランス」といいます。</p> <p>北九州市では、この「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくために、業界を代表する人や、そのほかの働いている人、市役所の人などが集まって、「北九州市女性活躍（じょせいかつやく）・ワークライフバランス推進協議会（すいしんきょうぎかい）」をつくり、どうやって「ワーク・ライフ・バランス」を進めていったらいいか、議論（ぎろん）したりしています。</p> <p>具体的（ぐたいてき）には、残業（ざんぎょう）を減らすこと、子育てをしているお父さんお母さんを手助けする制度をつくったりすること、女の人が働きやすいようにしていくことなど、働いている人たちのためにもっとよくしていくためにはどうするべきかの話し合いをしています。</p> <p>平成29年には、社長さんなどが集まって「北九州イクボス同盟（どうめい）」をつくり、働きやすいまち北九州を目指して、働いている人たちのためにもっとよくしていこうと取り組んでいる社長さんに、いろいろ学んでもらったり、アドバイスをしに行ったりしています。</p> <p>こうしたことが進んでいけば、会社に子どもを連れていける場所もできていくかもしれません。会社に行かなくて、お家で仕事ができるようなことも増えていくかもしれません。</p> <p>これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろんなことをお知らせしたりしていきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
153	いくきゅうをのばす。	<p>育児休業（いくじきゅうぎょう）の制度は、法律で決められていて、今は子どもが2歳になるまで伸ばすことができます。</p> <p>でも、そういった制度があっても、仕事のことを考えるとなかなか育児休業がとれなかったり、とりづらかったりすることもあると考えられます。</p> <p>こうしたことから、北九州市では、お父さんお母さんが、お家で子どもと楽しく過ごすことができるようにするため、お父さんお母さんが、仕事の時間と子どもとの時間の両方をバランスよく過ごせるようにすることを進めています。このことを「ワーク・ライフ・バランス」といいます。</p> <p>具体的（ぐたいてき）には、残業（ざんぎょう）を減らすこと、子育てをしているお父さんお母さんを手助けする制度をつくらしたりすること、女の人が働きやすいようにしていくことなど、働いている人たちのためにもっとよくしていこうと取り組んでいる社長さんに、いろいろ学んでもらったり、アドバイスをしに行ったりしています。</p> <p>これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろんなことをお知らせしたりしていきます。</p>	2	1
154	会社のざんぎょうをなくす。しゅっちょうをなくす	<p>北九州市では、お父さんお母さんが、やりがいを感じ働きながら、お家で子どもと楽しく過ごせるようにすることを進めています。このことを「ワーク・ライフ・バランス」といいます。</p> <p>北九州市では、この「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくために、業界を代表する人や、そのほかの働いている人、市役所の人などが集まって、「北九州市女性活躍（じょせいいかつやく）・ワークライフバランス推進協議会（すいしんきょうぎかい）」をつくり、どうやって「ワーク・ライフ・バランス」を進めていったらいいか、議論（ぎろん）したりしています。</p> <p>具体的（ぐたいてき）には、残業（ざんぎょう）を減らすこと、子育てをしているお父さんお母さんを手助けする制度をつくらしたりすること、女の人が働きやすいようにしていくことなど、働いている人たちのためにもっとよくしていこうと取り組んでいる社長さんに、いろいろ学んでもらったり、アドバイスをしに行ったりしています。</p> <p>これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろんなことをお知らせしたりしていきます。</p>	2	1
155	仕事に在る時間を短かくし、給料を高くする	<p>具体的（ぐたいてき）には、残業（ざんぎょう）を減らすこと、子育てをしているお父さんお母さんを手助けする制度をつくらしたりすること、女の人が働きやすいようにしていくことなど、働いている人たちのためにもっとよくしていこうと取り組んでいる社長さんに、いろいろ学んでもらったり、アドバイスをしに行ったりしています。</p> <p>これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろんなことをお知らせしたりしていきます。</p>	2	1
156	働き方いかくを進めます。	<p>具体的（ぐたいてき）には、残業（ざんぎょう）を減らすこと、子育てをしているお父さんお母さんを手助けする制度をつくらしたりすること、女の人が働きやすいようにしていくことなど、働いている人たちのためにもっとよくしていこうと取り組んでいる社長さんに、いろいろ学んでもらったり、アドバイスをしに行ったりしています。</p> <p>これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろんなことをお知らせしたりしていきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
157	仕事をがんばった人たち用にマッサージジキをおく	北九州市では、お父さんお母さんが、やりがいを感じ働きながら、お家で子どもと楽しく過ごせるようにすることを進めています。このことを「ワーク・ライフ・バランス」といいます。 北九州市では、この「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくために、業界を代表する人や、そのほかの働いている人、市役所の人などが集まって、「北九州市女性活躍（じょせいかつやく）・ワークライフバランス推進協議会（すいしんきょうぎかい）」をつくり、どうやって「ワーク・ライフ・バランス」を進めていったらいいか、議論（ぎろん）したりしています。	2	1
158	仕事をしている父、母がやすらぐための場所を作る。	具体的（ぐたいてき）には、残業（ざんぎょう）を減らすこと、子育てをしているお父さんお母さんを手助けする制度をつくったりすること、女の人が働きやすいようにしていくことなど、働いている人たちのために、もっとよくしていこうと取り組んでいる会社や人を表彰（ひょうしょう）して、お手本としてその内容を広く紹介したりしています。こういうことをやってみれば、ほかの会社やほかの人たちにも広がっていくので、続けていこうと考えています。	2	1
159	寄付をして、大人カフェを作る	これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろいろなことをお知らせしたりしていきます。	2	1
160	気になったことは、お父さんとお母さんという時間をどう増やすかです。ほくは、お父さんになったら、休みの日とかに、子どもと遊んだりしたいです。	北九州市では、お父さんお母さんが、やりがいを感じ働きながら、お家で子どもと楽しく過ごせるようにすることを進めています。このことを「ワーク・ライフ・バランス」といいます。 北九州市では、この「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくために、業界を代表する人や、そのほかの働いている人、市役所の人などが集まって、「北九州市女性活躍（じょせいかつやく）・ワークライフバランス推進協議会（すいしんきょうぎかい）」をつくり、どうやって「ワーク・ライフ・バランス」を進めていったらいいか、議論（ぎろん）したりしています。	2	1
161	家そくの時間がほしい	北九州市では、この「ワーク・ライフ・バランス」を進めていくために、業界を代表する人や、そのほかの働いている人、市役所の人などが集まって、「北九州市女性活躍（じょせいかつやく）・ワークライフバランス推進協議会（すいしんきょうぎかい）」をつくり、どうやって「ワーク・ライフ・バランス」を進めていったらいいか、議論（ぎろん）したりしています。	2	1
162	子どもと話す時間をふやす。	これからも、お父さんお母さんたちが、いっしょに働き、子育ても楽しくできるようにしていくためのお手伝いをしたり、いろいろなことをお知らせしたりしていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
163	1カ月に1回、お母さん、お父さんを楽しませる。（お手つだいさんを入れる）	お母さんとお父さんが協力して子育てができるように、子育てについて学ぶ教室などを実施したり、お母さんやお父さんの体調が悪いときなどに子育てのお手伝いができるようにしています。これからも、こうしたことを続けていきます。	2	1
施策15 子どもの安全を守る環境整備（89件）				
164	ワイファイがつかえる店をふやしてほしいです。	「いろいろなお店でWifiが使えるようにする」ということについて、市役所としてできることは少ないです。 でも、商店街やお店を経営する人たちの手助けをして、皆さんが行きたくくなるようなお店が増えるように取り組んでいますし、これからも努力していきます。	2	4
165	赤ちゃんにとって危なくない遊具や、勝手にどっかにいかないようにさくを付けたらいいと思います。	赤ちゃんが安全に過ごせるよう、安全な遊具を作ったり、さくの中で遊ぶようにすることは大事だと思います。 遊具をつくる会社では、赤ちゃんがケガをしないように気を付けながら作っていますし、赤ちゃん用のさくもお店で買うことができます。 でも、思いがけない事故が起こってしまうこともあります。いろいろな物で安全にすることも大事ですが、お父さんやお母さん、家族の人が、危なくないかチェックすること、気を付けて見守ることも大事なことです。 北九州市では、「元気のもり」に、赤ちゃんがお家の中で危なくないようにするための勉強ができるコーナーを作っています。	1	4
166	安全・安心に過ごせることが、とてもいいと思う	安全に歩ける道や、安心して生活できる家、災害があっても大丈夫にすることなど、安全・安心にらせるまちづくりに取り組んでいきます。	1	1
167	どこにいてもきれいな町であるために、花をうえたり、ほい捨てをしたりしないで、緑を増やしてほしいです。	街なかの花や緑は、景観（けいかん＝目に見える景色や風景のこと）などのことを考えながら、計画的に整備をおこなっています。これからも続けていきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
168	自然を増やしてほしい。	北九州市では、「まちの中に自然を増やす」「自然の中にまちをつくる」「みんなに自然を大切にするという気持ちになってもらう」ことなどを目的として、「みんなで植えれば100万本」を合言葉に、平成20年度から「環境首都100万本植樹プロジェクト」という取り組みを行っています。 北九州市内のいろんな場所で、会社の人やボランティアの人、市役所の人などが植樹を行っています。平成30年度までに、約72万本の「みどり」が増えていきます。 これからも、こうしたことを行って、もっともっと緑があふれるまちになっていくよう、努力していきます。	1	1
169	私が学校へ登下校するときに使う通学路は、横が神社で、周りが暗いし、台風があった次の日には、葉っぱが回りに散らばって、こげそうになったこともあります。1年生のときには、急な下り坂でころんで、頭やひざを打って、ケガをしました。	通学路を安全にしていくために、平成27年11月に「通学路交通安全プログラム」というものをつくりました。 このプログラムをもとに、小学校では、毎年、通学路を点検しています。 そして、5年に1度は、道路を管理している市、警察、小学校と一緒に点検をするようにしています。 こうした点検をして、危ない場所があったときは、どうしたらいいのか一緒に考えて、危なくないようにしています。 これからも、「通学路交通安全プログラム」を使って、通学路の安全を守っていきたいと考えています。	2	1
170	通学路を見守ったり、安全に歩ける道をつくと、安心して、学校までいけるのでいいと思います。	こうした点検をして、危ない場所があったときは、どうしたらいいのか一緒に考えて、危なくないようにしています。 これからも、「通学路交通安全プログラム」を使って、通学路の安全を守っていきたいと考えています。	2	1
171	通学路をもっと安全にしてほしい。（道を広くする。信号機をふやす。信号無しをさせない）		2	1
172	自転車と歩道を分けてほしい	自転車は、自動車の通る道の左はしを通らないといけませんので、北九州市では、自動車、自転車、歩く人を別々に通れるようにしていこうとしています。 自転車が通る道をつくる時は、いろんな種類があるので、道路の幅（はば）や交通量、近所に住んでいる人のことなども考えながら、警察とも相談して、一番いい種類の自転車の道づくりを進めています。 これからも、こうした取り組みを進めていきます。	2	1
173	おうだん歩道をもっとふやしてほしい。	横断歩道をつくる仕事は、警察がやっています。つくって欲しいところは、近くの警察署や区役所に相談してください。	2	4

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
174	点字を増やす。バス登校をできるようにする。	高齢者や障害者など、誰もが安全で快適に通行できるように、視覚障害者誘導用ブロック（点字ブロック）を増やしていくことなどを進めています。 これからも、障害者や高齢者、妊婦さんや子ども連れの人たちなど、みんなが生活しやすいまちをつくっていくため、バリアフリー化（まちの中のいろんな「かべ」を取り除くこと）に取り組んでいきます。 小学校や中学校は、住んでいるお家から歩いていける学校にしていますが、障害のある児童生徒さんが「特別支援学校（とくべつしえんがっこう）」に登校する場合は、バスを用意しています。	2	1
175	通学路の方にかかっている木など切ってほしいです。	家の中に生えている木は、市役所で勝手に切ることができませんが、市役所が管理している樹木（道路内に植えている木）であれば、通行に支障がある場合、伐採できます（切ることができますし、危険なものなどについては切っています）。お父さんお母さんに伝えて、区役所の「まちづくり整備課」まで連絡してください。	2	1
176	安全に歩ける道を細い道にも信号をつけたり、自転車が走るところと歩くところを別々にしていって安全になると思います。	「信号をつけること」「自転車が走るところと歩くところを別々にすること」などは、警察がすることなので、市役所で勝手に変えることはできませんが、「通学路安全プログラム」という取り組みを行う中で、危ないところは、警察に伝えて変えてもらっています。 これからも、安全な道路になるように取り組んでいきます。	2	4
177	信号をつけてほしい	信号をつける仕事は、警察がやっています。つけて欲しいところがあったら、近くの警察署や区役所に相談してみてください。	2	4
178	長い信号を少なくすると思う。		2	4
179	歩道がないのでつけてほしいです。		2	4
180	ぼくは、安全に歩ける歩道を増やすのがいいと思いました。理由は、安全に歩ける歩道がないとけがや、事故が起きるからです。	みなさんが、安心して道路を歩くことができるよう、これからも安全な道路をふやしていきます。	2	1
181	ガードレールなどを増やしてほしい。		2	1
182	ガードレールのこわれているところ、なくてきけんた所をなおす		2	1
183	歩道をキレイにしてほしい。		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
184	トンネルのらくがきをけしてほしい。	らくがきのあるトンネルがあったら、お父さんお母さんに伝えて、区役所の「まちづくり整備課」まで連絡してください。	2	1
185	赤ちゃんが生まれて、散歩する時、近くにベンチなどがあると、お母さんも安心すると思うので作ってください。	ベンチを歩道に置くと、歩きにくくなることがあります。 そのため、①たくさん人が集まって、そこにいる時間が長くなりそうな場所である、②近くに休憩できる場所がない、③ベンチを置いても歩く人の邪魔にならない、といったチェックをして、置いても大丈夫な所に置くようにしています。 どこにでもベンチを置くということではできませんが、必要なところに置いていきたいと考えています。	2	1
186	坂を少なくしてほしい	道路をつくるときは、決められた基準（ルール）があります。 できるだけ坂がゆるやかになるようにしていますが、周りの地形や道路沿いの建物などの状況によっては、やむをえない場合があります。 これからもみんなが生活しやすい道路づくりに取り組んでいきます。	2	1
187	道がせまくて車がぎりぎり通っているから広くしてほしい	道路を広くすることについては、地域の人たちの意見や、土地を持っている人の考え、そのほか、歩行者や車がどれくらい通っているのか、地形、お金がどれくらいかかるか、などを考えながら、進めていきます。	2	1
188	歩道橋を新しくしてほしい。	歩道橋は5年ごとに点検しています。 この点検で、どれくらい「いたんでいるか」に合わせて、塗装（ペンキ）のぬりかえなどの工事をして、歩道橋を長く使えるようにしています。	2	1
189	3号線に自転車と歩行者の別々の道を作してほしい。	自転車が通る道をつくる時は、国とも話し合いをしながら進めています。 「国道3号」は、主に国が管理する（持っている）道路ですので、ご意見を国に伝えたいと思います。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
190	のうやくを、まかないでほしい	<p>のうやくには虫をたいじするのうやくや、ばいきんをたいじするのうやくなどがあります。</p> <p>一つのうやくが売られるまでには10年以上の年月と、たくさんのお金がかかります。このあいだに、のうやくが安全に使えるかどうかのじっけんを何回もくりかえします。</p> <p>そして、国が安全に使えるとかくにんできたら、使っているのうやくとしてとうろくされます。</p> <p>このように、何回もかくにんをすることによって、安全なのうやくを売ることができるようになります。</p> <p>食べ物を作っている人は、きめられた使いかたでのうやくをまいて、安全な食べ物をみなさんにわたしています。</p> <p>のうやくをまかないと、虫やびょうきがたくさん出て、植物が全部しんでしまうことがあります。そうすると、みなさんに食べ物をわたすことができません。</p> <p>食べ物を作っている人も、のうやくをたくさんまくとお金がかかり、つかれてしまうので、必要なりょうしかまきません。</p> <p>いろいろな人が、みなさんに安全な食べ物をわたすためにどりよくしていますので、安心して食べてください。</p>	2	1
191	災害があった時でも安心して、すごせる場所をつくってほしい。	<p>大雨や地震で避難（ひなん）が必要になると、北九州市は避難情報（ひなんじょうほう）を出して、避難所の場所をお知らせし、「ここに避難してください」と伝えていきます。</p> <p>災害にそなえて、どこを避難所にするのかは、あらかじめ決めていきます。</p> <p>避難所は災害の種類（大雨の場合、地震の場合など）に合わせて選んでいます。どんな災害があっても安全に避難することができるようにしています。</p>	2	1
192	災害があったときのために地下をつくる。	<p>北九州市で起こりやすい災害は、台風や大雨、洪水などの「風水害」といわれるものや、地震などです。洪水などの場合、地下に避難すると危ないので、地下に避難所をつくることは考えていません。</p> <p>災害が発生したときは、起こった災害の種類に合わせて、避難所が決められています。北九州市では、そのときの災害に合わせて、一番安全な避難所を紹介するようにしています。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
193	寄付をして、とても高い丘に大きい建物を建てて、ひな人所を造る	大雨で川の水があふれたりして、洪水になるような災害が起こったときに、水びたしになる危険がある避難所は、避難所のリストから外しています。 避難情報（ひなんじょうほう）を出すときは、避難できる避難所もお知らせしますので、市がお知らせする情報をしっかり確認してください。	2	1
194	子どもを主体とする施策ではあるが、自然災害や交通事故を意識したまちづくりへの取り組みの推進は、祖父母や両親が暮らしていく上で、とても安心です。	北九州市では、長期的な観点から、北九州市にふさわしいまちづくりの仕組みや考え方を明らかにしていくことを目的に「北九州市都市計画マスタープラン」を策定しています。 「安全・安心なまちづくりを進める」を基本方針とし、交通施設、公園、建物などのバリアフリー化や歩行者安全対策を促進し、人にやさしいまちづくりを進めていきます。 また、想定を超える災害により、防ぎきれない事態が起こり得ることを前提に、被害をいかに小さくするかということを主眼に、これまで取り組んできた「ハード対策」とともに、的確な情報提供や速やかで確実な避難行動、自主防災組織による助け合いなどの「ソフト対策」を重ね的に組み合わせ「減災」対策を進めていきます。 このほか、交通事故の被害を減らすため、地域の要望などを聞きながら、防護柵の設置等を行い、歩行空間の安全性や快適性の向上を図っていきます。	1	1
195	災害があったときでも安心してすごせる場所をつくることは、とてもいいことだなあと感じました。 理由：災害があると、パニックになってしまうからです。	北九州市は土砂災害、洪水災害、津波災害などのハザードマップ（災害の種類・場所・危険度などを示した地図）を作っています。 自分が住んでいたり、普段行くことの多い地域にどんな危険があるのかを調べることで、災害が迫ったときどこへ行けば安全なのか知ることができます。 災害でパニックにならないよう、あらかじめどこへ逃げればいいのか確認しておくことが大切ですので、家族の方と一緒に調べて、確認しておいてください。	1	1
196	暗い道にがイトをつくってほしい。	街灯にはいろいろ種類があって、誰が付けることを決めるのか、誰がお金を払うのか、街灯の種類によって違います。街灯が消えていたり、付けて欲しいときは、まずは、住んでいる区の区役所（コミュニティ支援課）に連絡するようにしてください。	2	1
197	ふしん者がでにくくしてほしい（公園など夜明るく）		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
198	しん号、電灯、を増やし、見はらしをよくする。	街灯にはいろいろ種類があって、誰が付けることを決めるのか、誰がお金を払うのか、街灯の種類によって違います。街灯が消えていたり、付けて欲しいときは、まずは、住んでいる区の区役所（コミュニティ支援課）に連絡するようにしてください。 信号をつける仕事は、警察がやっています。つけて欲しいところがあったら、近くの警察署や区役所に相談してみてください。	2	1
199	110番の家をふやしてほしい	通学路が危なくないようにするため、お父さんお母さんの集まり（PTA）や、学校では、危ないところがないか調べて、危なくないようにしています。 「子ども110番の家」もその中の一つですが、「110番の家」をぜひやりたい、やってもいいよ、と言ってくれる人たちがボランティアでやっているものなので、そういう人を増やしていく必要があります。 これからも、110番の家もふくめて、通学路を安全にするために、努力していきます。	2	1
200	通学路の公園で、まったく知らないおじさんに声をかけられたこともありました。そして、私は公立の小学校ではないので、ボランティアがいません。ボランティアがいたらいいなとも思います。	北九州市では子どもたちが安全・安心にさせるためにこんな取り組みをしています。 ①北九州市の全校区には、地域の人たちでつくれた「生活安全パトロール隊」というボランティア団体があります。この人たちはみなさんの登下校の時に見守りをしたり、車などに気を付けるよう教えています。	2	1
201	安心して学校に行けるようみんなでつうがくを見守ります。りゆうは、みんながじこやけがをふせげるからです。	通学路以外でも地域の見回りをして、声掛けをしながら、ふしんな車や人がいないか、防犯灯が切れていないか、などを確認しています。	2	1
202	ぼくは、赤ちゃんがすくすく育つようにサポートしてあげようします。理由は、おやはいろいろせないけなことがあるし、けがをしたりしたらお医者さんにすぐみてもらえるから。登校しているときに大人がしてくれるようにします。理由は、ぼくたちのためにふしんしゃにまきこまれないようにしているからいいなと思います。	②みなさんがあぶない場所を自分で見分けられるように、小学生を対象とした「地域安全マップづくり」を教えています。これは「入りやすくて見えにくい」場所を「危ない場所」として、実際に歩きながら調べ、地図をつくり、そういった場所に近づかない、ひとりで行かないということを学びます。	2	1
203	もっとつうがくろうに犬などの動物がいてほしい	③そのほかに、「子ども防犯セミナー」があります。このセミナーでは防犯の専門家が先生になって、ふしんしゃからの「声かけ・つきまとい」から自分を守る方法を学びます。	2	1
204	通学路や公園に人目につきにくいところを減らしてほしい		2	1
205	人通りの多い場所にしてほしい		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
206	防犯ブザーを配るようにしてほしい。	防犯ブザーは、お父さんお母さんの集まり（PTA）が中心になって、安い料金で買える取り組みを行っています。お父さんやお母さんなど家族の方や、学校の先生に相談してみてください。 自分の身を守るためには、「いかのおすし（※）」など、防犯教室で教わったことをできるようにしておくことも大切です。 防犯ブザーの電池が切れていないかも、時々確認をしておいてください。 ※いかのおすし…「いかない」「のらない」「おおこえでさげぶ」「すぐににげる」「しらせる」	2	4
207	かんしかめらをたくさんつくる（おく）	犯罪（はんざい）がおこらないようにしたり、安心してくらすことができるようなまちにしていくため、北九州市では、防犯（ぼうはん）カメラを取りつけて、撮影（さつえい）をおこなっています。 地域の人や会社が、カメラをつけるときは、一部、補助（ほじょ・お金を出すこと）もしています。 これからも、地域の人たちや、警察（けいさつ）の人たちと協力しながら、安全なまちにしていきます。	2	1
《その他》（35件）				
208	（目標4に対して）みんな家の中に1つできるようにする	みんなが家の中でも外でも、いつでも楽しくいられるようにお、お父さんやお母さんを応援していきます。 そして、みんなが、赤ちゃんや赤ちゃんをもっているお父さんお母さんを大切にできる、そんなまちになるよう、これからも努力していきます。	2	1
209	わくわーくなどのおかしをふやす	わくわーくのおかしは、障害のある人たちが心をこめて作っています。たくさんの方が、わくわーくなどのおかしを買って、おいしいと言って食べてくれたら障害のある人たちの笑顔も増えます。 みんなの笑顔があるれるまち北九州にしていきたいと思います。	4	4

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
210	給食にアイスを出す	学校の給食の献立（こんだて）は、主食、牛乳、副食の三つを大事にしながら、栄養のバランスがとれるように、工夫しています。 ご意見をいただいたアイスについては、給食の時間が楽しくなる「デザート」の1つだと考えています。その日のメニューとの栄養のバランスなどを確認しながら、アイスを出せるかどうか、考えていきます。	4	1
211	学校に公しゅう電話がほしい	電話機を置くにはお金がかかること、置いた後どのように管理（かんり）していくかなど、いろいろな事情があって、今は、公衆電話（こうしゅうでんわ）をおくことは考えていません。 どうしても家に電話をかけないといけないときは、先生に相談してみてください。	4	3
212	学校のトイレをきれいにしてほしい。	トイレを新しくしていくため、学校のトイレ工事を進めています。毎年、「学校の工事に使えるお金は〇〇円までです」と決められているので、使えるお金の中で、順番に進めています。	4	1
213	学校にエレベータ・エスカレータをつくってほしい	新しく作る学校についてはエレベーターをつけていますが、今ある学校はエレベーターをつける予定はありません。 エレベーターが必要な人がいる場合は、教室の位置に気を配ったり、移動するときに皆で助け合ったりして、エレベータがなくても困らないようにしています。	4	1
214	学校のトイレの数を増やしてほしい。	児童生徒さんが増えている学校については、増やしていくこともあるかもしれませんが、北九州市の学校全体で考えると、子どもの数が毎年減っているということもあって、今のところ、学校のトイレの数を増やすことは考えていません。 トイレが使えなくなったりしている場合は、先生に伝えてください。	4	1
215	学校に自転車できてほしい	自転車で事故にあうといけないので、歩いて通学することになっていますが、中学校では、住んでいるところによって、自転車で通学できる学校もあります。	4	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
216	学校でテレビが見れるようにする。自転車登校○	学校のテレビは教育用として利用することになっているので、教育以外のものは見ることができません。 自転車で事故にあうといけないので、歩いて通学することになっていますが、中学校では、住んでいるところによって、自転車で通学できる学校もあります。	4	3
217	寄付をし、学校を元々させる	学校の発展につながる寄付として、北九州市には「学校応援基金」という制度があります。これからも、たくさんの方に寄付していただけるように取り組んでいきたいと考えています。	4	1
218	宿題学校でOK	学校は授業を受けるところです。授業でのやり残しをしたり、教わった内容を繰り返し練習することで、授業の内容が身につくので、宿題は家庭で行うようにしています。	4	3
219	学校を、週5～6日から週2～3日ににする	学校は子どもたちが成長するために授業を受けるところです。授業は子どもたちが成長するために必要な時間数が決められていて、学校に週5～6日通うことで、その時間数の授業が受けられるようになっています。	4	3
220	みじかくする（6時間から3時間）		4	3
221	学校に自分もってきたいものをもってきてほしい	学校になんでも持ち込みできるようにすると、危険なものも持ち込んでしまうこともあり、けがなどにつながることもあるかもしれません。そのため、持ち込んでいいものを決めています。	4	3
222	私服登校（中学）	平成9年度に市内の中学校1校で、私服登校ができるようにしましたが、見直ししてほしいという意見がたくさんあったので、平成18年度の新入生から標準服に戻しました。 そのときのアンケートで、半数以上の生徒、保護者、地域の方が標準服がいいと思っていますことがわかりました。	4	3
223	ランドセルがおもいから教科書をタブレットなどにして軽いものにしてほしい	北九州市では令和元年度から、順番でタブレットを使う学校を増やして、タブレットを使った授業ができるようにしていく予定です。教科書をタブレットにするのかどうかなども考えていきます。	4	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
224	教科書をすべてAIにする	教科書をタブレットのように電子化したいという意味でしょうか。 北九州市では令和元年度から、順番でタブレットを使う学校を増やして、タブレットを使った授業ができるようにしていく予定です。教科書をタブレットにするのかなども考えていきます。 AIはこれまで人間がしていたようなことを、人間のかわりにできるので、いろいろな使い方ができるとみんな楽しみにしていますが、今は「教育」にどうやって使えるのかあまり分かっていません。これからも、AIがどう使えるのか考えていきます。	4	1
225	小・中学生の荷物を軽くします。（重くて、かたが痛い）	学校で教わった内容を身につけるためには、家での学習が大切です。そのため、教科書は持って帰るように決めています。しかし、荷物が重いと大変なので、一部を学校へ置いておくなど、各学校で工夫して行っています。また、終業式など、特定の日に荷物が多くなりすぎないように、計画的に持ち帰るようにするなど、引き続き考えていきます。	4	1
226	ランドセルそのものをかるくしてほしい	ランドセルの材質については、いろいろなものがあるようです。最近では、軽いランドセルも種類が増えているようです。ランドセルを売っているお店の店員さんが詳しいと思います。	4	4
227	学校への通きんバックを、ランドセルだけじゃなく、かたがけなどでも、いい。	ランドセルは厚くて壊れにくく、教科書等の中身を守ってくれることや、ごろんだ時のクッション代わりになる、また、両肩にバランスよく重さが加わるので、体がきつくなりにくい等のメリットがあると言われていて、学校ではランドセルでの通学をお願いしています。	4	3
228	折尾駅のホームに、小さいコンビニや、うどんの店などを作ると、にぎやかになると思う	いただいたご意見も参考にして、地域の人たちの声を聞きながら、JR九州と協力し、折尾駅を含む折尾のにぎわいづくりに取り組んでいきます。	4	4

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
229	すべて特産物にする	<p>気候（気温や雨の降り方）など様々な理由から、その土地で特徴のある農産物などを「特産物」としています。</p> <p>北九州市では、農家の人たちが、いろんな農産物をつくっていますが、生産量が少ないといったような理由から、全ての農産物を「特産物」にすることができていません。</p> <p>北九州市は、農家、JA（農業協同組合）、福岡県の人たちと協力して、「特産物」（農産特産物）の開発のために努力しています。</p> <p>また、既に「特産物」になっているものは、宣伝（せんでん）をして、北九州市の「特産物」が全国に広がっていくように、努力しています。</p> <p>ぜひ、北九州市で作られた農産物をお店で探して、たくさん食べてみてください。</p>	4	4
230	すべて特産物にする	<p>気候（気温や雨の降り方）など様々な理由から、その土地で特徴のある農産物などを「特産物」としています。</p> <p>北九州市では、農家の人たちが、いろんな農産物をつくっていますが、生産量が少ないといったような理由から、全ての農産物を「特産物」にすることができていません。</p> <p>北九州市は、農家、JA（農業協同組合）、福岡県の人たちと協力して、「特産物」（農産特産物）の開発のために努力しています。</p> <p>また、既に「特産物」になっているものは、宣伝（せんでん）をして、北九州市の「特産物」が全国に広がっていくように、努力しています。</p> <p>ぜひ、北九州市で作られた農産物をお店で探して、たくさん食べてみてください。</p>	4	4
231	ショッピングモールを作ってほしいです。	市がショッピングモールを作ることはできませんが、商店街やお店を経営する人たちを支援し、いろいろなお買い物ができるお店が増えるように取り組んでいきます。	4	4
232	いろいろな店をふやしてほしいです。	商店街やお店を経営する人たちを手助けし、いろいろなお買い物ができるお店が増えるように取り組んでいきます。	4	4
233	店を増やし、外出する大人を増やす。		4	4

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
234	スカイツリーをつくってほしい。	スカイツリーは、展望台があったり、周りにはプラネタリウムやショッピングモールなどもあって、楽しい場所だと思います。 北九州市にスカイツリーはありませんが、スカイツリーと同じくらいの高い「新日本三大夜景」の皿倉山の展望台がありますし、もう少ししたらショッピングモールの中に新しいプラネタリウムもできます。 北九州市にも良いものがたくさんあるので、いろいろ発見してみてください。	4	3
235	校内にショッピングモールを作ってほしい。	楽しいアイデアをありがとうございます。 学校の中にショッピングモールをつくるのはなかなか難しいですが、学校がもっともっと楽しい場所になるといいな、ということだと思います。 先生たちにいろいろ自分たちの考えや意見を伝えてみてください。そうすれば、学校がもっと楽しい場所になっていくと思います。	4	3
236	通学路の近くに文房具屋があると、いつでも買いに行けるので作ってほしいです。	北九州市では、お店を始めようとしている人のお手伝いもしますが、どこで、どのようなお店を開くのかは、その人が決めます。 近くにお店がない場合は、ノートやえんぴつ、じょうぎなど、学校で使うものは、前もって、足りているか確認しておいて、早め早めを買うようにしてみてもどうでしょうか。	4	3
237	学生の方々にも子育ての知識をみにつけた方が子育てするときに参考になりやすいので、学生の方々のための子育てについての講演を開く。	思春期の子どもたちの健全な健康づくりを支援するために、市内小学校・中学校において「思春期健康教室」を実施しております。 また、その教育の中で、胎児体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験なども行い、いのちの大切さについても触れています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
238	もっと保育士になってもらえるような制度をつくった方がいいと思います。	北九州市では、保育士になりたい人に声かけをしたり、保育士になりたい人と保育所をつなげる「保育士・保育所支援センター」というところをつくっています。 そのほかにも、保育士さんの働く環境をよくしたり、お給料を上げる取り組みをしたりしています。10月からは、新しい制度として、保育士さんの住宅を用意してくれる保育所にお金を出すことも始めました。 保育士になってからも、保育の仕事をやっていくうえで必要なことを学べるようにしたり、ずっと保育士を続けてもらえよう悩み相談の場をつくったりもしています。 これからも、保育士になりたい人が増えていくように、こうした取り組みを続けていこうと考えています。	2	1
239	保育所を増やしてほしい。	子どもプランをつくるにあたって、「今までどれくらい子どもたちが保育所を使っていたのか」というデータを調べて、これから保育所に通う子どもの数を計算しました。計算した数の子どもがみんな保育所に入ることができるようにしていこうと考えています。 例えば、保育所に似た施設として「認定こども園（にんていこどもえん）」というものがあり、この「認定こども園」を増やしたり、保育所を新しくする工事を行うときに合わせて、お部屋を増やししたりしていこうと考えています。 保育所が広くなっても、保育士さんがいないと入れないので、保育士さんがもっと増えるようにもしていきます。 こうした取り組みをこれからも続けていきたいと考えています。	2	1
240	放課後児童クラブで親の迎えを待っている子どもたちに、放課後高校生が出向いて少しの間ふれあえる機会を作ったりすると思います。 親の迎えを心細く待っている子どもも高校生とふれあうことで楽しく過ごせるからです。	放課後児童クラブのイベント等の取り組みについては、各クラブにおいて内容を決定しています。 ご意見いただいた取り組みを行う運営団体があれば、市としても必要な支援を行いたいと考えております。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
241	子どもたちが外で遊べる場所を増やしてほしい。	北九州市では、子どもの遊び場を良くしていこうと考えています。 外で遊ぶ場所として代表的なのは公園ですが、公園については、これからも安全に使えるようにしていきます。 このほか、「プレイパーク」というものがあります。これは、子どもの「やってみたい」という気持ちを大切にしたい外遊びの場で、自分のやり方や自分のペースで工夫し、挑戦し、失敗しながら遊びます。できなかったことができるようになることがこの「プレイパーク」の良いところです。 土・木・水・火などの自然のものを使って遊びます。ホームページでお知らせしていますので、ぜひ遊びにきてください。 近くの公園でも、遊具がなくてもいろんな遊びができると思います。みんなで意見を出し合って、遊んでみてください。	2	1
242	図書館とは別のテスト期間勉強できる施設がほしい。	地域の図書館のほか、黒崎にある「コースステーション」の学習スペースやフリースペース、それぞれの地域にある市民センターや各区の生涯学習センターにあるフリースペースを使うことができます。利用してみてください。	2	1
243	駅の近くに勉強をするための施設を増やしてほしい。	黒崎にある「コースステーション」の学習スペースやフリースペース、それぞれの地域にある市民センターや各区の生涯学習センターにあるフリースペースを使うことができます。利用してみてください。	2	1
244	外でボール遊びができる公園等が少なくなった。	ボールで遊べる公園があると、遊びのはばが広がって、すごく楽しくなると思います。でも、公園の広さや利用しているほかの人たちのことも考えないといけないので、全部の公園をそのようにすることは、なかなかむずかしいと考えています。	2	1
245	あらかじめ、用意されたボランティアではなく、子どもたちが自発的に選択し取り組める活動にするため、大人たちはそのサポート、つまりは、裏方に徹してほしい。例えばボランティアグループ立ち上げに資金援助、情報提供など。	広いグラウンドなど、ボール遊びができる公園もあるので、お友達と一緒にいろいろ探してみてください。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
246	<p>“学校でいやな事があったり、学校にいきたくないと思った時でも、すぐ相談できるようにします”というプランに対して僕の考えは、今の時代、自分から相談をしに行くというのは、ハードルが高いし、僕たちの世代にあってないと思います。なので、スマホの中でアプリを作ります。具体的に説明すると、LINEのような形で登録などは簡単なものにし、名前などは、テキストに、生年月日・パスワードも不要、気楽に話せるをコンセプトにします。</p> <p>そして、このアプリと同時に、このアプリに登録し、相談をしてくれた人たちの相手をするためだけのチームを作ります（なるべく若い人、引きこもりやニートなら一石二鳥！）。僕は1対1で面と向かって話したいです。大人対子どもの座談会では意味がないと僕は思います。</p>	<p>北九州市では、今のところ、SNSやアプリを使った相談は行っていませんが、いつでも、電話やメールで相談にのってくれる「24時間子ども相談ホットライン（093-881-4152）」や、専門のスタッフがアドバイスやその人にあった支援を行う、子ども・若者応援センター「YELL（エール）」という総合相談窓口があります。</p> <p>また、不登校の中学生のところに直接訪問する取り組みも行っています。</p> <p>自ら相談しに行くのは、ハードルが高いと知っている人は多いかもしれないので、悩みや不安を気軽に相談できるにはどうしたら良いのか、SNSなどを使った相談方法についても考えていきます。</p>	2	1
247	<p>不登校の人たちが集まれる場所があったらいいと思う。</p>	<p>子ども・若者応援センター「YELL」は、不登校などに悩（なや）んでいる人たちが相談にきたり、活動に参加したりする場所です。</p> <p>戸畑区の「ウェルとばた」という建物の中にあります。</p> <p>ここでは、いろいろな活動に参加できる「プログラム（それぞれの人に合わせてつくられる活動メニューのようなもの）」などを用意しています。</p>	2	1
248	<p>児童虐待が新たな問題になっているため、児童相談窓口に取り組みの徹底と、その存在を知ってもらうための取り組みをする。</p>	<p>北九州市には、児童相談窓口として、区役所子ども・家庭相談コーナーと子ども総合センターがあります。</p> <p>虐待の相談を受けた場合は、子どもの安全確認や調査を行っています。</p> <p>これらの窓口をより多くの市民に知っていただけるよう市政だよりやポスター、パンフレットの配布などを行っており、今後とも広報に努めます。</p>	2	1
249	<p>父親がミルクをあげたり、オムツ替えをしたりすることがもっとしやすくなるような環境作り。</p>	<p>いろんなところに、おむつ替えのできる場所やミルクをあげられる場所がありますが、母親しか使えないようなところもあるようです。</p> <p>父親もこうした場所を自由に使えるようにしていくことが、男性の育児を進めることにもつながると考えています。現状を把握し、今後の方向性を検討していきます。</p> <p>ご意見を踏まえ、素案134ページ、施策14の〈方向性〉について、「男性の家事・育児などへの参画を促進するための取り組み、環境づくりを推進します。」に修正します。</p>	2	2

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
250	ゴミ箱を増やしてほしい。	<p>以前は、公共ごみ容器（みんなが使うゴミ箱）は、まちにごみが散らかることを防ぐため、人通りの多い歩道や乗り降りの多いバス停などに置いていました。</p> <p>でも、こうしたごみ容器を置くことで、ごみを散らかすことにつながったり、家庭のごみを持って来て捨てる人がいたり、といった問題が起こったため、平成18年度に、こうしたゴミ箱を全部なくしました。</p> <p>その後、みなさんに聞いてみたところ、「ごみが減り、きれいになった」という意見がほとんどでした。また、他のまち（政令指定都市）でも、ごみ容器は置いていません。全国的にもごみ箱を置かない考え方が進んでいますし、北九州市でも「ごみの持ち帰り」を進めています。</p> <p>こうしたことから、公共ごみ容器（ゴミ箱）をもう一度置くことは考えていません。</p>	2	1
251	夜のバイクの音をなくしてほしい。	<p>うるさいバイクの音は、迷惑行為（めいわくごうい）のひとつとして、防止のための啓発活動（「してはいけない」ということをお知らせすること）などを行っています。</p> <p>警察などへの協議・相談を行いながら、迷惑行為の防止を進めていきたいと考えています。</p>	2	1
252	登り坂を減らす、段差をなくす	<p>道路をつくるときは、決められた基準（ルール）があります。</p> <p>できるだけ坂がゆるやかになるようにしていますが、周りの地形や道路沿いの建物などの状況によっては、やむをえない場合があります。</p> <p>市の施設や、歩道については、これからも、段差をなくすように取り組んでいきます。</p>	2	1
253	北九州は他県から「こわい」というイメージがあるようなので、犯罪を減らせるようにしてほしい。	<p>北九州市は、犯罪が減ったり、暴力団が少なくなったりして、安全なまちになりましたが、いまだに「暴力のまち」といったイメージが残っています。</p> <p>このイメージをなくすため、これからも、市外の人たちに、北九州市が安全・安心なまちになっていくためやっていることや、北九州の本当の姿（安全なまちだということ）をしっかりと伝えていきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
254	バス停で22:00頃電気が消えたのですが、もう少しだけつけてほしい。	街灯にはいろいろ種類があって、誰が付けることを決めるのか、誰がお金を払うのか、街灯の種類によって違います（※）。 街灯が消えていたり、付けて欲しいときは、まずは、住んでいる区の区役所（コミュニティ支援課）に連絡するようにしてください。 ※「防犯灯」は町内会・自治会、各区コミュニティ支援課、「街路灯・生活街路灯」は、各区まちづくり整備課、バス停の灯具は、バス事業者（西鉄、北九州市営バスなど）が管理しています。	2	1
255	夜の帰り道が暗い。	市民の暮らしの安全・安心に配慮し、道路空間の規定の明るさが保たれるよう努めています。	2	1
256	計画の中の「成果指標」に「増加」や「維持」など、数値化されていない目標が設定されていますが、数値化する必要があるのではないかと。これでは「指標」とはいえないのではないかと。	今回の計画では、大きな方向性として、主に「増加」「減少」などを目標にしています。 なお、計画策定後、実績やアンケート調査の結果等をもとに、成果指標の基準値（スタート地点としての具体的な数値）を示していきます。	3	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

2. 大人からの意見

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
<p>≪計画全般に関わるもの≫（10件）</p>				
257	<p>市の政策は点と点を結ぶ政策は充実していると感じるが、今後は面的な（包括的な）政策に期待する。例えば働きながら出産・育児し、保育所へ預けることを考えている人には1回の申し込みでサポートが完結するような仕組みが必要である。</p> <p>加えて、各施策の内容（質）の向上を期待している。</p>	<p>切れ目ない支援を行っていくにあたっては、ご提案のようなワンストップ化をさらに進めていくことが重要であると考えます。質の向上を含め、引き続き、利用者目線に立った改善に取り組みます。</p>	2	1
258	<p>第1子（11歳）、第2子（7歳）がいるが、幼少期の子育て環境はとてもよく、今回のプランでさらに改善されていると感じた。</p>	<p>乳幼児期は、子どもの成長にとって重要な時期であり、今後も、保育園、幼稚園などの関係機関と協力しながら、よりよい環境づくりに努めます。</p>	1	1
259	<p>北九州市は、子育ての制度、施設、体制など、環境が整っていてとても良いと思う。この計画も行き届いていて、素晴らしいと思う。</p>	<p>引き続き、本計画に基づき、子ども・子育て支援に取り組みます。</p>	1	1
260	<p>各目標ともに、未就学児・小学生の施策は充実しているが、中学生・高校生の施策が少ないように感じる。</p>	<p>未就学児・小学生については、保育所・幼稚園、放課後児童クラブといった施策が盛り込まれていますが、中学生・高校生となると、それに代わるものとしては、学校生活、部活動等になります。</p> <p>この部分、特に、子どもの教育に係る部分については「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に定めることとしています。（素案2ページにその旨記載しています。）</p> <p>また高校生については、主に福岡県の所管となるため、「福岡県学校教育振興プラン」の中に盛り込む形となっています。</p> <p>この結果、子どもプランでは、ボランティア活動や様々な体験の場の提供など、学校教育以外の内容を主に掲載するとともに、青少年の健全育成という観点から、非行防止や自立・立ち直りの支援の施策を主に掲載するスタイルとなっています。</p> <p>今後施策を推進していくにあたっては、他の計画とも連携を図りながら、効率的、効果的に取り組んでいきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
261	<p>放課後児童クラブで働いている。それぞれの学年で子どもたちに必要な配慮や対応は異なる。</p> <p>子どもとの関わりから、その保護者、学校の先生方と子ども1人から何人ものひとへとつながっており、子どもは子どもを取り巻く環境に大きく影響される。そんな中で虐待やネグレクトなど自ら動けない子どもとの信頼関係を築く継続的な働きかけや関わり的重要性を感じる。</p> <p>「子どもプラン」では、様々な取り組みが子どもたちの成長に合わせ、配慮されていると感じた。素晴らしい講師による研修会に参加させてもらったことで、現場で子どもへのよりよい対応や合理的配慮を要することもへの対応などの実践へとつなげることができている。</p> <p>そういったことも含めて「子どもプラン」での様々なかわりや取り組みによって今後も北九州市がよりよい住みやすい都市として人と人との信頼関係のもと、つながり、発展していくことを願っている。</p>	<p>子どもプラン第3次計画では、基本理念を見直すとともに、全体像（素案39ページ）を作り直しました。</p> <p>これにより、北九州市で実施する子ども・子育て支援の取り組みが一つの理念に集約されるとともに、それぞれの施策や具体的取り組みが、子どもたちの特性や家庭環境、成長過程にどう関わっていくのか、分かりやすく示すことに努めました。</p> <p>この計画（基本理念、全体像）を市全体で共有していくことが、いろいろな分野の連携、協働の推進につながるものと認識しています。策定後は、この計画を推進しながら、その周知にも取り組んでいきます。</p>	1	1
262	<p>計画の視点の第1番に「子どもが主体」と掲げているにも関わらず、基本理念のサブタイトルに「子育て日本一を実感できる・・・」と「子育て」という言葉がでているので、大人のための計画なのでは？と感じた。</p> <p>計画書を全体的にみて、これまでの5年間の踏襲なのではと思った。各項目の主な取り組み欄をみても、既に実施されていることが書いてあることが多く、「課題」を本気でこれで解決しようとしているのかなと思ってしまう。</p> <p>そもそも、このプランを作った人たちは、これが実現したら素敵な市になるだろうとワクワクしながら計画を立てたのか。</p> <p>「主体性が育つまちをつくる」と目標2にあるが、ワクワク・ドキドキする感情って子どもだけではなく、大人になっても何歳になっても自らが動こうとする大きな原動力になると思う。動くから世の中が変わっていく。</p> <p>正直、これから先の5年間を計画しているこの第3次プランは、そのような時流を加味した内容とは取れず、5年後、「子育て日本一」は過去の遺物と化し、北九州は国の施策の流れや世の中の流れから立ち遅れていくばかりなのではと危惧する。</p> <p>北九州を活気にあふれる魅力ある街にするためにはハード部分（都市計画）の整備とソフト部分（人財育成）の整備があると思うが、そのハード部分ではなく、ソフト部分がこの次世代育成計画だと思う。現状から考えた半歩先行く地に足がついた計画も大事だが、もっと、夢があって将来明るい希望・期待がもてるようなワクワク・ドキドキが詰まった計画も盛り込んでほしいと思う。</p>	<p>子どもプランでは、法令等に基づいた行政計画という位置づけもあり、子どもを主体という考えを持ちつつ、主に行政として何をしていくのかを掲載する形となります。</p> <p>パブコメでいただいた子どもの意見では、弟や妹のために、友達のために、自分としてできることをやっていきたいという思いを感じることもできました。この計画を子どもたちにもっと知ってもらい、子どもたちも、家庭の一員として、地域の一員として、関わってもらえるよう周知に努めます。</p> <p>今回の計画は、「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」という名称からもわかるとおり、これまでの計画を引き継ぐ形となっています。</p> <p>今回、計画の視点に「子どもの権利を大切ににする」を追加したり、施策に「地域における子どもの居場所づくり」を追加するなど、新たな内容を盛り込み発展させています。</p> <p>また、各施策を推進する具体的な取り組みについても、新規・拡充を図り、より良いものにしていきたいと考えています。</p> <p>このプランの掲げた基本理念「子どもたちの未来を育み、みんなの笑顔があふれるまち北九州」や、5つの目標を実現できるよう、積極的に取り組みを進めていきます。</p>	3	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
263	大まかに、「やりたいこと」は伝わってきか、具体的なことは何も書かれていないので、「そうだったら良いな」という、ぼんやりとした感想しか出てこない。	子どもプランは、今後5年間の北九州市の子ども・子育て支援の方向性と目標を示すことに重点を置いたものとなっています。5つの目標に向かって、みんなの笑顔がえられるまちをつくっていきます。	2	1
264	書いてあることは 子育てに大切なことを網羅してあり立派だと思うが、「充実します」、「維持します」、などの言葉なので具体的にどうやっていくのかがよくわからない。それぞれの分野の建前でなく本気度が大切だと思う。		2	1
265	全体的に子どものことを考えた素晴らしいプランだと思うので、実効性のあるものになればいいと思う。		1	1
266	北九州市は、人口減少が進む中、少しでも子育て世代が住みやすいと実感できるように、このような計画や実践をしているが、妊娠・出産・育児・教育などに関して、切れ目なく、また細かく子育て世代を支援して下さる体制に、一市民としてありがたさと心強さを感じている。このような骨組みがしっかり掲げられていることで、子育て日本一として取り上げられることも多いのだと分かった。	子どもプラン第3次計画では、基本理念を見直すとともに、全体像（素案39ページ）を作り直しました。これにより、北九州市で実施する子ども・子育て支援の取り組みが一つの理念に集約されるとともに、子どもの成長に応じて切れ目なく関わっていくことを分かりやすく示すことができたと考えています。	1	1
《総論》（10件）				
267	全ての項目において、具体的な数値目標を掲げ、手順を踏まえ、人材育成と予算確保を図るべきである。SDGsには、具体的な数値目標がある。北九州市、各区、各中学校区、単位の目標を明確にし、その進捗を発表すべきである。	子どもプランに掲げている取り組みについては、それぞれ代表的な指標とその目標を定め、進捗状況を検証しながら、PDCAサイクルに基づく見直しを継続的に行っていくこととしています。また、各施策をSDGsの17のゴールと関連づけ、取り組みを推進していきます。	2	1
268	SDGsは、1人1人が今、自分のいる場所から1人のちからは微力ではあるが、SDGsのゴール、目標に向かって、自分でもできる小さなことを様々な方向から日々取り組んでいけるといいと思う。	既にやっていることの中にSDGsの17のゴールを見つけることも大事なことで考えます。こうした身近なことの実践が、SDGsの活動の広がりにつながります。これからも、市民や企業、団体などと連携し、市一体となって、SDGs達成に向け取り組みを進めていきます。	1	1
269	SDGsに関連して、国連子どもの権利条約が総括した所見の一つに「気候変動問題」についての勧告がある。子どもの権利と気候変動の関係性を意識した内容が一つも入っていないが、入れるべきではないか。	ご意見を踏まえ、素案142ページの〈現状・課題〉の文章を追加・修正します。「気候変動がもたらす異常気象等により、自然災害が頻発しています。こうした災害時には、…、子どもたちが抱える不安の大きさは想像に難くありません。」	3	2

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
270	「子どもの権利」について市民全体が正しく理解し、行動原則とすることを目指し啓発活動、実活動での評価基準などを明示すべきである。	「子どもプラン」を推進していくためには、子どもプランの視点の一つ「子どもの権利を大切にす視点」を市全体で共有することも大事だと考えています。 ご提案の件については、ご意見として承ります。	2	1
271	2019年は子どもの権利条約が採択され30年日本が批准して25周年という節目の年である。素案にある4つの視点の一つ「～子どもの権利を大切にす視点」では弱いのではないか。大人が良かれと思う子どもの最善は、子どもにとってすべて良いわけではない。加えて子ども達という集団ではなく一人ひとりの生存と発達を大切にす観点から、子どもの権利は大切にすのではなく「守る」ものであり、大人も、子供自身も、子ども時代という固有の権利が保障されるとの周知を図っていくことが重要と考える。	素案34ページの中に記載のとおり、子どもの権利については、「擁護」という言葉を文章の中で使用しているように、「守っていく」ことを明記しています。 視点については、より親しみやすい「大切にす」という表現を使用することとしたもので、子どもの権利を守っていくことを否定したり弱めたりする意図ではありません。	3	3
272	市の施設の今後のあり方について、子供達の意見を集めるべきである（特に子供向け施設においては必須）。 たとえば、グリーンパークや山田緑地、子育て支援施設、などについて、その役割やあり方について行政や運営者のみならず、利用者も学び、共に育っていくという考え方から、常に子供達への啓発や意見表現の機会を保障し施設運営や、活動内容について反映させる必要がある。 近隣住民・利用者の意見を聞くことと合わせて、子供の居場所や学び場、市全体からみた位置付けなどを明確化し、共に場所を作り育て、担っていくという市民教育が必要である。 *グリーンパークには、むかしからあったローラー滑り台や森の中の木製遊具をリニューアルして欲しいという希望が多い。（にもかかわらず、コンクリート詰めプランコや、監視員がいないと利用できない有料遊具が設置されている） *昔ながらの、藤棚のよしずのさしかけられた砂場がほしい。 *グリーンパークの水辺に、緩やかな流れのあるエリアを設置し、ザリガニ釣りや外来生物について学ぶコーナー作り、高刈りされた昆虫保全ゾーンでの生物観察体験コーナー、竹書について体験を通じて学ぶコーナーなど、北九州ならではの体験を通じて学ぶ展示があると良い。（市外からの来訪者が多く、周辺への大量のチラシ配布などを行なっていることから、活動紹介だけでも十分周辺へのインパクトはあると思われる）	利用者のニーズを把握し、よりよい施設運営を行っていくことが重要だと考えています。 各施設で実施する利用者アンケートなどを活用し、子どもたちの意見や希望を聞きながら、魅力ある施設づくりに取り組んでいきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
273	<p>基本理念を踏まえた計画の視点として、「子どもが主体であり、子どもの権利を大切にす視点」、「地域社会全体で見守り支える視点」など4つの視点が掲げられており、どれも大事な視点であるが、“子どもを育てる”上で最も大切なことは、その親や、祖父母など、家庭や親族が中心となって、たくさんの愛情を注ぎながら責任をもって育てることである。</p> <p>最近ではそういった基本的なことが失われ、虐待や殺めるといった、子どもを巻き込む悲しい事件が多く発生しており、大変危惧している。</p> <p>3次計画だからこそ、このような当たり前で大変重要な視点を、改めて、積極的に訴える施策を盛り込んで良いのではないかと感じる。</p>	<p>ご意見を踏まえ、文章を追加・修正します。</p> <p>素案35ページ「エ 地域社会全体で見守り支える視点」の、「子育ての第一義的責任は保護者にありますが、」を「子育ての第一義的責任は保護者にあり、保護者が中心となってたくさんの愛情を注ぎながら責任をもって育てることが重要です。加えて」に修正します。</p>	3	2
274	<p>子どもの保護、子育て支援の強化はもちろんだが、子ども一市民と考える視点がが必要である。</p>	<p>子どもプランでは、法令等に基づいた行政計画という位置づけもあり、子どもを主体という考えを持ちつつ、主に行政として何をしていくのかを掲載する形となります。</p> <p>パブコメでは、子どもたちの意見をたくさんいただきました。その中には、この子どもプランをきっかけに、弟や妹のために、友達のために、自分としてできることをやっていきたいという思いを感じることもできました。</p> <p>素案35ページの「地域社会全体で見守り支える視点」には、家庭や地域、学校、企業、行政それぞれの役割を示しています。この計画を子どもたちにもっと知ってもらい、子どもたちも、家庭の一員として、地域の一員として、関わってもらえるよう、子どもプランの周知に努めます。</p>	3	3
275	<p>「目標5」のように、事業や対策の有無だけでなく“何%改善”などの数値目標があると、対策の必要性や効果が分かりやすいと思う。</p>	<p>今回策定する子どもプラン（第3次計画）は、全体の方向性、目標を達成するための施策や、施策を推進するための主な取り組み、施策の成果を図る指標を掲げています。</p> <p>計画策定後に毎年度実施する「点検・評価」において、各施策の成果指標の改善状況を示すとともに、具体的な取り組みについても、一つひとつ数値目標等を設定し、達成状況を示していくこととしています。</p> <p>なお、素案「5 計画の推進方法（2）PDCAサイクルの中に以下の文章を追加します。</p> <p>※点検・評価を行うにあたっては、施策ごとに成果指標を設定し、進捗状況を確認します。また、施策を推進する主な取り組みについても、それぞれ数値目標等を設定し、達成状況を確認します。</p>	3	2

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
276	子どもプランは、保健、医療、福祉、教育などの幅広い分野にわたって総合的に施策が挙げられているが、各プランの紹介（連携）等は記載されないのでしょうか。	パブコメ資料（概要版）では、掲載していませんでしたが、素案2～3ページに、北九州市の他の計画を紹介しています。また、子どもの教育に係る行動計画は、「第2期北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」に定めることとしています。 これらの計画と連携しながら推進していきます。	3	1
<p>《各論》（214件）</p> <p>施策1 母子保健の充実（14件）</p>				
277	<p>養育支援が必要な家庭に対しては手厚く支援が入るが、普通に出産した家庭には、赤ちゃん訪問のみで、なかなか支援の目が向いていない。</p> <p>北九州市は、各区とも転勤族が多い。普通に出産した場合でも、産後の母親の不安は大きい。支援が必要と思っても身近にSOSを出す手段がない母親が多い。</p> <p>産後3ヶ月までに母子関係がうまくいかないと「産後うつ」や「虐待」に向かってしまう危険があるため、産院退院後～約3ヶ月までの母子が安心して子育てサポートが受けられる「産後ケア事業」で病院（産科・助産院など）に、一定期間宿泊又は日帰り通所をしてケアが受けられるような環境がほしい。</p>	<p>妊娠・出産・産後間もない時期を安心して過ごせることは、その後の子育てにおいて重要です。</p> <p>妊娠・出産・育児期を通して、切れ目なく母子を支援することができるよう、産後ケア事業をはじめとした、産前、産後体制を充実していきます。</p>	2	2
278	<p>思春期の子どもに対するケアや親へのサポートを充実してほしい。</p> <p>また、男女の体の違いや変化に加えて、若年での妊娠や出産のリスク（中絶・経済・進路など）、晩産のリスクなど、早い時期（小学生）から継続的に性教育の必要がある。</p>	<p>現在北九州市では、思春期の子どもたちの健全な健康づくりを支援するために、市内小学校・中学校において「思春期健康教室」を実施しております。</p>	2	1
279	<p>保護者のほとんどが、子どもを妊娠してから子育てについて考えるというケースが多いため、不安や悩みを多く抱える結果につながっている。</p> <p>より早く子育てに関心をもってもらうこと、北九州がより子育てしやすい街になっていくために、『中学・高校生への育児・保育体験を通じた教育事業』を実施すべきである。</p>	<p>思春期の子どもたちの健全な健康づくりを支援するために、市内小学校・中学校において「思春期健康教室」を実施しております。</p> <p>また、その教育の中で、胎児体験や赤ちゃん人形の抱っこ体験なども行い、いのちの大切さについても触れています。</p>	2	1
280	<p>北九州市では、乳がん検査の支援（無料化）が、40歳以降となっているが、子どもを産みたいと願う女性で妊娠前に乳がんの事前検査を受けたいと願う声は少なくないと思われるため、乳がん検査（無料化）の年齢引き下げしてほしい。</p>	<p>北九州市では、厚生労働省の示す「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」に基づき、40歳以上の女性を対象として乳がん検診（受診料1000円）を実施し、「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業実施要綱」に基づき、40歳の女性を対象として乳がん検診無料クーポンを配布しています。</p> <p>乳がん検診の対象者年齢の引き下げについては、厚生労働省の動向の把握に努め、慎重に検討していきたいと思っております。</p>	3	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
281	「ペリネイタルビジット」という事業名は分かりにくい ため、分かり易い表現にしてほしい。	ご意見のとおり、現在の事業名では「産前 から産後間もない妊産婦とその家族が事前に 小児科を訪問し相談できる」という事業内容 が伝わりづらいため、来年度から名称を「こ んにちは赤ちゃん！小児科訪問（ペリネイタ ルビジット）事業」に変更する予定です。	3	2
282	子どもに最も影響を与えるのは両親だが、その覚悟や 知識がない人が増えている。現在も、区役所や産婦人科 で母親学級や両親学級が行われているものの、意識の高 い希望者が受講するような仕組みとなっているため、最 低限のプログラムについては、全ての親が原則受講する ように促すべきである。	仕事等の都合により、すべての方に受講い ただくのは難しいことから、母子手帳や別冊 の「情報提供ハンドブック」において、妊娠 中から育児期の基礎的な知識について掲載 し、妊婦やその家族の方に子育ての必要な知 識や、情報を提供できるようにしています。 また、学級への参加については、妊婦やそ の家族の方に積極的に参加していただけるよ う、母子健康手帳交付時にお知らせするな ど、今後も取り組んでまいります。	2	1
283	子どもが生まれて、母親学級やパパママ研修、沐浴の 方法、離乳食研修など市が主催で行うイベントに積極的 に参加した。 絵本をいただいたり、急な病気の対応方法を教えても らったり、オムツが多くなるのでゴミ袋をもらったり、 予防接種や歯科健診の案内など手厚いサービスがあり 初めての子育てにはずいぶん有難かった。	今後も母親学級等を通じ、妊娠や子育てに 関する知識の普及・啓発を行っていきます。	1	1
284	子どもの「弱視」について。3歳児健診で小児科に診 る機械があるところでは発見できるが、ないところ では、検査をしないので発見が遅れる。 できるだけ早めに強制すれば、治る可能性が大きい ため、すべての小児科に機械を置くようにしてもらいた い。	現在、3歳児健診の視覚検査は、絵指標を 使って実施しています。 今後も、国の実施要領に従って実施しま す。	2	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
285	<p>今の離乳食指導は、「いかに手間暇をかけるか」といった内容になっているが、手を掛ければかけるほど、子どもとのスキンシップの時間が短くなるとともに、「手を掛けなければ愛情が少ない」といった強迫観念に駆られることにより、母親を精神的に追い込むことになる。</p> <p>そこで、毎日簡単に楽しく手作りができ、真似することもでき、母子が健康で過ごせるような離乳食指導に改善していくべきである。</p> <p>子どもと触れ合う時間を増やし、母親の負担を軽減するような離乳食の指導について、方向性を示すなどの検討を進めてほしい。</p>	<p>現在、各区役所等で行っている離乳食教室では、離乳食の基本的なすすめ方について、試食等を含めた講話を行っており、離乳食を作る保護者等に対し、寄り添いを重視した分かりやすい説明を心掛けています。</p> <p>教室では、離乳食づくりを負担に感じている保護者も多いことを踏まえて、手軽に離乳食をすすめられるように、冷凍や電子レンジの活用、大人の食事からの取り分け、ベビーフードの利用等についても説明しています。</p> <p>しかしながら、「手を掛けなければ愛情が少ない」と受け留めてしまう受講者もいらっしゃるということを心に置き、今後は今まで以上に保護者の気持ちに寄り添い、不安が解消できるように、より丁寧でわかりやすい説明を心掛けていきたいと思えます。</p> <p>そのため、配布資料やホームページでの情報提供についても、検討します。</p>	3	1
286	<p>母乳で育てたい母親は多くいると思うが、初乳から卒乳までの流れを説明するといった、母乳に関する手引きがほとんどなく、書籍も少ない。</p> <p>特に、初めて子どもを授かった母親や、産後の疲弊した状態で母乳に関する正しい知識や情報を得ることは、大変難しい。</p> <p>また、助産師に相談しても、非科学的な方法を指導する方がいたり、人によって言う事が違う場合もあるなど、助産師の言動に降り回され、迷ってしまい、母乳を止めてしまう母親もいる。</p> <p>そこで、初乳から卒乳までの流れやトラブル、母乳の変化を分かりやすく説明する、母乳に関する手引き書等の作成を検討してほしい。</p>	<p>ご意見のとおり、初乳から卒乳までの流れを詳しく説明した手引書は、現在のところ、本市では作成しておりません。</p> <p>母乳育児に関する相談は、各区役所「健康相談コーナー」で常時受け付けているほか、初産婦の方が小児科医に相談できる「こんにちは赤ちゃん！小児科訪問（ペリネイタルビジット）事業」などにより受けているところです。</p> <p>母乳育児のあり方は親子ごとに多様であるため、厚生労働省が平成31年3月に改定した「授乳・離乳食の支援ガイド」に従って、お母さまやお子さまのその時々状態などから、不安が少しでも解消できるよう、育児相談事業に取り組みます。</p>	2	1
287	<p>2児の母だが、生後4か月までの乳児家庭全戸訪問事業は、子育ての悩みについて周囲を気にせず聞け、また、子どももみてもらえることがすごくよかった。</p>	<p>今後も、全戸訪問を継続し、お母さん方の心のケアや子育て支援に関する情報提供を行っていきます。</p>	2	1
288	<p>多くの子どもを出産することは、地域の将来にとってとても有益なことであるものの、母親は肉体的・精神的にも過酷な環境となる。そのため、多胎児の場合は、通常の養育と比べ、手厚い支援策が必要である。</p>	<p>多胎児育児は、身体的・精神的な負担、社会的な孤立など多胎児ならではの困難さに直面する保護者も少なくないと考えてます。</p> <p>多胎児に関する育児支援の充実については、妊娠・出産等に関する相談支援事業のなかで考えてまいります。</p>	2	2

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策2 母子医療体制の維持・強化（5件）				
289	目標2について、とても良い目標だとは思いますが、具体的にどの施策が「子どもの主体性が育つ」ことになるのかが分かりづらい。	目標2の各施策の名称は、「乳児・幼児期の教育や保育の充実」「放課後児童の健全育成」などとなっており、「子どもの主体性」というキーワードを盛り込むことは行っていませんが、素案53ページ以降の各施策を具体的に説明している部分では、「現状・課題及び方向性」などの中で、「子どもの主体性」に触れています。 《主な例》 ・施策4：「主体的な遊びや生活ができるよう…」 ・施策5：「子どもがその場を自分の場所にしていくという主体的な営みが形成されるよう…」 ・施策6：「自分が必要とされているという感覚は、子どもの主体性を生み、…」、 「子どもが活動の中心（主体）となって、自ら課題や問題に取り組み、…」	3	1
290	安心して産み育てるために、親元で里帰り出産をする女性に対し、受け入れ先の病院の確保や生まれた子どもやその兄弟児の福祉の充実を図ってほしい。	安心して子どもを産み育てることができる環境を整備することは、北九州市の重要な課題の一つであると考えます。今回のご意見も参考にしながら、引き続き、北九州市の周産期医療体制の維持・確保に努めます。 行政サービスは住民登録が必要となるものもありますが、例えば、24時間365日体制の小児救急医療や子育て支援施設など、里帰りした方にも北九州市の魅力を感じてもらえるよう、さらなる充実を図ります。	2	1
291	出産できる病院・施設を増やしてほしい。産科医・助産婦の働き方を再考してもらいたい。	全国的に産科医等の不足が課題となっている中で、北九州市においても例外ではなく、市内の周産期医療体制を維持することは喫緊の課題であると考えます。 貴重なご意見を踏まえ、市医師会等と協議を重ねながら、引き続き、当該体制の維持・確保に努めます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
292	<p>私の娘が出産の際、早産の可能性が高く、早くから入院生活となったが、万全の体制で出産に臨むことができた。超未熟児として生まれてきた孫は3ヶ月間にわたり、NICUのお世話になった。</p> <p>その間、娘に不安な思いを抱かせず、サポート体制がすばらしく安心して孫をまかせることができた。未熟児に対するあらゆる検査や養育医療も整い、入院中にかかった医療費は大変高額だったにもかかわらず、ミルク代やおむつ代など必要最低限の負担で済んだ。一人の本当にちいさな生命を大切にバックアップしていただいた制度に家族一同感謝の思いでいっぱいである。</p> <p>このように、北九州市に住むすべての子どもに対して、温かい手を差し伸べる制度によって、子育て世代が安全で安心して生活を送れること、また、子どもの成長とともに明るい未来が保証されることを心から願う。</p>	<p>入院中のご負担は大きかったでしょうが、無事にお孫さんを迎えることが出来たことを嬉しく思います。今後もご家族皆様のご健康を心よりお祈り申し上げます。</p> <p>北九州市の周産期医療体制については、市内4病院で、リスクの高い分娩や高度な治療が必要な新生児に対する専門的な医療を効果的に提供してきました。</p> <p>今回いただいたお言葉を励みに、引き続き、当該体制の維持・確保に努めます。</p> <p>未熟児に対する医療給付は、母子保健法に基づき、必要な給付を今後とも行ってまいります。</p>	1	1
293	<p>未就学児のときは、予防接種の時期や種類を気にしていたが、小学校入ると間隔が長く忘れそうになるので、予防接種の案内は助かった。</p>	<p>予防接種の一層の充実を目指すため、麻しん風しんの予防接種については、今後も、対象者の方や、対象者の方で未接種の方に対しては、個別送付等で積極的な勧奨を実施していきます。</p>	1	1
<p>施策3 乳児・幼児期の教育や保育の充実（39件）</p>				
294	<p>保育所が増え、子どもを預けられる場所が増えたことは喜ばしいが、保育士の確保とその質を高めることが必要である。</p> <p>保育の質の向上のため、保育士に対する研修の充実や職場における指導体制の充実を図ってほしい。</p>	<p>北九州市では、国基準を上回る保育士の配置、保育士等を対象とした専門の研修所の設置、第三者評価の実施など、北九州市独自の取組みによって、子どもの健康及び安全の確保など、保育の質の向上に努めています。</p> <p>なお、施設長や保育士等の資質向上のため、引き続き北九州市社会福祉研修所において研修を実施するとともに、研修内容の一層の充実を図ります。</p>	2	1
295	<p>保育士の確保をするためには、潜在保育士の採用が必要となるが、数年以上のブランクがある保育士は、自分の知識が大丈夫なのか等不安を抱えていることが多い。</p> <p>この不安を解消するため、『潜在保育士等に対する研修事業』の実施すべきである。</p>	<p>北九州市では、平成21年度から保育士資格・看護師免許を持ちながら、現在、その職についていない人を対象とした再就職のための研修会を年4回開催しています。引き続き、市政だより等を通じて、広く周知を図っていきます。</p> <p>また、施設長や保育士等の資質向上のため、北九州市社会福祉研修所において研修を実施するとともに、研修内容の一層の充実を図ります。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
296	<p>教育・保育の「質の向上」や「支援の充実に取り組むのであれば教員・保育士の増員は不可欠である。そうでなければ現場の教員・保育士の方々の負担が増えている。</p> <p>質の高い保育士を確保するためには、魅力的な処遇（賃金や福利厚生面）を設置しアピールすることが効果的だと考える。</p>	<p>保育士の確保は、待機児童の解消の観点からも、保育の質の維持向上の観点からも、不可欠であると考えています。北九州市では、子ども・子育て支援新制度における処遇改善等加算などにより、保育士の処遇改善を実施してきました。</p> <p>平成29年度からは、全ての保育士を対象として、2%相当の改善を行うとともに、技能・経験を積んだ保育士に月額4万円の上乗せなどを実施してきました。加えて、今年度からは、全ての保育士を対象に、さらに1%相当の改善を実施しています。</p>	2	1
297	<p>保育士の不足が社会的問題となっているので、保育士の処遇の改善のための仕組み作りが必要であると思う。</p>	<p>また、本年10月からは、保育士の雇用確保を図るための新たな取組みとして、「保育士宿舍借り上げ支援事業」を実施しています。</p> <p>今後とも保育士の働きやすい環境づくりに努めます。</p>	2	1
298	<p>出産後、職場復帰を希望する女性を支援するためにも、保育士の確保が課題であるため、保育士の方が働きやすい環境整備が大事である。</p>	<p>あわせて、これまで、国基準を上回る保育士の配置、保育士等を対象とした専門の研修所の設置、第三者評価の実施など、北九州市独自の取り組みによって、子どもの健康及び安全の確保など、保育の質の向上に努めています。</p>	2	1
299	<p>「質の良い幼児教育」の実現のためには、「配置基準」の見直しが必要と考える。</p> <p>そうすることで、もう少し個々に寄り添える保育となり、保育園に子どもを安心して預けられる。そこで質の良い幼児教育を受けることができれば、子どもの権利や最善の利益は守られ、親は安心して外で働くことができるのではないかと。</p> <p>子どもの言葉に耳を傾け、1人一人の子どもに寄り添い、理解し、丁寧な言葉でゆっくりと受け止めることができる保育士が多くいる園での時間は子どもにとって大きな財産となる。</p>	<p>北九州市では、1歳児の「5：1加配」や、障害児や食物アレルギーを有する児童がいる保育所に対しての加配、代替職員の雇用費補助や産休代替職員の雇用費補助など、国の基準を上回る加配制度を実施しています。</p> <p>今後も、保育士確保及び保育の質の向上に努めるとともに、子どもの健康及び安全を確保するために必要な対策を図っていきます。</p>	2	1
300	<p>「保育所における研修内容の充実、幼児教育の振興」、「幼稚園・認定子ども園における研修内容の充実」について、研修参加のため、先生方の時間を奪うことになり、人手不足で働き方改革の蚊帳の外になっているのではないかと。</p>	<p>北九州市では、保育士等の資質や能力の向上を図り、子どもたちにより良い保育を実施するため、保育士会などと連携し、全国に先駆け、保育士等を対象とした専門の研修所を設置し、多分野にわたる研修を体系的に実施しています。</p> <p>この研修の受講にあたっては、研修代替職員を雇用する際の費用を補助するなど、研修を受けやすい環境づくりに取り組んでいます。</p>	2	1
301	<p>すべての子どもと家庭を支えるとあるが、働く親たちが子育てを楽しくできる余裕のある時間を保障される会社が多くなってほしい。そのためにも、子育て中の職員がいる保育所には補助金をつけるなどして、替わりの職員を雇用できるようにしてほしい。</p>	<p>北九州市では、保育所の職員が出産する場合に、その職員の職務を行わせるための産休代替職員の雇用費補助を行っています。引き続き、保育士の働きやすい環境づくりに努めていきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
302	子ども達が先生方と接する時間をより作れるように先生方の事務仕事を減らし、先生方の働き方改革をしてほしい。	北九州市では、国基準を上回る保育士の配置を行う一方、ICT化の推進により、保育以外の業務負担を軽減することで、保育士の勤務環境の改善を図っています。 また、保育日誌などの様式を見直すことで保育士の事務作業の軽減に努めています。 その他、洗濯、清掃等の業務を行う高齢者等を雇用した場合に給付費が加算される入所児童処遇特別加算の活用を図ることで、保育士の保育業務以外の負担軽減にも努めています。	2	1
303	保育所にITが導入しやすいように、制限なしで補助してほしい。	北九州市では、ICT化の推進により、保育以外の業務負担を軽減することで、保育士の勤務環境の改善を図っています。 平成28年度以降、国の補助メニューを活用し、128園に対して保育に関する計画・記録や登降園管理などの業務支援システムの導入経費の一部補助を実施しています。	2	1
304	保育士宿舍借り上げ支援事業 ぜひ進めてほしい。	本年10月から、保育士の雇用確保を図るための新たな取組みとして、「保育士宿舍借り上げ支援事業」を実施しています。	2	1
305	この度の無償化は認可外保育施設に通う子にも適用されたということで、認可外保育施設の保育の質の向上が求められている。 どの子どもも一定のレベルを約束された環境で教育保育が受けられるように行政がテコ入れして北九州市内全域の幼児教育保育施設の質の底上げをするべきである。 その施策実行の積み重ねにより市民は「子育て日本一」を実感するようになると思う。	国通知により認可外保育施設には指導監督基準が設けられています。北九州市では、保育所長経験者を保育課に配置し、基準を満たすようにきめ細やかな指導助言を行っています。また、児童福祉法に基づいた年1回の立入調査を年2回に増やし指導を強化しているところです。 認可外保育施設従事者を対象とした研修会も開催し、保育の質の向上を図っています。 引き続き、保育の質の向上を図るために取り組みを進めていきます。	2	1
306	この10月から認可園も認可外園も合わせてすべての子の幼児教育保育の無償化が始まった。巷では国は子育て世代への経済的な子育て支援と同時に、将来的には幼児教育と保育を一本化（＝認定こども園化）し、3歳以上時の義務教育化を考えているのではとされている。 施策（3）－①で認定こども園への移行支援、ならびに「子ども・子育て支援事業計画の中で普及を掲げ具体的に40園と数値を示されているが、市内の全幼児教育保育施設数に占める割合からすると少ないのではないか。 もっと行政側が（北九州市民の）子どもたちのために強力なイニシアチブを取って認定こども園の普及に乗り出してほしいと思う。	認定こども園の新設については、需要と供給の状況に応じて認可・認定を行うことになっています。 現在、教育認定（幼稚園機能）の受け皿は十分に充足しており、保育認定（保育所機能）の受け皿についても、年度当初の待機児童は発生していない状況です。 こういった状況や各幼稚園・保育所等の意向などを踏まえ、子ども・子育て支援事業計画で定める数を40園程度としました。 今後も移行を希望する幼稚園や保育所に対しきめ細かく移行支援を行い、認定こども園の普及に努めます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
307	<p>保育所の副食費の取り扱いについても、市の直営保育所と民間の認可保育所では徴収方法について違いがあり不公平さを感じる。副食費については、消費税増税に伴い食材費の便乗値上げも多く初めから赤字必須の金額ではなく、北九州市の保育所で調査した1ヵ月に掛かる副食費の平均的金額に近い額を示してほしかった。</p> <p>また、食育が重要視される現代社会において、現行の北九州市認可保育所の統一献立は、乳幼児期の子どもにとってこれからの長い人生の出発地点ともいえる大切な時期の食生活を支えるものなので、これからも北九州市の保育所給食の制度として大切にしてほしい。</p>	<p>今回の幼児教育・保育の無償化で、保育料の負担はなくなりますが、主食及び副食費については、引き続き、保護者に負担していただくとともに、その徴収については、保育所が行うというのが、国の基本的な考え方になりますので、各保育所において、給食費の徴収をお願いすることとしています。</p> <p>副食費の徴収額については、それぞれの施設において、実際に給食の提供に要した材料の費用を勘案して定めることとなりますので、献立等の提供内容を勘案せずに市において単純に一律の金額を決めることはできないとされています。</p> <p>また、保育所給食を通じた食育については、大変重要だと考えています。北九州市認可保育所の統一献立は、市保育課栄養士、保育所調理員、施設長等を含めた給食献立検討委員会で検討しており、市内のどの保育所でも、季節の食材や行事食を取り入れた、乳幼児に適した栄養価の給食を食べることができま</p> <p>す。</p> <p>今後も、統一献立の内容を随時見直しながら、より良いものにしていきたいと考えています。</p>	4	4
308	<p>保育所の給食費の徴収については、民間はそれぞれ各園での徴収になるので公立民間合わせたやり方で、納付書を発行してほしい。</p>	<p>今回の幼児教育・保育の無償化で、保育料の負担はなくなりますが、主食及び副食費については、引き続き、保護者に負担していただくとともに、その徴収については、保育所が行うというのが、国の基本的な考え方になりますので、各保育所において、給食費の徴収をお願いすることとしています。</p>	4	4
309	<p>保育所の入所児童のポイント制について、ある程度の不平等さの改善にはなっていると思うが、きょうだい児が同じ保育園に入れるよう、以前のように保育園の意向も考慮してほしい。</p> <p>行事が重なる場合はどちらかの子どもは保護者が不参加となったり、重ならない場合も保護者は仕事の休みが倍増するという事態が生まれる。また、ある保護者は育児休業復帰のときにきょうだいで同時に入所できず、入所できなかった下の子を数か月間県外の祖母に預けるという状況も、決してレアなケースではない現状である。保護者から二人目以降の出産を躊躇する声が上がっている。ポイント制を進めつつきょうだい児については申し込みが同時期の場合は、同じ保育園に優先的に入所できるポイント加算など、改善を望む。</p>	<p>北九州市では、平成27年4月の「子ども・子育て新制度」開始に合わせて、保護者等の実態をより細かく利用調整に反映できるようにポイント制を導入しました。</p> <p>きょうだい児については、既にきょうだい児が在籍している保育所等を希望する場合のほか、新たに同一の保育所等を希望する場合など、対象ケースを拡大して加点の対象といたしました。さらに、保育所や保護者からのご意見やご要望を受けて加点を見直し、平成28年4月入所分から、約2倍の加点といたしました。</p> <p>今後も、その他の加点とのバランスも考慮しながら、引き続き、きょうだい児の加点について検討します。</p>	4	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
310	<p>第三希望等で保育所の入園許可を出しても拒否されることもたびたびある。反対にどうしても入りたいという第一希望者でも、上に人（第二希望第三希望）がいたら入れない。第一希望の方に第一希望ポイントを加算してほしい。</p>	<p>北九州市では保護者等の実態をより細かく利用調整に反映できるようにポイント制を導入しています。また、同一点数で並んだ場合の優先基準として、「利用希望順位が高い方を優先する」こととしています。</p> <p>今後も、ポイント制全体のバランスも考慮しながら、引き続き、利用希望順位の取扱いについて検討します。</p>	4	1
311	<p>幼児期教育は、とても重要であり、社会への女性の進出による共働き世帯の増加や、核家族化が進んだ現代において、待機児童の問題は、深刻な課題の一つである。北九州市では待機児童数が年度当初0人を維持しているが、関連する施設の効果によるものだと考える。</p> <p>今後、地区によっては待機児童が出現してくるかもしれないので、3次計画の方向性にあるとおり、より効果的な施設の実施を期待している。</p>	<p>子どもプラン第3次計画案では、過去の保育所等利用状況をもとに、令和6年度までの教育・保育の量の見込みを算定し、必要な提供体制の確保を図ることとしています。</p> <p>第3次計画では、認定こども園への移行支援や保育所の老朽改築に合わせて入所定員の拡大を図るとともに、保育士が働きやすい環境を整備することによって保育士確保に取り組み、待機児童の解消を図ります。</p>	2	1
312	<p>これまでの少子化傾向を見ると、残念ながら、今後の少子化の傾向は変わらない。</p> <p>市内の保育園や幼稚園など、施設の受け入れ能力については 定員割れしている施設もあることから、余裕があると言える。そのため、多額の費用をかけて、新たに施設を作ることは望ましくない。</p> <p>なお、大半の保育所や幼稚園は、市ではなく民間団体が運営しており赤字では運営できない。各民間団体の努力を促すことは必要であるが、行政をしても、持続可能な運営の視点を養うべき。</p>	<p>子どもプラン第3次計画案では、過去の保育所等利用状況をもとに、令和6年度までの教育・保育の量の見込みを算定し、必要な提供体制の確保を図ることとしています。</p> <p>第3次計画では、認定こども園への移行支援や保育所の老朽改築に合わせて入所定員の拡大を図るとともに、保育士が働きやすい環境を整備することによって保育士確保に取り組み、待機児童の解消を図ります。</p> <p>また、私立保育所の運営については、国が定めた給付費に加え、保育所に対する市単独の補助を行っているところです。</p>	2	1
313	<p>新しい方針が出るたびに、保育士の給与や福祉のためという名目で、保育士や職員の仕事量は増加する。減らすためには園に負担が強いられる。</p> <p>“待機児童”という割に希望してくる子どもは少なく、箱モノばかり多く、定員割れているにも関わらず定員は減らしてくれない。ますます園の負担は増え、経営が成り立たない状態に陥りそうである。</p>	<p>私立保育所の運営については、国が定めた給付費に加え、保育所に対する市単独の補助を行っているところです。</p>	2	1
314	<p>小規模保育事業所において、職員に余力のある場合に限ってでも、保育園に通園していない子どもでも、柔軟に一時保育を利用したり、閉園時間を延長したりという機能拡充を許可してほしい。</p>	<p>一時保育は、保護者等のパート就労などにより家庭における保育が困難となる児童を保育するものであり、平成2年から始まりました。現在、認可保育所82箇所を実施しており、小規模保育事業での実施は考えていません。</p> <p>なお、小規模保育事業での延長保育の実施については、利用者の動向を踏まえ、小規模保育事業者の意見を聞いて検討したいと考えています。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
315	<p>病児保育事業は、一般的にはまだ認知度が低く、利用の仕方がわかりにくいのではないかと。病気の子どもを預けるといふことに抵抗がある、家族や他人にどう思われるかなど、預けてもいいのだという安心感がないことも影響していると思うが、その不安が取り除かれるような周知が必要である。</p>	<p>病児保育事業については、区役所・保育所等でのパンフレット配布、市政テレビやフリーペーパーを活用した広報、モノレール各駅へのポスター掲示等により、事業のPRを行っています。 今後もより利用しやすい事業となるよう、周知・啓発に努めます。</p>	2	1
316	<p>病児保育の拡充、使い易くして頂けると、子育て世代には助かる。</p>	<p>保護者の仕事などの都合により、家庭での保育が困難な病気中の子ども及び病気回復期にある子どもを一時的に預かる事業として、現在、市内12カ所で病児保育事業を実施しています。 また、「元気発進！子どもプラン（第3次計画）」では、14カ所まで増加させることとしています。</p>	2	1
317	<p>八幡西区黒崎地区では、飲食店に勤務する保護者が多数いるが、（所得の関係で）夜間に働かざるをえないため、子どもを預ける必要がある。 これまでは認可外保育園を利用している方も多かったようだが、その認可外保育園が閉園し、子どもの預け先に苦慮している。 子どもが夜間に家に一人で放置される危険性もあるため、『夜間保育事業所』を開設すべきである。</p>	<p>北九州市では、夜間の保育需要に対応するため、午前7時からおおむね午前0時まで利用できる「夜間保育」を小倉北区で1箇所実施しています。 引き続き、利用者の動向を踏まえながら実施していきます。</p>	2	1
318	<p>北九州市は、障がいのある子どもへの教育や支援もあり、障がいのない子どもも、共に育ち、私の子供たちも障がいのある方への差別や偏見なく、優しく素直に育ち、本当に感謝している。 （障害のある）子ども達は、素直で優しく育っているが、我々と同じ大人の学校の先生方は、子どもへの対応が少し大人すぎる時がある。幼稚園、保育所と小学校の連携の充実とあるが、もう少し幼稚園、保育所の先生方や臨床心理士などから現場で、学校の先生方が子ども達への接し方のアドバイスをしてもらい機会をつくると、子供たちへの対応がよりよくなるのではないかとと思う。</p>	<p>北九州市では平成17年度より、保幼小連携の意義についての認識を深め、連携の推進を図ることを目的として、「保幼小連携研修会」を実施してきました。 令和元年度からは、「幼児教育と小学校教育の円滑な接続」を視野に、市全体で行っていた研修会を各小学校区で行うこととしています。 また、連携交流事業として、公開保育・授業、保育士・幼稚園教諭体験、幼児と児童の交流、幼児教育従事者と小学校教師による意見交換会等を実施します。 このほか、連絡会として、訪問・面接や新入生の情報交換、翌年度の計画等を行うようにしています。</p>	2	1
319	<p>幼稚園、保育所等と小学校の連携充実はとても必要だと思う。何かあってからではなく、日頃から連絡できればいいと思う。</p>	<p>北九州市では、各幼稚園・保育所等と小学校に保幼小連携担当者を置き、日頃から、園児・児童の交流活動や職員間の連携を行っています。 今後も各施設の関係者や専門家のご意見をいただきながら、連携の充実に努めます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策4 放課後児童の健全育成（20件）				
320	（放課後児童クラブの）それぞれの設置主体当わりにくく、温度差もある。内容や金額を同様にはできないのか。	放課後児童クラブの運営にあたっては、運営団体に保護者負担金の標準額を示すほか、国の全国的な標準仕様となる「放課後児童クラブ運営指針」等に従って運営を行うなどにより、可能な限り標準化を図ります。	2	1
321	18時半まででは、正規社員の共働き夫婦が迎えに行くのが困難なため、学童クラブは、延長時間を19時までにして欲しい。 児童本人が帰宅していいなら問題ないが、利用していたところは、必ず親が迎えに行く必要があるのうえ、時間厳守だったため18時30までの延長利用を諦め、祖父母に迎えをお願いした。 時間延長については、保育園や幼稚園についても同じだと思う。 また、仕事の多様化に伴い年末年始やGWの受け入れについても、今後は検討していかなければ、共働き夫婦が安心して子育てするのは難しい。	【放課後児童クラブ】 北九州市の放課後児童クラブは、校区の社会福祉協議会など地域が運営委員会を構成し、相互扶助的な制度として実施しています。各運営団体の声等も聞きながら、19時まで開設するクラブが増えるように努めます。 【保育所】 働き方の変化に伴い、保護者の様々な就労形態や、残業等に伴う保育時間の延長を希望する保護者がおられるなど、保育ニーズが多様化しています。 家庭における子育てと仕事の調和に十分配慮しながら、保護者の多様なニーズに対応した延長保育や休日保育を実施していく必要があると考えています。 【幼稚園】 私立幼稚園では、概ね4時間とされている教育時間に加え、各園の判断で、保護者の就労等に配慮し預かり保育を実施しています。 元々、長時間の保育や休日保育を実施するための施設ではないため、預かり時間の長時間化には、職員の配置や園児の心身の負担も含め課題があります。 今後は、保育を必要とする幼児の受け入れ先である認定こども園への移行も含めて、各園で検討していただく必要があります。	2	1
322	放課後児童クラブの全児童化について、小学6年生まで手厚く受け皿を作り、中学になったら放り出すような印象がある。全てに大風呂敷を広げず、本当に必要な人とそうでない人の区別化は必要ではないかと思う。お金は掛けるべきところに掛けてほしい。	北九州市の放課後児童クラブは、希望する全ての児童を受け入れる「全児童化」を基本方針として実施しておりますが、今後については児童を取り巻く環境の変化などを踏まえ、検討していきたいと考えております。	2	1
323	放課後児童クラブは、学校の敷地に設けてほしい。	児童館がある小学校区では、当該児童館で放課後児童クラブを実施しています。 児童館のある小学校区において、放課後児童クラブを小学校に設置することに関しては、今後も引き続き検討します。	2	1
324	学童保育は各学校の近くに設置してほしい。	放課後児童クラブの施設整備にあたっては、可能な限り学校内、学校周辺に設置できるように取り組みます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
325	放課後児童クラブの環境整備を今後も継続して行って欲しい。 子供たちにとって魅力的な行きたくなるような場所を目指してもらいたい。 放課後児童クラブの改装が最近行われたので子供の環境がよくなりありがたい。	年々利用児童数が増加している状況を踏まえ、引き続き必要な環境整備に取り組みます。	2	1
326	屋外の遊び場が狭い放課後児童クラブのため、小学校、地域と連携して屋外の遊び場の確保してほしい。	放課後児童クラブと学校等の連携を図り、可能な範囲で環境改善に取り組みます。	2	1
327	放課後児童クラブは保育室のスペースが狭いため、改善をお願いしたい。	放課後児童クラブの登録児童数増加により、生活スペースが手狭になっている放課後児童クラブが生じております。 今後も、小学校の余裕教室の活用やクラブ棟の増設等により、生活スペースの確保に取り組みます。	2	1
328	放課後児童クラブの昼食サービスを検討してほしい（弁当の宅配など）。	北九州市の放課後児童クラブは、校区の社会福祉協議会など地域が運営委員会を構成し、運営しているため、クラブ等の意見も踏まえ研究します。	2	1
329	子どもが小学校に入ってから、放課後や長期休暇お過ごし方にいつも悩まされる（共働きのため）。校区にとられず、楽しく過ごせる場所が増やしてほしい。	北九州市では、「2中学校区に1館」を目標に児童館を整備しており、校区にとられずにご利用いただけます。 児童館を新設する計画は今のところありませんが、他の公共施設に児童館の機能を付加する等により、子どもの居場所づくりに努めていきたいと考えております。	2	1
330	学童保育について、正職員として働いている人しか預けられないのが現状だと思うので、普段は学校から帰宅する時間には家にいるから預ける必要はないけど、長期休み中は預ける場所がない、という、パートタイマーで仕事をしている人たちが子供を預けられるような場所があれば良いと思う。	北九州市の放課後児童クラブは、希望する全ての児童を受け入れているほか、長期休暇のみの受入についても一部クラブで実施しています。 今後も長期休暇中の児童の受入れを推進します。	2	1
331	学童クラブの体制を安定して欲しい。利用したところは、先生の入替わりが激しく、子供たちへの目も十分に行き届いていない印象だった。	体系的な研修の充実や個別課題への対応を支援する巡回相談などを行うことで、放課後児童支援員等の質の向上を図り、安心して児童が利用できるように努めます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
332	<p>放課後児童クラブは各地域のまちづくり協議会等を主とした運営団体が運営しているケースが多いと思うが、素案P9「②放課後児童クラブの維持向上」の観点からみて現状ではクラブ間の格差（保育体制、保護者対応、行事数、学校との連携）がかなりあるのではないかと感じている。クラブへの運営面を含めた支援、保護者からの苦情対応への支援などより充実する必要があるのではないかと、また、放課後児童クラブアドバイザーを増員するなどしてクラブ間の優劣の解消、学校とクラブの連携の強化を図ることが大事だと考える。</p>	<p>放課後児童クラブの質の確保・向上は重要と考えており、指導方法、苦情対応、学校連携などについては、研修や個別課題への対応を支援する巡回相談などを行うことで、運営団体にきめ細かな支援を行います。</p>	2	1
333	<p>子どもプラン（素案）「放課後児童の健全育成」を読み、これが実現できるようにと期待したい。しかし、そのためには、私たち指導員が努力していかなければならないと思う。</p> <p>例えば、障害をもった子どもを支援するには、それなりの知識や対応力が求められるが、そうするためのスキルが身につけていない。</p> <p>今は何かしら困ったことを抱えている子どもたちが増えた。そしてまた、その保護者も困っている場合がある。そうした家族などに対し共有と、ひとりも取り残さないための、支援をする側のスキルアップが必要である。</p> <p>私たち（指導員）にそういうスキルアップの手段・場所の提供をお願いしたい。そして、ぜひとも子どもたちの幸せのために計画の推進してほしい。</p>	<p>放課後児童クラブの指導員のスキルアップを図る研修については、放課後児童クラブの質の確保・向上を図るために非常に重要と考えており、今後も継続して実施します。</p>	2	1
334	<p>子どもたちが学校帰りに家に帰るように放課後児童クラブに帰りたいと思うように、その思いが子から親に伝わって安心してクラブに相談できるような信頼関係を築いていければいいと思う。</p> <p>学校から帰ってくる子どもの表情で、何かあったのかも気づくことができ、クラブでトラブルがあれば、その日のうちに解決して明日また元気に安心してこられるように帰っていくようにしていきたいと思っている。</p> <p>トラブルがあったときや特別なニーズを持つ子への対応でクールダウンをする場所が欲しいと思っていたが、人数も多く確保が難しかった。拡充していただければ、子どもたちがよりよく生活できると思う。</p> <p>子どもが帰ってくるまでの時間と仕事の終わりには、それぞれ気になった子どもの話をし、支援員が常に子どもたちの共通理解ができるようにしている。報告・連絡・相談もその都度おこなわれていて、最も大事なことだと思う。</p> <p>行事は特に夏が多く、担当支援員が活動計画案を配布することによって何をやるか明確で、担当以外の支援員も一緒にすぐ打ち合わせができるので、動きやすい。</p> <p>その後の反省も、次回に役立てている。</p> <p>外部への研修会出席はもちろんだが、クラブ内でも日々質の向上を図っていると思う。</p>	<p>北九州市の放課後児童クラブは、校区の社会福祉協議会など地域が運営委員会を構成し、創意工夫を凝らして、地域の特色を活かした運営を行っていただいておりますが、引き続きクラブの魅力向上のために、ご協力いただきますようお願いいたします。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
335	放課後児童クラブについても質の向上を図るための研修を受けやすく、また休みを取得しやすくするために支援員等を2名以上ではなく支援員を2名以上が望ましいと思う。人材確保のためには、さらなる処遇改善が必要である。	支援員の配置基準については、国において基準が示されており、今後も国基準に沿って実施したいと考えております。 処遇改善については、運営団体に「標準モデル額」を示すとともに、平成29年度から、経験年数に応じた賃金加算を行っており、今後も国の基準等を踏まえながら適切な処遇改善を行います。	2	1
336	児童クラブに関しては、支援員の高齢化が心配である。確かに、子育てを経験した世代は、保護者の気持ちも理解でき、大切だと思うが、これからの放課後児童クラブのためには、体力があり、専門的な知識を持っている若い世代の支援員も必要だと思う。（雇用形態を整えて、若い人材が働けるようになるとういと思う）	北九州市では国の基準を踏まえ、平成29年度から、指定する研修の受講により、経験年数に応じた賃金の加算を行っています。 今後も国の動向等を踏まえ、適切な処遇改善に努めます。	2	1
337	児童クラブの子どもたちと日々関わって感じることは、いろんな家庭環境の中で生きている、生活している子どもが増えている。また、保護者の離婚で生活も困窮している子もいるのは事実である。 共稼ぎの形態は昔とは少し違ってきたこともあり、近頃は大人の都合が優先された生活が主になっていることも感じる。 「自分の生んだ子どもは自分でしっかりと責任をもって育てる！」という気持ちを親が持てるように、私たち支援員はサポートをしていかなければいけないと痛感しており、その支援をするには、支援する側の資質の向上が大切である。子どもの気持ち、保護者の気持ちに寄り添うことが最も大切だが親育ちもするうえで、時には厳しく親に接することを心がけている。 「クラブの魅力向上・資質の向上」は、支援員一人ひとりが「人間としてどうあるべきか」を常に考え、子どもと接していくことが最も重要と考える。 資質の向上を目指す中、支援員の人材確保にも保育士同様の力を入れていただきたい。	放課後児童クラブは、いろんな家庭の子どもたちが貴重な時間を過ごす大事な居場所であり、直接子どもと接する支援員のみなさんの力が不可欠です。 引き続き支援員に必要な知識等を習得するための研修を実施するなど、資質向上に取り組むとともに、処遇改善など、その人材確保についても、国の動向等を踏まえつつ、努力していきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策5 地域における子どもの居場所づくり（28件）				
338	<p>社会課題は1つ1つバラバラではなく、必ずすべてつながっている。 行政は各部署が取り組む際、横の連携・情報共有がないために、労力が無駄に分散しているのではないかと。人・時間・空間・お金を1つにして、総力戦で課題解決できればいいと思う。</p>	<p>「北九州市行財政改革大綱」では、「組織横断的な視点での事業の再構築など 事業の抜本的な見直し」を掲げ、縦割りで実施している事業について、組織横断的な視点から事業を再構築したり、事業実施体制そのものを見直したり、より効率的かつ効果的な事業実施に取り組んでいくこととしています。 子どもプラン第3次計画においても、素案4ページで「5 計画の推進（3）行財政改革の視点」を盛り込んでいますが、下記のとおり文章を追加します。 「子ども目線に立った組織横断的な視点での事業の再構築など、より効率的かつ効果的な事業実施に取り組んでいきます。」</p>	2	2
339	<p>子どもが、失敗しながらも、自ら考え、決断していく力を育めるような環境をつくってほしい。</p>	<p>子どもプラン第3次計画では、目標2において、『学童期・青少年期は、学校や放課後児童クラブ、その他の居場所において、様々な体験や学び、人との関わりを通じ、又体制を育むことができるよう子どもをおうえんとともに、必要な環境整備を進め』ることとしています。</p>	2	1
340	<p>学校や家庭をベースとしながら、それ以外の「子どもの居場所」をたくさん作ってほしい。 間口は広く、選択肢は多いほどいいと思う。子ども食堂やプレイパーク、高齢者施設、カフェなど、官民を問わず、さまざまな場所以が子どもの成長を見守り、育む居場所になる。 こうした思いを市民みんなで共有し、「すべて我が子」の気持ちで、地域で子どもを育てる機運を高めていきましょう。</p>	<p>子どもプラン第3次計画では、「地域における子どもの居場所づくり」を新たな施策として盛り込み、推進していくこととしています。 すべての子どもが自然と足を向けることのできる、楽しく魅力ある居場所を、地域の中にできるだけたくさん生み出せるよう、地域の人々の力を借りながら取り組んでいきます。</p>	2	1
341	<p>グリーンパークに木製遊具 フィールドアスレチック 木工工作室がほしい。</p>	<p>現在、グリーンパーク内に遊具エリアを整備中です。木製遊具は耐久性などから設置は困難ですが、体を動かせる遊具等を計画しています。</p>	2	1
342	<p>グリーンパークの裏に、隣接して、ドッグランを設置すると良い。 （犬を飼っている家族連れも多いので、一緒に利用できると親切）</p>	<p>現在市内には八幡西区の洞北緑地内にドッグランを整備しております。管理・運営の関係もあり、グリーンパークに整備する予定はありません。</p>	2	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
343	戸畑には球技のできる公園が少ない。 週末、朝の老人のグランドゴルフのみにしか利用されていない仙水公園をもっと子どもや他の世代にも活用できる様にしてほしい。	仙水公園は今後再整備を予定しています。 その際の参考といたします。	2	1
344	地域の広めの公園の遊具の充実してほしい。地域格差が大きいと思う。	公園の整備につきましては市民の皆様の意見を取り入れながら計画的におこなっています。	2	1
345	気軽に火が扱える、公園が欲しい。オーストラリアのように誰でも使えるバーベキューグリルがあると良い。		2	1
346	公園の遊具が老朽化して改修するのに多額の費用がかかり将来公園から遊具がなくなるのではないかとみられる。公園の遊具を減らさないでほしい。		2	1
347	地域における子どもの居場所づくりにおいて、公園づくりを主な取り組み事業に掲げているが、人が寄りつかない公園が市内に多数点在している。 また、子どもの成長に合わせて、求められる公園の機能というものは変化と思う。単に公園を整備し、数だけの実績をアピールすることのないようにフォローアップを充実してほしい。		2	1
348	町内の公園はすべり台と鉄棒だけあるような小規模なものなので、週末は広くて遊具のたくさんある公園に遊びに行く。隣町に大きめの公園はあるが、大人なら徒歩10分程度の距離でも2歳児を徒歩で連れて行くのは大変なので、いつも駐車場併設の遠くの公園に行っている。駐車場併設の公園を増やしてほしい。 また、トイレも近くのコンビニ等を探して借りることになるので、公園内にほしい。		2	1
349	公園が少ない。	北九州市には、大小合わせて数多くの公園があります。公園の種類も様々です。北九州市のホームページでは、「北九州市公園の本」を掲載していますので、ご覧ください。	2	1
350	砂場を増やしてほしい。	砂場遊びは子どもの想像力を育むことのできる公園の遊具の一つであることは認識しています。 しかし衛生上の問題もあり、砂場の設置が減っていることは事実です。 公園は地域の方の協力のもと維持管理を行っており、砂場を衛生面で安全に維持管理できるかどうかという課題があります。 これからも地域の方々の意見もききながら、多くの方に愛着をもってもらえる公園づくりを進めていきたいと考えています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
351	子どもの体力づくりのため、小さい子が思い切り遊べる公園づくりをしてほしい。砂場等、猫のフンが多くて遊べない。	砂場を含め、公園内の清掃など維持管理は、市民の皆様と市が協力しあって行っています。 また、北九州市には、大小合わせて数多くの公園があります。公園の種類も様々です。北九州市のホームページでは、「北九州市公園の本」を掲載していますので、ご覧ください。	2	1
352	公園があっても雑草が生い茂っていて遊べないことがある。市での管理が行き届くと嬉しい。	公園内の清掃など維持管理は、市民の皆様と市が協力しあって行っています。	2	1
353	ユースステーションから離れている地域の中高生の居場所として児童館の活用を考えてもよいのではないかと思うが、今回の計画のなかで児童館はどのような位置付けになっているのか。	児童館は、18才未満のすべての子どもを対象とする施設であり、中高生も利用できますが、現在のところ、ユースステーションのような中高生の利用に特化した施策は行っておりません。 今回の計画において、児童館は子どもの遊び環境として更なる充実を図ることとしており、この中で、児童館における中高生の居場所機能についても検討します。	2	1
354	学校区に1館の市民センターをもっと活用してほしい。子どもから、子育て中の親、そして高齢者までもっと自由にセンターに気軽に足を運び、交流できる仕組み（月2回くらいは全館開放等）をつくり、クラブ活動中心の活用から、拡大活用を地域で考えてほしい。子ども食堂を含む内容で地域みんなの居場所へと望みたい。 地域の民生委員、子育てサポーター、保護司、子育て支援団体、学校、行政がともに知恵を出し合い協力すれば、不可能なことではないと考える。「北九州市の子どもの明るい未来」を真剣に願う大人たちの分厚いネットワークで実現を目指してほしい。	現在市内に136館ある市民センター、サブセンターは、ふれあいのある心豊かな地域社会づくりを促進するために、地域における住民の交流及び自主的活動の拠点施設として設置されています。 市民センターでは、「まちづくり協議会」などの地域の方や「子育てサポーター」やボランティアの協力により、育児サークルや子ども食堂など、様々な子育て支援の活動が実施されています。 今後も幅広い年代の方にご利用いただくため、市民センターでの活動をPRしていくとともに、地域団体や関係部局との連携により、誰もが気軽に利用できる市民センターとなるように取り組んでいきます。 また、子育て支援の様々な取り組みを分かり易く整理して情報提供することができるよう、効果的な方法を今後検討していきます。	2	1
355	子育て応援を掲げながら、各区の”子どもと母の図書館”を閉館したのはなぜか。歩いて行ける所に温かい居場所が必要なのではないか。	平成28年2月に策定した「北九州市公共施設マネジメント実行計画」の中で、図書館の分館については、「大規模区役所出張所周辺の分館は存続させ、それ以外の分館は地区図書館等の整備状況や人口動態、利用実態等の推移をみながら縮減する」という考え方を示しています。 北九州市全体の図書館の地域バランスを考えて取り組んでいるものであり、ご理解をいただきたいと思えます。	2	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
356	塩屋のピオトープの横に、ビジターセンターを作って(建都)、グリーンパークから、魚鳥池、江川、ひびきのキャンパス、本城公園、などをめぐる散策ルートを作って欲しい。	<p>「ひびきの北公園」の自然ゾーンは、ひびきの地区に存在する動植物を管理していません。今後も管理活動を行うため、プレイパークやビジターセンター等の設置は考えておりません。</p> <p>若松区役所では、若松区と八幡西区を楽しくウォーキングしてもらおうと、「若松ガイドマップ」というリーフレットを作って、散策できる道を紹介しています。</p> <p>ご提案いただいたような散策路については、地元の方しか知らない名所を含め、いろいろ楽しいものを見つけながら開拓するのも楽しいのではないかと考えます。ぜひ、みなさんで、お気に入りの散策路を開拓してみたいかがでしょうか。</p>	2	3
357	<p>ピオトープについて、自然が多くあるのはいいが、蛇やスズメバチ、蚊の大量発生等マイナス面も多い。台風の後と等はひどい状態で通れなくなる。定期的に見回り、整備してもらいたい。</p> <p>平成中村座とラグビーのウェールズチームを呼んだのはよかったと思う。せっかく大金をかけて作ったミクニワールドスタジアムを、もう少し使いやすく市民に開放するとか、イベントに使うとかしてほしい。</p> <p>コレットについても、北九州の玄関口なのだから、あんなに新幹線から近い建物はないのだから、若者向けのイベントを企画して呼び込むことはできないかと思う。(改装して2・5次元ミュージカルなど)</p> <p>若者がずっとここにいたい、と思ってくれるような街づくりに力を入れてほしい。</p>	<p>「響灘ピオトープ」は、廃棄物処分場跡地に長い年月をかけて形成された日本最大級のピオトープです。</p> <p>湿地や草地、そこに生息する生き物を活用した自然環境学習の場として、衛生害虫や生態系保全に影響を与える害獣の駆除、安定した園路の確保など、より一層の維持管理に努めます。</p> <p>「ミクニワールドスタジアム北九州」では、ギラヴァンツ北九州やラグビートップリーグの試合などを中心にご利用いただいています。</p> <p>その中で、今年7月にはフィールドを無料開放し、親子連れの方など一般利用者に芝生での遊び体験をしていただきました。</p> <p>また、「わっしょい百万大花火」や「阿蘇ロックフェスティバル in 2019北九州」などのイベントも実施しました。今後もスポーツだけでなく様々な形で活用できるよう取り組みます。</p> <p>若者向けのイベントとして、市と民間が連携して「TGC北九州」や「KPF（北九州ポップカルチャーフェスティバル）」を開催しているほか、民間主催の興行としてアイドルイベントや「2・5次元ミュージカル」が市内で開催される例も増えています。</p> <p>コレットの改装について市はお答えする立場にありませんが、こうしたイベントが市内で開催されるよう、今後とも民間と協力して誘致に取り組んでいきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
358	塩屋ピオトープの一部を、常設の乳幼児向けのプレイパークゾーンとして解放して欲しい。ひびきのの未開発の山の土手あたりに、大きな子ども向けのプレイパークを設置し、キャンプやバーベキューができるようにする。塩屋ピオトープ脇に、ビジターセンターを設置する。	「ひびきの北公園」の自然ゾーンは、ひびきの地区に存在する動植物を管理しています。今後も管理活動を行うため、プレイパークやビジターセンター等の設置は考えておりません。	2	3
359	日本でも類をみないお泊り保育の施設、「もりのいえ」「おひさまのいえ」がもっと利用しやすくなればいいと思う。双方、公共交通機関ではいけないので、保育園バスをチャーターしないと行けず、かなりの出費になる。子どもにいろいろな経験をさせる良い機会なので、公共交通機関を整えてほしい。	「もりのいえ」「おひさまのいえ」（緑地保育センター）は豊かな自然環境の中で遊びを中心とした保育を行い、子どもたちの心身の健全な発達を図ることを目的とした施設です。そのため、公共交通機関で訪問することが困難な場所に位置していることをご理解ください。	2	3
360	期限切れ直前で、まだ十分に食べられるのに、廃棄されてしまう食品の上手な活用ルートを整えてほしい。	現在、福岡県並びにNPO法人フードバンク北九州ライフアゲインによって、食品ロスの関係で有効活用について様々な取組みを行っています。その一環で子ども食堂においてもこれらの食品をご提供いただいています。その他のルートについても、児童福祉施設や母子生活視線施設をはじめ、様々な取組みで有効活用されていると聞いております。	2	4
361	「子ども食堂＝貧困」というイメージがあるようにも感じる。子どもだけでなく、少し疲れたお母さんや、その他の大人も、利用でき、元気になれるような場の雰囲気と、ネーミングの工夫をしてほしい。	全国的に同様の課題があり、あえて子ども食堂という名で活動を行わないところもあります。各子ども食堂の名前は、各運営団体が命名しているため行政が指導することはできませんが、子ども食堂ネットワーク北九州の名称は、今後、検討してまいります。	2	4
362	子ども食堂の実施回数は月1回、月2回にとどまっているのが現状で、おなかを減らしている子どもには満足な支援になっていない。 現在、北九州市で数か所のコンビニで子ども食堂を自発的に実施している現場を見学した。 事前に参加の予約を受け、コンビニ体験（あいさつ・おじぎ・レジ打ち・商品紹介）などの指導を受け、実際に制服を身に着け接客体験をした後、コンビニ内のおにぎりとおかずを選び、参加者と一緒に交流しながら会食をおこなう。 コンビニは地域に多く点在し、知名度も高く利用しやすいので、協力していただければ、現在より幅広い、子ども食堂の支援になると考える。	民間団体を主体とした子ども食堂は、貧困対策ではなく地域共生型の多世代交流を主な目的として実施されています。また、ボランティアで運営されているため、無理のない頻度と予算で実施されており、各子ども食堂で実施内容を決めています。 イートインができる店舗で子ども食堂を実施しているコンビニエンスストアがあることは存じ上げております。コンビニエンスストア各社では全国的にということではありませんが、居場所づくりだけでなく、運営資金の寄付や機関誌による普及啓発など様々な形で子ども食堂の支援につながる活動をしていただいております。 市としては、多くの子どもや地域の方が安心して過ごせる居場所が、持続可能な取組みとして普及していくようきめ細かくサポートしていきたいと考えております。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策6 こころの教育、体験・学習機会の充実（15件）				
363	様々な障害特性について学べる機会をつくり、幼いころからお互いの存在を認め“個性”を理解し合える環境づくりをし、共に育ち生活できるまちづくりをすべきである。（例）地域での“3歳おめでとう”の会	出前講演等を行うなど、市民の一人一人が障害や障害のある人への理解を深めることができるよう啓発活動に取り組みます。	2	1
364	学校の中に夢を育み、科学や技術への興味・関心を高める環境がなければ多くの子どもの届かない。 ・図書館の常時開館 ・中学校“モノづくり研究部”、“科学部” ・小学校“天文クラブ”等	学校図書館の常時開館については、全小・中学校において実現しています。 今後、学校図書館の蔵書の充実や、市内の施設と連携した体験学習の推進等による環境づくりを進めていきたいと考えています。	2	1
365	グリーンパークの裏に隣接して、宿泊できるオートキャンプサイトを整備して欲しい。	オートキャンプ場ではありませんが、グリーンパークの隣の玄海青年の家にもキャンプ場がありますのでご利用ください。	2	3
366	体験活動、特に自然に触れあって自分で行動を決定したり、危険を判断したり、植物・動物の命の大事さを知ることが出来るような機会があるといいと思う。 親や、家族、子どもの支援者たちの中にも、その経験がない方もいる。子どもを支える側にも、その大切さと楽しさを知ってもらえる機会があるといい。	できるだけ多くの子どもたちへ体験活動の場を知っていただくため、市内の小学生へ夏と冬に体験情報冊子「キッズチャレンジ」を配布しています。 その他、NPO法人と協働で外遊び（プレイパーク）を定期開催し、子どもはもちろん保護者にも外遊びの大切さを知っていただく事業を実施しています。	2	1
367	愛知県児童総合センターのような、周辺にすぐ野外活動が可能な子どものセンターが欲しい。	愛知県児童総合センターや諫早こどもの城は、屋内外でいろんな遊びが体験できる総合施設ですが、北九州市には、こうした大規模な屋内施設と野外施設が一体化した施設がありません。新たな施設を検討する際は、こうした他都市の取り組みも参考にしていきたいと考えています。	2	1
368	諫早こどものしろのような、自然体験指導、森のようちえん活動などの可能な子どもの遊び場が欲しい。	現在は、既存の施設（5ヶ所の青少年の家、6ヶ所の青少年キャンプ場）などをご活用いただければと考えています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
369	<p>身近な自然の中で仲間と遊ぶことは、子どもの心身の発達を支え、「ふるさと」の根っこを持つものは、あるものはやがて戻り、あるものは離れてもなお、育った地域への愛着を持ち続ける。10歳前後までのこどもの遊び体験は、地域への愛着を強くし、シビックプライドの根幹をなすものとなる。</p> <p>子ども達の異年齢集団での自然のなかでの遊びや体験は、自然なチームビルディング活動を通じたコミュニケーション能力の向上や、様々な意味での危機管理能力の向上、身体能力の向上、自然科学的学習、理科学的な視点から環境教育へとつながっていく。</p> <p>これは持続可能な人材育成の社会基盤であり、安心して子育てできる地域は、すべての世代やすべての人が安心して暮らせる地域となっていくはずだ。</p> <p>親や地域は、地域での子育てを通じて、子どもの人権を学び直す機会となる。</p> <p>自然の中での活動の手法、実践法の開拓は、保育や教育、看護、理科系指導、野外活動指導、など、さまざまな専門性を持って、プログラム開発を行っていくことが必要である。現場の知見、事例の共有、ネットワーク化による多方面間からの関わり合いから、具体的な活動が生まれてくることが望ましい。</p>	<p>自然の中で仲間と遊ぶことは、子どもの健全育成にとって重要なことだと思っています。</p> <p>北九州市では、様々な現場経験のあるNPO法人と協働で外遊びの普及を行っています。</p> <p>今後も自然体験や社会体験など体験活動に関する情報を集約・発信し、青年リーダーの養成などを通じて、活動が途切れることのないように、青少年の健全育成に努めていきます。</p>	2	1
370	<p>学童～青少年期においては、インターネットが身近になったことで、自ら欲する情報のみに知識が偏る傾向にあるように思う。1～2か月に1回程度、様々な分野の講師を学校に招いて魅力を伝え、子どもたちに普段の生活では得られない刺激を与えることで多様な人材の育成、学習意欲の向上に寄与すると考える。</p>	<p>体験活動や文化に触れる機会など、地域人材の活用も含め、各学校が必要に応じて講師を招いたり、校外に出向いたり各学校で工夫しているところです。</p> <p>学校だけでなく、地域と共にどのような人材育成をしていく必要があるのかを考えながら、今後ともより有効な機会となるよう実施していきたいと考えています。</p>	2	1
371	<p>子どもの身体について。スポーツを早くからさせるため、「子どもを教える専門家」でない指導者の指導で、子どもの身体をいためていないかの調査をしてほしい。スポーツ少年団の指導者は、「子どもの身体」のことを知っている専門家でなければと感じる。</p>	<p>スポーツ少年団では、スポーツ指導者に必要な医学的知識、ジュニア期のスポーツ等の科目からなる「スポーツ少年団認定員養成講習会」（主催：（公財）日本スポーツ協会）を受講し、検定試験に合格した「スポーツ少年団認定員」を中心に指導することになっています。</p> <p>こうしたこともあり、ご提案いただいた調査をする予定はございません。</p>	2	3

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
372	アートのワークショップを常時行えるような、街中や郊外の子供アトリエが欲しい。	北九州市では、美術館等を中心に、子どもをはじめとする市民を対象としたワークショップを実施しています。 今後も引き続き、美術やアーティストと親しむことのできる機会を提供しながら、子どもたちの美術への関心や理解を深めていきます。 また、今後、子どもの館や児童館などの魅力向上を考えていくに当たって、今回いただいた意見も参考にしていきます。	2	1
373	新科学館は、整備後も常に最新の物が維持できるよう、毎年度、予算を確保して頂き、定期的なメンテナンスに努めるとともに、最新の機材の入れ替えなど、取り組んでほしい。	新科学館の運営等の検討については、現在、産学官で構成する「新科学館 展示・運営検討会」において、幅広く意見を聴取しているところです。 頂いたご意見も参考とし、今後とも検討を進めます。	2	1
374	子どもも大人も、ワクワクするような「遊び心あふれる科学館」をつくってほしい。名前（愛称）も遊び心を期待している。	新科学館については、子どもを中心とする全世代を対象にしており、誰もが科学に興味をもつきっかけづくりができるような施設となるよう検討を進めています。 愛称については、市内外へのインパクト等に留意しながら、多くの市民が愛着を持てるようなものとしします。	2	1
375	新しい科学館ができればぜひ訪ねてみたい。親子で楽しみにしている。	新科学館については、子どもを中心とする全世代を対象者にしており、誰もが誰もが科学に興味をもつきっかけづくりができるような施設となるよう検討を進めます。	1	1
376	現在、新しい科学館の検討が行われていると思うが、色々な方の意見を参考に素晴らしいものにしてもらいたい。 色々な科学館を見てきたが、どれも男子目線の展示が多いように感じた。理系女子の時代でもあるので、女の子目線の展示もぜひ検討してほしい。	新科学館の展示内容等の検討にあたっては、産学官で構成する「新科学館 展示・運営検討会」を設置し、企業や大学、小中高校をはじめ、物理学や観光分野の専門家など、幅広い分野の方々からご意見を頂いております。 新科学館では、性別にかかわらず誰もが楽しく科学を学ぶことができるような施設となるよう検討を進めます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策7 青少年の非行防止や自立・立ち直りの支援（9件）				
377	いじめは、いじめている側にも自分でどうすることもできない何かがあるのかもしれない。心に寄り添った対応をお願いしたい。	いじめが起きた場合、学校はもちろん、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー等関係機関と連携しながら心に寄り添った対応を行います。	2	1
378	先生方が現場で頑張っているが、先生方だけでは対応できない問題がたくさんあると思う。毎日ニュースで見ない日はない虐待やいじめ、不登校などがそれにあたると思う。 他市でも対応が遅く、最悪のケースになったニュースもよく耳にする。市として、スクールソーシャルワーカーが早くに対応出来ているのか、先生方に任せきりにしていないか、今一度見直していただきたい。	ご意見の通り、現場の教職員だけでは対応が難しい問題もたくさんございます。 学校長のリーダーシップの下、スクールソーシャルワーカーやスクールカウンセラー等の専門家や関係機関との連携を図り、児童生徒が抱える問題に対して、きめ細かな対応を行います。	2	1
379	フリースクールなど、学校以外の居場所・学び場所について北九州市の不登校対策としては、少年支援室があるが、ここでは学校に戻ることを前提に指導されている。 しかし、現状の学校のシステムに合わない子は、身近にたくさんおり、なんとか学校のシステムに合わせようと努力し、学校側も子どもに寄り添おうと対応してもらったが結果的には「学校という場所そのものが合わない」ということが分かった。 そういった「学校にフィットしない子ども」の居場所が必要だが、フリースクールなどに通わせたくても経済面、居住地、子どもの特性などで難しく、結果的にひきこもっている子どもの話を、市内に何人も聞いた。そこで、「学校ではない居場所、学び場」に、そういった子どもたちが通えるよう、制度を整えていただきたい。 具体的には・フリースクールの情報についての一覧表を作成し、市のホームページなど見やすい場所にまとめる。（区役所の窓口で、どこにフリースクールがあるか聞いたことがあるが、「そういった情報はない」と言われた。個人で走り回って調べた。）	平成29年2月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」が文科省より施行されました。 その13条では「不登校児童生徒が学校以外の場において行う多様で適切な学習活動の重要性に鑑み、個々の不登校児童生徒の休養の必要性を踏まえ、当該不登校児童生徒の状況に応じた学習活動が行われることとなるよう、当該不登校児童生徒及びその保護者に対する必要な情報の提供、助言その他の支援を行うために必要な措置を講ずるものとする。」とされています。 今後は、北九州市でも、不登校児童生徒への支援は「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、本人の希望を尊重した上で、適応指導教室やフリースクール、ICTを活用した学習支援、民間施設やNPO等と積極的に連携し、不登校児童生徒が、主体的に社会自室や学校復帰に向かうよう適切な支援や働きかけを行っていきます。	2	1
380	指定された学校へ行くか行かないかは、子供自身に選択権があり、指定された学校以外、支援室以外での教育を受ける権利を確実に保障すべきである。 （義務教育を学校に登校すること以外の方法で修了できるようにすべき）	平成29年2月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」が施行されたことにより、北九州市においても学校以外の場（適応指導教室やフリースクール、民間施設等）と連携し、教育の機会確保について調査研究しているところです。	2	1
381	不登校の子・親が相談に行き（出向き）不登校状態を脱することばかりに労力を使わずに、ICTを活用するなどして、在宅で義務教育、自分に合った学びを積極的に行い、多様なかたちで社会参加する未来をつくれるよう応援すべきである。	平成29年2月に「義務教育の段階における普通教育に相当する教育の機会確保等に関する法律」が文科省より施行されました。 北九州市においても小・中段階の不登校児童生徒が、自宅等において遠隔教育を含めたICT等を活用した学習活動についても、調査研究しているところです。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
382	いじめや長期欠席へのきめ細やかな対応について 学校の先生ではない専門的なスタッフであるスクールカウンセラーの方へ話すことにより、的確できめ細やかな対応をしてもらえることはいじめを受けている子どもにとって何より安心して学校生活を送れることになると思う。	児童生徒が安心して学校生活を送ることができるよう、スクールカウンセラーによる小学校5年生全員面接や、小学校6年生・中学校2年生へのメンタルヘルス教育（自殺予防教育）を通して、身近な大人に相談できる体制を整えるとともに、SOSを発信できる環境づくりを推進します。	2	1
383	スクールカウンセラーや、相談の場（子どもも大人（親）も）を増やすと学校のことや育児の悩みを持つ人々を助けられるのではないかと。	北九州市では、拠点校方式としてスクールカウンセラーを全中学校へ配置しており、中学校から校区の小学校へ派遣して児童生徒、保護者の相談対応をしております。	2	1
384	いじめから不登校となり、学校へ行きづらくなった子どもたちが、再び登校し、充実した学校生活を送れるように保護者を含めサポートしていくことは大変なことだが大事だと思う。	いじめから不登校になった子どもが、再び安心して学校に登校し、充実した学校生活を送れるよう、学校と保護者が情報を共有し、継続した支援体制作りを進めます。	2	1
385	ひきこもり経験者（当事者）の“日中ひきこまれる家”の開所・運営をサポートし、その際、空き家を有効活用。次のステップとして放課後等デイサービスなどにも関わられる気力・体力づくりを応援する。	様々な資源を有効に活用できるよう、関係機関と連携を図って検討していきます。	2	1
施策8 社会的養護が必要な子どもへの支援（1件）				
386	児童養護施設での不祥事が続いている。心や身体に傷を負った子どもたちを守る最後の砦であり、子どもたちの指導にあたる職員には高度な専門性や優れた人格をもった人であってほしい。職員に対する研修やきちんとした職員の採用、市の監査体制の強化を図ってほしい。	今回の不祥事を受け、市内のすべての児童養護施設に対して、不適切な児童処遇はないか、法令を遵守した施設運営をしているかなど、指導や監査を強化しております。 また、施設職員の専門性や倫理意識の向上に向けての特別研修を今年度に追加で2回、来年度も複数回実施することとしております。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策9 児童虐待への対応（北九州市子どもを虐待から守る条例の推進）（8件）				
387	虐待により幼い子どもが亡くなる事案が多発しており、悲しいニュースが流れるたびに、こうなる前にどうにかできなかったと思う。未然防止のためにも、幼稚園、保育所、小学校等と児童相談所や近隣の住民、民生委員の連携が重要。子どもたちが、心身共に健康で成長できるよう、周囲にいる大人達が協力して子どもたちの成長を共に見守ることが大切ではないか。	児童虐待の防止には、学校、保育所、幼稚園などの関係機関をはじめ、社会全体で取り組む必要があります。本市では今年4月1日に「子どもを虐待から守る条例」を施行し、市民が一丸となって虐待のないまちづくりを推進することを決めました。今後とも、行政をはじめ、市民の皆さんとともに児童虐待防止に鋭意取り組みます。	2	1
388	児童虐待を未然に防止するため、市民の誰もが気軽に通報や情報提供ができる仕組みを構築し、市民啓発に取り組んでほしい。	通報や情報提供できる仕組みとしては、24時間365日子ども総合センターにつながる全国共通ダイヤル「189」や、区役所には気軽に相談できる子ども・家庭相談コーナーがあり、広く市民に周知するよう取り組んでいます。 また、今年4月1日から北九州市子どもを虐待から守る条例が施行され、条例の中で、未然防止や市民の責務として通告することを定めています。 今後とも条例の周知も含め市民啓発に努めます。	2	1
389	虐待について コンビニエンスストアに情報提供・協力を呼びかけをしたり、「どんなとき」「どこに」「どのように」通報すればいいのか市民への周知を大々的に行ってほしい。	北九州市では今年4月1日から北九州市子どもを虐待から守る条例が施行されました。条例の中で、市民やコンビニエンスストアなどの事業者の責務として、虐待を受けたと思われる子どもを発見した場合は通告しなければならないことを定めております。 通告先の周知については、市政だよりやポスター、パンフレットの配布により広報しています。今後とも市民や事業者に対して継続的に周知を図ります。	2	1
390	地域のみんなで子育て対策をすることにより幼児虐待対策となるため、横縦のコミュニケーションの場を提供してはどうか。	児童虐待の防止には、学校、保育所、幼稚園などの関係機関をはじめ、地域住民など社会全体で取り組む必要があります。 北九州市では、市民センターなど地域で子育て支援を行っています。また、今年4月1日に「子どもを虐待から守る条例」を施行し、市民が一丸となって虐待のないまちづくりを推進することを決めました。 今後とも行政をはじめ、市民の皆さんとともに児童虐待防止に鋭意取り組みます。	2	1
391	通報の有無に関係なく、定期的に子育て中の家庭への家庭訪問などもあってよいのでは。	児童福祉法に基づき、生後4か月までの家庭に対し全戸訪問を行っています。 その中で、養育支援等が必要な家庭へは継続して訪問しております。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
392	対応できる専門家が少ない（虐待について）。	児童虐待の対応では、専門的な科学的知見に基づき、問題の本質、背景を分析することにより、合理的・客観的見地からそれぞれの子どもにとっての最善の援助方針を検討する必要があります。 北九州市では、虐待対応件数の増加に対応するため、国の配置基準の見直しも踏まえ、児童福祉司及び児童心理司を配置しています。 また、医師や保健師などの専門職や警察OBを配置するとともに、現職警察官である青少年非行対策担当課長を、児童虐待対策担当課長として兼務させるなど子ども総合センターの体制を強化しています。	2	1
393	親の虐待は、本人を責めても、何の解決にもならないと思う。彼ら、彼女らは、子どもを育てることの、本質を習っていない。子どもも、大人も、あなたは唯一無二であるという基本を教わっていない。 解決する方法は、人の力に頼ることだと思う。人には、誰かの力になりたいという本質が絶対にあるはずなので、市民センターや学校、児童館、学童等々、身近に子どもと接している場所が、頼める人材を確保する努力をしたら人は動くのではないか。 子どもは未来の宝であること。親のモノではないことを意識してほしいが、それを教える、学校の先生・職員などの教育が足りていないと感じている。もっとプロ意識を持ってほしい。採用試験は面接と体力だけにすべきである。	児童福祉法は、児童を心身ともに健やかに育成することについて、保護者に第一義的責任があるとし、国及び地方公共団体は保護者とともにその責任を負うと規定しています。 北九州市は、生後4カ月までの乳児家庭全戸訪問や乳幼児健康診査などの事業を活用し、育児不安や母親の心身の不調が考えられる家庭については、保健師等が電話連絡や訪問を行い、必要に応じて関係機関の支援につなぐなど、虐待の未然防止に取り組んでいます。 また、子どもたちと直接接する機会が多い保育所や幼稚園、小中学校の職員を対象にした研修などを通じて、虐待の早期発見・早期対応に努めています。 ご意見でございます「子どもは未来の宝であること」に間違いありません。 北九州市におきましては、「北九州市子どもの未来をひらく教育プラン」や「北九州市教育大綱」に基づき、将来を担う子どもたちの育成のために様々な施策に取り組み、多くの成果を上げています。 また、教職員については、「北九州市教育委員会 人材育成基本方針」に基づき、キャリアステージに応じた研修制度において、教職員の資質及びプロ意識等の向上に努めているところです。 それに伴い、教員採用候補者選考試験におきましては、教職教養・専門教養の筆記試験や適性検査・実技試験・模擬授業・面接等、様々な視点から必要な選考資料を得た上で、公正に選考を行っております。 引き続き、優秀な教職員の人材確保、そして育成に取り組みますので、ご理解とご協力をお願いいたします。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
394	個人情報保護が先に立ち、保育園が必要な情報が得られにくく、対応が遅れることがある。虐待について、社会資源が連携しやすいネットワークを作れないものか。	児童虐待の対応を迅速に行うためには、保育所や学校などの関係機関と児童相談所や区役所子ども・家庭相談コーナーが連携して取り組む必要があります。 そのためのネットワークとして、「要保護児童対策地域協議会」を設置して、各機関が情報を共有するとともにそれ以外に情報を漏らしてはならない（守秘義務）ことが定められています。	2	1
施策10 障害のある子どもや発達の子どもの気になる子どもへの支援（7件）				
395	障害について対応できる専門家が少ない。	障害のある子どもへの支援については、「総合療育センター」、「発達障害者支援センター」など、専門機関の整備を進め、支援体制の充実を図っています。	2	1
396	発達障害は 3歳児健診のあとに兆候が明確になることも多いが、その時期に発見するのは 園や保育園の先生方になると思う。親としては園や保育園の先生方に指摘されるより療育センターの職員などから指摘された方がショックも少なく、その後の療育もスムーズだと思う。 年少～年中期の、各施設への、療育センタースタッフの派遣と全園児の発達確認を希望する。	「北九州市立総合療育センター」では、地域支援事業の一環として、幼稚園・保育所・学校等の職員に対して、講義や事例検討等により障害児者の療育に関する専門的技術支援を行っております。 また、「特別支援教育相談センター」では、幼稚園・保育所（園）を訪問し、集団の中での行動観察を行い、教職員や保育士に対して、就学を見通した適切な関わり方や支援の方法等について具体的な提案を行い、必要に応じて専門家チーム（臨床心理士や言語聴覚士等）を派遣する早期巡回相談を実施しております。 この他にも、様々な関係機関において発達障害の早期発見・早期支援のための事業を推進しています。 これらの取り組みに加えて、北九州市では、令和元年度から『発達障害児早期支援システム研究事業』を立ち上げ、発達障害の早期発見の方法及び発見後の各関係機関への繋ぎ方を研究しているところです。 ご指摘にあるような、全園児の発達確認等も視野に入れながら事業を進めています。 今後も、医療、福祉、教育等の様々な視点から協議を重ね、よりよいシステムの構築に向けて研究を進めます。	3	1
397	小学校で行われていた「通級」が民間に委託されると聞いた。障害を持った子ども又はグレーゾーンの子どものを、一般の子どもと隔離することで、社会性が育たないのではと心配である。	現時点で、市立小学校で行われている「通級」を民間に委託する予定はありません。 また、北九州市では障害のある児童生徒が通常の学級に在籍しながら、在籍校において特別な指導を受けられる特別支援教室の導入を進めるなど、通常の学級で学習する機会をできる限り確保しています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
398	<p>個人情報保護が先に立ち、保育園が必要な情報が得られにくく、対応が遅れることがある。</p> <p>障害について、社会資源が連携しやすいネットワークを作れないものか。</p>	<p>障害のある子どもの支援にあたっては、障害の種別・程度等に応じた細やかな対応を行うことが必要です。</p> <p>引き続き障害のある子どもが地域社会の中で健やかに成長できるよう、保健・医療・福祉・教育などの関係機関と連携しながら支援に取り組みます。</p>	2	1
399	<p>経済産業省がまとめている「未来の教室」のような学びの場、もしくは、そういった学びをするための相談先を作ってほしい。</p> <p>私の子どもは、WISC(分野別の能力の凹凸がわかるテスト)で、IQが上は130、下は70で、書字障害もある。こういった理由からも、年齢に沿った学びを求められる環境では、適応が困難だ。</p> <p>フリースクールに通わせているが、経済的負担が大きい。様々な特性により、一条校に通うことが困難な子どもにも、経済的に断念する（もしくは無理をする）ことなく、学ぶ権利を与えてほしい。そのために、費用の捻出もしくは補助をお願いしたい。</p> <p>多様な学びを尊重してもらえよう、サポートしてほしい。</p>	<p>学びの自立化、個別適性化については、インクルーシブ教育の理念の下、連続性のある「多様な学びの場」を充実していく上で、たいへん重要な視点だと考えています。</p> <p>北九州市では、特別支援教育相談センターにおいて、教育相談など保護者が専門家等に子どもの発達について相談できる場を設けています。</p> <p>特別支援教育は、特別支援学校、特別支援学級だけでなく、通常の学級においても重要と考えており、北九州市では、自閉症・情緒障害、発達障害などの障害のある児童生徒が通常の学級に在籍しながら、在籍校において特別な指導を受けられる特別支援教室の導入を進めているところです。</p> <p>また、特定の個人への対応ではありませんが、通常学級において特別な支援を要する児童生徒に対して特別支援教育学習支援員を配置するなど、安心して学習できる環境づくりに努めています。</p> <p>経済的補助については、保護者の経済的負担を軽減するため、小中学校へ就学する場合は就学援助費を、また、小中学校の特別支援学級へ就学する場合は特別支援教育就学奨励費を支給する制度がありますが、いずれもフリースクールは支給対象となっていません。</p> <p>貴重なご意見として承ります。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
400	支援学級の先生の育成 支援学級があっても、先生方の支援スキルの差の開きが大きいです。知人の子どもは、先生の不適切な対応で子どもが傷つき不登校になったり、心身を壊しながらも通常クラスに移動せざる得なくなった子もいる。早急に先生方のスキルの育成、支援スキルのある先生の人数の確保が実現してほしい。	教員の大量退職、大量採用の影響などから、特別支援学級の担任も通常の学級の担任と同様に経験の少ない教員が増えています。そこで、臨床心理士などの専門家を派遣して特性や対応について、教員に直接助言・指導を行ったり、本年度から近隣の5～6校での協力体制を充実し、教員がグループで授業や子どもの支援方法の共有や検討ができるように年間を通じたグループ研修を取り入れるなど、指導・支援のスキルアップを図っています。 また、北九州市では、教員が大量に退職する中、特別支援学校免許を有した教員の採用を増やすとともに、実践的なOJTの実施等により、専門性を持った教員を意図的・計画的な人材育成を行っています。 今後も引き続き、専門性を持った教員の確保及び育成に努めます。	2	1
401	特別支援学級の新設について 今年度から、校区に希望人数が3人いないと開設されなくなった。せめて、新設の場合の人数カウントは、校区内ではなく越境で通える範囲以内に広げてカウントしてほしい。	北九州市における特別支援学級の新設については、市全体の視野に立って、検討を行っております。 特別支援学級の新設については、ニーズが高いことも承知していますので、今後も引き続き、優れた資質を持つ教員の確保や人材育成に努めることによって、このニーズにできる限り応えられるよう努力します。	2	1
施策11 ひとり親家庭等への支援（2件）				
402	ひとり親が一人で安心して子供を産み育てられる街にしてほしい 養育費の市による代理取り立てや、学費の無償化、シェアハウスの充実などで若い親が自立して子育てに取り組めるような環境の整備を行う。例えば職場内保育所、や学童保育を、まずは、公立大学内に設置する（例：北海道大学など）。	ひとり親家庭の生活状況は、定期的を実施している市の実態調査によると、平均年収、就職状況、就労形態等について改善傾向にあるものの、平均的な家庭と比べると依然として経済的に厳しい状況にあります。 ご提案の施策や他都市の取組み等も参考にしながら、今後も、ひとり親家庭が自立し安心して子どもを育てられるまちづくりに努めます。	2	1
403	経済的に困難な環境に生まれ育った子どもでも、将来自立した生活が営めるよう、教育の機会に差がないような支援を望む。	北九州市立の小中学校に就学する際は、経済的理由により子どもの学習が妨げられることのないよう、給食費や学用品費等を支給する就学援助制度があります。 さらに高校、大学への進学を希望する場合は、私立や国公立を問わず、無利子の北九州市奨学資金貸付制度があり、教育の機会均等に資する取り組みを行っています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策12 子育てを応援する体制づくり（44件）				
404	赤ちゃんのおむつ変えできる場所や授乳しやすい環境を整えてほしい。	赤ちゃんの駅は、現在、市内に447か所ありますが、新たな協力店舗の開拓も続けています。これからも環境整備に取り組んでいきます。	2	1
405	学校評議委員会について 地域差があると思うが、学校評議委員会が学校側からの一方的な報告だけの場合が多く、地域や保護者の意見や問合せに対応してもらえていない。 地域で見かける子どもたちの心配な行動（深夜徘徊・遅刻しているのに公園で遊んでいる等）を学校と共有できるネットワークの一つになって欲しい。	地域の人々と目標やビジョンを共有し、地域と一体となって子どもたちを育む「地域とともにある学校」への転換を目指し、本年度より保護者代表や地域住民代表の方などを委員として組織する北九州市型学校運営協議会制度を導入し、一部の学校で実施しており、今後広げていくことを検討しています。 このような制度を活用して、地域と学校が情報を共有できるネットワークづくりを目指しています。	2	1
406	子どもが少なくなっているため、定期的に地域単位で触れ合えるイベントを企画してはどうか。運転できない人・車がない人・交通機関使用が不便な人が参加しやすいように、送迎バス等を使えるようにしてほしい。	市民センターをはじめ、各地域においてイベントが行われていますが、少子化が進む中、より広範囲でイベントを行うことも必要になってくると考えられます。 ご意見も参考にしながら、地域活動の支援の効果的な手法について研究します。	2	1
407	子育てサポーターや子育て中のママが地元の商店街の中にママと子どもが（には限らないが）集えるカフェをつくる等のチャレンジを市が助成金や家賃補助をすることにより、応援してはどうか。	商店街の空きスペースを活用して、子育てを応援する空間をつくることは、商店街の活性化につながることも、子育て中の親子のくつろぎの空間を提供することにもつながると考えます。 ご意見も参考にしながら、今後の子育て支援の効果的な手法について研究します。	2	1
408	「みんなでがんばる」というようなお題目では、結局誰も責任を取らないため、小さくても良いので、具体的な目標を掲げて、可能なものから、地区ごとに取り組み、改善を進める。 そのための子供達からの提案をあつめるブーツトラップミーティングを各小学校や中学校、子供会など自由な集まりで実施し共有する。そのためのファシリテーター派遣の仕組みを作り、各地の小さな声をすべて拾って表明していくことを行う。	子どもの意見を聴きながら行う地域の自主的な活動に対し、支援を行ってほしいとの要望だと思います。 地域の子ども・子育て支援の取り組みを検討していく中で、参考とさせていただきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
409	<p>航空会社の座席指定時にわかる「幼児マーク」に賛否両論がというネットニュースを見たことがある。狭い空間で長時間過ごすので、静かに過ごしたいという気持ちはわかるが、昔のように親族が近辺に住む時代ではないし、子連れで新幹線や飛行機で移動することを止めることはナンセンスである。</p> <p>子どもも社会の一員として、親や身近な大人が、乗り物に乗る際のルールについて教えることは必要だが、子どものいる家庭を、家庭の中だけに押し込めないような、寛容な社会になってほしい。</p>	<p>子どもプランでは、「子どもは未来を担う存在であり、わがまち北九州の将来を支える存在となる大切な財産」であるとうたっています。</p> <p>子どもの成長や子育ては他人事ではなく、すべての市民が自らのこととして捉え、協力して子どものために関わるのが大切です。</p> <p>子どもに寛容な社会をつくっていくことは簡単なことではないかもしれませんが、この子どもプランの考えを、北九州全体に浸透していけるよう取り組んでいきます。</p>	1	1
410	<p>今の居住地においてはとても子育てしやすい環境だと思う。市民センター・ふれあいルームの先生方も親切で色々教えていただいて助かっている。</p>	<p>引き続き、親子が気軽に集い交流する場の提供や、地域で活動する育児サークルへの支援などを通じて、地域社会全体で子育てを支える取り組みを進めていきます。</p>	1	1
411	<p>子どもの途切れない支援を確かなものにする。支援に必要な家庭、支援が必要な子どもたちを、保育所や幼稚園から送り出す時に、ケース会議などのみならず、個別の支援員の担当制とし、関わる地域や大人全体で家族ぐるみで広く見守る体制を整える必要がある。</p> <p>支援に手の届かない市民こそ、支援を必要としている。既存の大きな組織（まちづくり協議会、社会福祉協議会や教育委員会など）に丸投げするのではなく、草の根の活動を生み出し支える仕組みを生み出すべきである。</p> <p>既存の組織は、担うべき活動が大量にある。新しい、草の根活動としての現場の活動の活性をあげ、民間も巻き込んだ既存の組織の枠を取り払った活動を模索する。</p> <p>「なんとか教室」を開催しても、本当に必要な家族には届かない。いかにして、生活の現場へ浸透させていくかの工夫が必要である。教室を実施するのであればリーダー研修として割り切って実施し、その後の活動へとつなげていくことが必須である。</p> <p>地道な活動が、子供達つてに広がり、すべての子ども達へと届いていく。危機的状況に陥った際のライフラインとして機能すると思う。</p> <p>ひまわり学習塾については、予算の集中が、支援を膠着状態にしている。</p> <p>地域公民館や自主活動による学習支援活動の支援を行う。多様な場所、多様な学びの機会を補償する必要がある。</p> <p>現在のひまわり学習塾は、学校に行けない子供を巻き込むことができず、子供の事情に合わせた運用ができていない。学校の学習授業の補いだけでは、子供の学ぶ力を下支えすることは難しいため、勉強以外の取り組みも含めた、福岡市のように空き教室活用の放課後教室などを展開する方が自然である。20年以上前から名古屋市や神奈川県での取り組み事例も、地域の子供を地域で見守る出会いの機会としても、小学校の放課後活動が機能している。</p>	<p>ご提案いただいたご意見も参考にしながら、改善の必要なものについて、見直しを検討してまいります。</p> <p>「保幼小連携」については、より効果的な取り組みとなるよう、検討を行ってまいります。このほか、草の根活動の支援策、地域の人材育成の手法、子どもひまわり学習塾の実施方法についても、より実効性のある取り組みとなるよう、検討を行ってまいります。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
412	幼稚園・保育所から小学校に切り替わるときに、共働きの場合、見守る大人がいない空白の時間帯ができることが心配である。社会情勢や働き方の多様化に伴って、とぎれない見守る体制が必要と思う。	幼稚園・保育所から小学校入学に切り替わるタイミングで発生するいわゆる「小1の壁」については、これまで取り組んできた放課後児童クラブの全児童化（利用を希望する児童は誰でも利用できる）、クラブ利用時間の延長等により解消が進んできたと考えています。 子どもプランでは、計画の視点として「子どもの成長と子育てを切れ目なく支える」を掲げています。 これからも、利用者のニーズを的確に把握しながら、切れ目ない支援に取り組んでいきます。	2	1
413	<p>国のガイドラインと同等に、中学校校区に一つ、常設の子育て支援施設を置くこと。 可能な限り、屋外型の活動拠点を人的支援とともに設置すること。 具体的な取り組み事例として、今後日本で一番大きな小学校になる予定の響きの小学校くないに常設型のプレイパークゾーンを設置すること。（塩屋公園の自然保護地域は開放準備か途中で閉鎖されたままである）。</p> <p>乳幼児期の子どもの発達と、身近な養育者との愛着形成は、相補的な関係があり、子育て期の親を身近な地域がしっかりと受け止め、確かに守っていくことは、現状では不備であって、緊急性の高い課題である。</p> <p>そのためには、子育て支援の取り組みこそが、市民の生涯学習のチャンスであることとらえ、アクティブラーニングの現場として「他孫（たまご）そだて」「ともそだち」「多世代群れ遊び」活動に、柔軟できめ細かい、市民の活動として官民共同で取り組むことが必要である。 そうすることで、学校現場の膠着や疲弊を緩和し、「地域」の新しい形での復縁を可能とし、ワークライフバランスや働き方改革、の視点、高齢者の生きがいや健康寿命増進など多面的な効果を包含するものとなる。 当事者を広く巻き込みながら、地域資源を活かした草の根の取り組みの中から、新たな課題と気づきが生じる。 現場で見える事象は、複雑で、難解だが、現場での生の知見を集め、経験や知恵を集め、具体的な活動を行なっていくことで、普段の活動の現場での実践の積み重ねの中から、子供主体、一人の子供を確実に支えていくことが可能になるのだと思う。</p> <p>新しい法令や国の目指していく方向、予算の投下方向などが、現在の北九州では動きが確認できないことや、情報として周知されていないことなどに、とてももどかしさを感じている。</p> <p>北九州市は、政令市で、他の地域と比較して恵まれている部分もあるが、まだまだ子供たちの日常生活には配慮も必要で、できることはたくさんあり、様々な方々の関与が必要である。 各中学校区ごとにある市民センター（様々な福祉活動</p>	<p>北九州市では「子育てふれあい交流プラザ」と「子どもの館」のほか、各区役所（小倉南区は生涯学習センター）や児童館（9館）内に「親子ふれあいルーム」を設置しています。 また、概ね未就学の子どもとその保護者が集い、交流することができるフリースペースを設けている市民センターもあります。 地域における子育て支援活動の活性化については、市民センターや児童館等を拠点に活動する子育てサークルや支援団体に対して補助金を交付する等の取り組みを行っております。 ご意見を参考に、今後も、地域における子育て支援施策の更なる充実に努めます。 愛知県児童総合センターや諫早こどもの城は、屋内外でいろんな遊びが体験できる総合施設ですが、北九州市には、こうした大規模な屋内施設と野外施設が一体化した施設がありません。新たな施設を検討する際は、こうした他都市の取り組みも参考にしていきたいと考えています。 現在は、既存の施設（5ヶ所の青少年の家、6ヶ所の青少年キャンプ場）などをご活用いただければと考えています。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
	<p>の拠点となる施設)に、子育て支援拠点を置き始めたが、現在は、お年寄りのための文化活動の拠点としての色合いが強く、若い人や子供達が、居つくことができるような場所ではない。</p> <p>赤ちゃん対象の各センターでの取り組みも、多くて週一回、二時間の活動しか確保できず、子供達対象の事業は、さらに少ない。</p> <p>いつでも立ちよれる子育て支援施設、というものが、実際不足している。</p> <p>屋外型の活動場所も、圧倒的に不足している。公園があれば良い、のではない。そこに子どもと親、を遊びに繋ぐ、活動場所を保障する「人」が必要である。</p>			
414	<p>他都市では多数あるが、いつでも親子が行ける、子どもの遊び場が戸畑区内に欲しい。(市民センターに常設でもよい)</p>	<p>北九州市では、各区役所内(小倉南区は区役所隣接の生涯学習センター内)や一部の児童館に、概ね3歳未満の子どもとその保護者を対象とする「親子ふれあいルーム」を設置しています。</p> <p>また、親子で安全に過ごせるフリースペースを設置している市民センターもあります。</p>	2	1
415	<p>地域の子育て支援として、「シニア世代による子育て支援」は、子どもや保護者にとって頼りになるだけでなく、シニア世代にとっても介護予防になり、良いと思う。</p>	<p>現在、北九州市では、子育てサポーターなど、多くのシニア世代が子育て支援に関わっています。</p> <p>こうした現状をもっと盛り上げて、「シニアが支える子育てのまち」となるよう取り組みを進めていきたいと考えています。</p>	1	1
416	<p>地域の子育てを支える人材として、青少年期の人たちにも参加してほしい。自分達の将来をイメージすることもできるし、支援される側、特に学童期の子ども達にとっては、大人よりもより感覚の近い人たちの支援が必要な場合もあると思う。</p>	<p>地域の子育てを支える人材として、青少年期の人たちの参加を促すことは、子どもにとって身近な存在との交流が生まれるとともに、青少年にとっても今後の人生を考えるきっかけになるなど、お互いにとって良い影響を生むことにつながるものと考えます。</p> <p>既に、「青少年ボランティアステーション」では、親子ふれあいルームや子どもまつりなどへボランティアを派遣し、活動の場を提供しています。</p> <p>このほか、一部の市民センターでは、その地域の青少年が子育て支援に深く関わる取り組みも行われています。</p> <p>ボランティア派遣の呼びかけ、先進事例の紹介など、各地域の青少年人材の活用を促す効果的な方法を研究していきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
417	子育て支援に係る、人材確保のための中・長期的な改善を求める。	現在、北九州市では、子育て中の親の身近な相談相手や親子同士をつなぐ役割を担う、「子育てサポーター」を養成し親子を地域で見守る環境づくりに取り組んでいます。今後もこの取組みを進めます。	2	1
418	シニア世代による子ども・子育て支援活動の実施方法について 子育て中の保護者の方々は、様々な事に不安を抱えている。特に転勤で北九州に来た方は、周りに子育てについて話を聞ける人（例えば祖父母等）が近くにおらず、知識面でも不安を抱えている。 一方で、祖父母が近くにいる子育て中の保護者からは、祖父母からの「古い知識の押し付け」に不満を感じるという声も聞いている。 シニア世代による子育て支援にあたり、支援者に対して、「傾聴（アクティブ・リスニング）」や「子育て世代の現状」といった『保護者支援で重要な知識・技術の研修を実施を行ったうえで、支援を実施する』を実施してはどうか。	子育て中の親の身近な相談相手や親子同士をつなぐ役割を担う、「子育てサポーター」を養成し親子を地域で見守る環境づくりに取り組んでいます。 「子育てサポーター」の中には、シニア世代の方も多く活動してくれており、「子育てサポーター」として活動するうえでの基礎知識の習得や「子育てサポーター」としてのスキルアップを図る研修も実施しています。 「子育てサポーター」が活動しやすいよう、研修内容を充実したものにしたいと考えています。 このほか、福岡県の事業に「ふくおか子育てマイスター」があります。これは、地域の子育てを応援する高齢者を応援する福岡県独自の制度で、60歳以上の子育て支援活動に関心がある方に対し研修を行い、「マイスター」として認定・登録するものです。 研修会では、子ども・子育ての現状や、支援を行う上での心構え・配慮、求められる役割など、1か月にわたり計7回の講座を受講することとなっています。北九州市でも実施されており、市政だよりや市HP「子育てマップ」で参加を呼び掛けています。	2	1
419	地域の中で子どもたちの姿を見かけず寂しい。何か子育て世帯の手伝いをしたいと考えている方もいる。できることを見える化することで、役に立つことの喜びと健康維持へもつながれば、市民センターの意義が大きくなると思う。	市民センターで実施している「育児サークル」や「フリースペース」において、子育てに関する保護者の悩みや不安の軽減を図るため、子育てサポーターを養成し、活動していただいています。将来、子育てサポーターとして活動していただく人材の確保につなげるため、子育てサポーターの活動をより多くの方に周知して行きたいと思えます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
420	<p>地域差があると思うが、市民センター職員、子を持つ親として地域での子どもたちの活躍の場と、保護者や子どもたちの意見をくみ取る機会の少なさを感じていた。</p> <p>【改善のアイデア】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こどもボランティアマイレージ 市民センターなどで行われる講座や行事に子どもを対象にしたボランティアをつのり、ボランティアとして参加してくれた子どもにポイントを発行する。 ポイントによって健康マイレージのように景品交換があるとやりがいがあると思う。 ・ボランティア参加証明書の発行 入試や就職などでボランティアに参加した証明書が必要な場合があるので、市民センター等でボランティアに参加して証明書を発行できるようになれば、市民センターを利用する機会の少ない10～20代の青少年が市民センターや地域行事にきてくれるきっかけとなり、将来的に地域で活躍してもらえる人材育成につながるのではないかと。 	<p>各市民センターで、それぞれの地域の特色を生かし、家庭・地域・学校が連携して、子どもたちに様々な体験活動や世代間交流の機会を提供しています。</p> <p>例えば、1年を通して、地域のスポーツ推進員や食生活改善推進委員等の方々に講座の企画・運営に参加していただき、ニュースポーツやおてたま大会、恵方巻の作り方講座を開催しています。</p> <p>また、子どもたちのリクエストによるスポーツ大会などを開催し、地域の方々と様々な体験活動や世代間交流を行っています。</p> <p>ご提案いただいた件につきましては、市民センターで実施できるか研究したいと思えます。</p>	2	1
421	<p>自治会の部会に「学校支援部」を作り、きちんと機能する体制を整え、お金を自治体に入れて（現在予算として、学校に“謝金”としてあるもの）、安全・見守り・ブックヘルパー・読み聞かせ等のスクールヘルパー・配慮が必要な子どもがいるクラスにクラスサポーターなど学校の要望に応じて「学校支援部」が地域の人材を配置してはどうか。</p>	<p>現在、北九州市では、学校等において、スクールヘルパーなどの人材を学校につなげる地域コーディネーターを委嘱し学校の支援をお願いしています。</p> <p>一方、文科省では、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働する「地域学校協働活動」を推奨しています。</p> <p>北九州市でもそれを受けて、地域と学校との協働活動の体制構築について研究しているところです。</p> <p>ご意見については、今後の検討の参考とさせていただきます。</p>	2	1
422	<p>「ほっと子育て」とはなにか。「ふれあい事業」、「トワイライトステイ」など、事業の名称から中身が分からない。</p>	<p>「ほっと子育てふれあい事業」とは、子育ての援助（子どもの預かり等）を行いたい方（提供会員）と子育ての援助を受けたい方（依頼会員）による会員組織をつくり、相互援助活動を行うことで、子育てと仕事の両立や、地域における子育て支援環境づくりに資する事業です。</p> <p>利用時間は、月曜から土曜の午前7時から午後7時を基本としており、基本時間から引き続き延長利用も可能です。ただし、宿泊を伴う援助は行っておりません。なお、利用料金は1時間800円（基本時間外は1時間1,000円）です。</p>	3	1
423	<p>ほっと子育てふれあいサービスには大変お世話になっている。支援会員の参画を活性化させ、支援の輪が広がるとよい。地区によっては、会員が少ないので支援が受けられないこともある。</p>	<p>ご意見のとおり、「ほっと子育てふれあい事業」では、子育ての援助を行う会員の増加が課題となっており、現在、援助を行う会員が少ない地域を中心に出張説明会を行う等、会員増加に努めているところです。</p> <p>今後も、更なる会員増加と質の向上に努めます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
424	ほっとふれあいサービス等も利用させてもらい助かった部分もあったが、どうしても料金が高くなったり、登録や面接など利用するまでが面倒だと感じた。病児保育もいざという時には使えないこともあった。	本事業において最も重要なのは、子どもを安全に預かることです。そのためには、会員同士の信頼関係の構築や援助活動を行う上で約束事の確認が重要であり、面接や援助活動に係る事前打合せ等の手続きは欠かすことができません。 また、病児の預かりに関しては、援助活動を行う上で高い専門性が求められることから、軽度の風邪等の対応のみとしております。 ご理解いただきますようお願いいたします。 ご意見を参考に「ほっと子育てふれあい事業」の更なる充実に努めます。	2	1
425	高校生まで医療費軽減してほしい。	医療費の助成を高校生まで拡充することについては、さらに対象分の経費が必要となる上、県の助成対象は小学校6年生までとなっており、全額一般財源で賄う必要があるため、当制度の拡充は難しいと考えております。 引き続き、国に対する助成制度の創設や県に対する助成拡充の働きかけを積極的に行います。	2	1
426	子どものフォーマル服（入学式や卒業式用）など、誰かに差し上げたいと思いつつ、そのままになっているご家庭も多いと思うので、有効活用できるルートがあるとよい。	現在、北九州市では、直接は、こうした取り組みを行っていません。 民間サービスとして様々なフリーマーケットのサイトが開設されており、そのような形で有効活用してもらおうのも1つ方法かと思えます。 このほか、元気のもりや子どもの館では、不要になったものを持ち寄る「もったいないバザール」というイベントを開催しています。 年に数回開催しており、人気あるイベントです。	2	1
427	経済援助については慎重にしてほしい。本当に援助が必要な人かどうかを見極めていかないと、逆差別になってしまうと思う。（高級車を何台所有していても保育料0円とか）	保育の無償化については、国の制度であり、北九州市で異なる制度を実施することは難しいと考えています。 経済的支援については、国の基準があればその基準に沿って、また、市の制度であれば、その制度の目的や解決すべき課題等を勘案して、それぞれ適正な基準を設け、運用を行っていきます。	2	1
428	出生率の増加に向けた対策として、市で中古の新生児用品（ベビーベッド、チャイルドシート、ベビーカー、ベビーガード等）を格安でレンタルするか、無料提供してほしい。	民間サービスではレンタルサービスが行われていますが、現在、北九州市ではこうした取り組みを行っていません。 様々な支援策を検討する中で、こうした取り組みについても研究していきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
429	学童手当や子育てに係る補助の充実を検討してほしい。	児童手当については、次代の社会を担う子どもの育ちを支援することを目的に、中学校修了前の子どもを養育する方に支給しています。 引き続き、制度の周知に取り組み、受給者の方の請求漏れの防止に努めます。	2	1
430	幼児教育の無償化について、保育所と幼稚園でなぜ3歳児の対応に違いがあるのか。同じ3歳児が保育所は学年齢から、幼稚園は満年齢からというのは納得できない。	今回の幼児教育・保育の無償化対象者についての国の方針は以下のとおりであり、北九州市においても同様の考え方で行うこととしております。 小学校就学前の3年間分の利用料を無償化することを基本的な考え方としており、このため、保育所等を利用する子供については、満3歳になった翌年度の4月から利用料が無償化されます。 一方、幼稚園については、①学校教育法上、満3歳（3歳になった日）から入園できることとされている、②満3歳児は翌年度の4月を待たず年少クラスに所属する場合も多い、③従前の幼稚園就園奨励費も満3歳から補助対象としている、といった他の施設・事業にはない事情を踏まえ、満3歳になった日から無償化の対象となります。	2	3
431	安心して子どもを産み育て、健やかに成長し、その子どもが、「自分もこのまちで子育てをしたい！」そう思えるまちになるには、子どもとその保護者が安心して暮らせる環境づくりが必要である。 そのためには、気軽に相談できるコミュニティの充実と情報発信や、地域の人・学校・課後児童クラブ等の魅力の向上と維持、そして、その連携が大切だと思う。 情報発信はSNSの方が子育て世代には伝わりやすい。 核家族が多く、世の中が早いスピードで進んでいく中、不安なこと、分からないこと等のさまざまな悩みや事情を差別、偏見なく、信頼して相談できる場所があり、話を聞いてもらったり、アドバイスをしてもらったり支援を受けることで問題を（様々なコミュニティが連携し、それを利用することで）解決していけるようになると良いと思う。 それを実現するには、環境の整備と意識の向上、直接その支援を行う機関やコミュニティに携わり、働く人が働きやすい環境を作っていくことも大切だと思う。	子どもプラン第3次計画は、5つの目標、15の施策を掲げ、子ども・子育てに関する様々な取り組みをまとめた総合計画となっています。 取り組みは数多くありますが、全ての取り組みを基本理念「子どもの未来、みんなの笑顔のために」でつなぎ、それぞれが関連し合いながら、計画を推進していくことが重要だと考えています。 情報発信については、素案117ページの＜方向性＞にも記載しましたとおり、最新の情報技術の活用も含め、保護者の生活様式に合わせたものを検討していきたいと考えています。	2	1
432	保育所の相談もコンシェルジュの方に親切に教えてもらったが、保育所や幼稚園に実際通わせてから問題も多く、アフターフォローなどがあるとよいと思った。	保育サービスコンシェルジュは、保育サービスの利用に関する相談に幅広く対応しています。 入所後のことについてもお気軽にご相談ください。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
433	未就学児、幼児のサポートは整ってきていると思うが、学童期、思春期の親の悩みは多いサポートが必要があると思う。	子育てなどに関し、わからないことや困ったことがあった時には、「24時間子ども相談ホットライン」等にご相談ください。 子ども・若者応援センター「YELL」では、悩みを抱えた子ども・若者はもちろん、ご家族からのご相談にも対応しています。	2	1
434	たくさんの支援があっても、自分にどの支援が必要なのか、どこに連絡したら良いのか全くわからない。代表電話番号に連絡したら、必要な支援の担当部署に繋げるなど（たらいまわしては無く）、利用しやすいシステム作りも必要である。	各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談にワンストップで応じ、各種支援制度を適用したり、関係機関等へつなぐ等それぞれの相談内容に応じた支援を行っています。「子ども・家庭相談コーナー」について、広く皆様にご存知いただけるよう周知に努めます。	2	1
435	企業に勤めている保護者は仕事に家事に大変忙しい状況で、仕事終わりに子育ての相談を誰かに行う時間を確保することが難しい。また、企業側は、育児支援が重要なことを理解しつつある状況だが、そのために割くコストを確保することが難しい状況もある。 そこで、行政からの働きかけとして、企業になるべく負担をかけず、現実的に育児支援を保護者に届けるために、事業者への子育て支援相談員を派遣してはどうか。 これにより、保護者は勤務時間内に子育て相談を受けられ、企業側は（相談時間分社員が働かないことになるが）無償で相談員を社員に提供でき、子育て支援が充実していることをPRできるメリットがある。	子育てに関する相談窓口として、各区役所に「子ども・家庭相談コーナー」を設置し、子どもと家庭に関するあらゆる相談にワンストップで応じ、各種支援制度を適用したり、関係機関等へつなぐ等それぞれの相談内容に応じた支援を行っており、お電話での相談も受け付けています。 また、お子さまや保護者のホットラインとして、「子ども相談ホットライン」も開設しており、こちらは24時間電話での相談を受け付けています。 なお、20名以上の団体・グループへは「出前講演」を実施していますので、子育てに関する議題で合致するものがございましたらご利用ください。	2	1
436	子育て支援に関して、市が率先して取り組まなければならないのは当然だが、全てをカバーできるとは思えない。 子育て世帯のために、子供たちのために力になりたいと思っている人や団体、企業はきっとたくさんあるので、そういった人たちの発掘にも力を入れてほしい。また、そこから新たに生まれる斬新なアイデアもあるのではないかとと思う。 行政の限界を補えるのは市民の力だと思うので、一方的に協力を求めるのではなく、良い意見にも悪い意見にも柔軟に耳を傾けてほしい。 今、困っているから助けを求めているので、スムーズに適切な支援が受けられるよう対応してほしい。数ある支援の全てにおいて、スピーディに対応できるシステムを作ってもらいたいと思う。	現在、少子高齢化や核家族化の進行などに伴う社会状況の変化に伴い、子育て支援をはじめとした公共サービスに対する市民ニーズは、多様化・複雑化し、拡大しております。 その一方、地域が抱える課題を解決しようとする地域団体や企業、専門性を有するNPOやボランティア団体などが増加しております。 ご意見いただきましたとおり、市が全ての公共サービスに対応することは難しく、様々な地域活動の担い手が目的を共有しながら、それぞれが持つアイデアや資源を持ち寄り、協働して地域課題へ対応していくことは大変重要だと考えております。 今後も皆様からのご意見や声にしっかりと耳を傾け、地域全体で子どもを見守り支えるまちづくりの実現に取り組みます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
437	現在、「こそだて情報誌」は配布されているが、月齢・年齢毎に利用できる行政サービスや情報・支援、各種受けられる手順や予防接種など、もう少し分かり易く、一目で分かるようなものがあるといいと思う。	「こそだて情報」については、ご意見を踏まえ、よりわかりやすい情報誌になるよう検討を行います。	2	1
438	計画の目標とSDG'sのゴールがはっきりと示されていて分かりやすかった。 妊娠・出産期～青少年期まできめ細やかな取り組みを計画されていて心強く感じたが、本当に制度が必要な人に情報が伝わるよう啓発、PRに工夫が必要だと思う	北九州市はOECDより「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」にアジア地域で初めて選定されるとともに、国より「SDGs未来都市」に選定されました。 こうしたことを踏まえ、子どもプランも、各取り組みをSDGsの17の目標と関連づけるようにしています。 啓発、PRについては、必要なサービスに確実にアクセスできるよう、様々な媒体を活用した広報に努めていく必要があると考えており、子育ての悩みや不安の解消につながる情報を、いつでもどこでも手軽に入手できるよう、工夫を凝らしていきます。	2	1
439	北九州市で生まれ（ほかのところで生まれても良いですが）育ち大人となって、北九州を愛し北九州に引き続き住みたい、たとえ大学等で一時期北九州を離れたとしても帰ってきたい、そんな思いの子どもをより多く育てないと人口は減り続ける。 北九州の良さを観光推進で、他の地域にアピールするのも必要だが、その前にもっと市民の子どもたちに知ってもらい、市民一人一人が観光大使になるくらいの機会を増やすなどして、市民の子どもたちの脳裏に、原風景として北九州の各所各地域が残るような遊びや教育を受ける仕組みがあったらいいと思う。	子どもころの様々な体験が、大人になってからも記憶として残り、地元への愛着を生むことにつながると考えています。 子どもたちが様々な体験をもつことができるよう、目標2に掲げる施策（3）～（6）などを推進していきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
440	<p>この素案を読んで、改めて放課後児童クラブの支援員としての子どもたちの現状を見ながら考えること、共稼ぎをする娘夫婦のサポートをする祖母として思うことがあった。</p> <p>まず、この第3次計画の全てが実現されることを期待する。</p> <p>この計画が北九州市民に周知され、市民の皆さんの手でさらに飛躍していくことが一番望ましいと思う。市の施策が一方通行にならぬように、子どもから高齢者の方々に北九州市の子どもプランはSDGsの17のゴールの達成に向け、「北九州市民誰一人として取り残さない」ことをスローガンに17のゴールを達成するという強い意志をしっかりと持って宣言してほしい。</p> <p>市内の幼稚園、小学校や中学校、大学にこのプランの出前講演や、学校の特別活動の学習中に取り組んだり、また児童クラブの活動中に盛り込み、子どもたちに子の施策を大いに理解してもらうことをお願いしたい。</p> <p>児童クラブの子どもたちに子ども用のパンフレットを見せると興味深く読み始め、感想を述べ始めた。パンフを持ち帰り、家で親と話し合った子どももいた。</p> <p>きっかけ作りをすることで、子どもたちも市政に興味関心を深めると思う。また、子どもから情報が入ることで保護者も情報を共有できると思う。</p> <p>行政と市民の情報の共有はとても大切であり、インターネットでの配信も効果があると思うが、子どもたちに動機付けをしていく上では、学習の立場からの理解が一番である。</p> <p>このプランを知るきっかけ作りを積極的に行ってほしい。</p> <p>プランを「知らなかった」のではなく、この計画を知っていたからこそ、「笑顔で生活できた!」「子育てするなら北九州市に戻る」「ずっとこのまちに住みたい」など、子どもたちからの声が出ると思う。保護者も同じように感じるのではないか。</p> <p>このプランの達成に向けては色々ハードルが多いと思うが、丁寧に実現化し、積み重ねていくことで、北九州市が笑顔いっぱいあふれるまちになると考える。</p>	<p>子どもプランを実効性のある計画にしているためには、素案34～35ページにも記載したとおり、行政だけでなく、地域や学校、企業など、「オール北九州」で協力して取り組むことが重要となります。</p> <p>今回のパブリックコメントでいただいた子どもたちの意見の中にも、自分も関わりたいという意識を感じました。</p> <p>この子どもプランの共通の目標「子どもの未来を育み、みんなの笑顔があふれるまち北九州」を実現していくため、子どもをはじめ、たくさんの人にこのプランを知ってもらえるよう、積極的に周知に取り組んでいきます。</p>	2	1
441	<p>北九州市は、子育てに関してのいろんな施設もしっかりしていて行政面において、子育てしやすい街だと思うが、幼児時代は育てやすくても小中高と進むにつれ、教育環境に魅力がないということが市の若い世代の人口増につながらない原因だと思う。</p> <p>引越するときネットを調べたところ、引越し先の相談をしているサイトで「どの校区はやめたほうがいい」、「北九州市自体やめたほうがいい」など書き込みを見て悲しくなった。実際、小学校時代に毎年数人が環境のよい学区に引越し、ママ友達は中学になる前に北九州から転動したいといていた。</p> <p>施策がいくら良くても、今の時代はネットで悪い噂はあっという間に広まる。せつかく、このような魅力ある施策をたくさん打ち出しているのに、中学生、高校生の活躍するケース等をアピールしていき、北九州市の子育て環境だけでなくその後の立派な大人に育った姿をもっと全国に知ってほしいと思った。</p>	<p>市内外の方に、北九州市の子育て環境の魅力を知ってもらうには、様々な子育て支援策を紹介することや、待機児童ゼロ・小児救急医療の充実などの成果を紹介することも大事ですが、こうした環境の中で立派に育った（育っている）子どもたちにスポットを当てることも、非常に重要で、PR効果も大きいと考えます。</p> <p>今後のPRの在り方を考えるうえでの参考にさせていただきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
442	より多くの人に情報が拡散される仕組みは多くあるが、関心の高い人にしか届かない可能性がある。本当に困っている人にどうしたら届くのか考えてほしい。	必要なサービスに確実にアクセスできるよう、広報に努めていくことが非常に重要だと考えています。引き続き、効果的な手法について検討を行います。	2	1
443	親の急な事情（体調不良や兄弟児の入院など）で子どもの世話ができなくなったときなど、緊急時の子どもの受け入れ先などの情報をまとめたハンドブックを小児科などに設置してほしい。情報を知っておきたい。	必要なサービスに確実にアクセスできるよう、利用者目線に立った効果的な情報提供の手法について検討していく中での参考とさせていただきます。	2	1
444	子育てに関する情報が届く仕組みの強化 市内各所（市民センターや区役所など）で子ども向けイベントが多数開催されているが、各施設等のHP等を確認する必要がある。イベント開催の日程や場所、天候による実施の可否を一元管理するHPがあれば、子育てで忙しい母親も最小限の労力と時間で予定を立てやすくなり、大変便利である。 このHPを運営する事務局をどこにするかという課題はあるものの、こうしたHPがあると大変便利なので、第3次計画で前向きに検討していただきたい。	必要なサービスに確実にアクセスできるよう、利用者目線に立った効果的な情報提供の手法について検討していく中での参考とさせていただきます。 市内で行っている様々なイベントを紹介するホームページは、利用者目線に立った効果的な情報提供につながるアイデアだと考えます。AIなど、最新技術の活用も検討しながら、利便性が高いホームページに取組んでいきたいと考えています。	2	1
445	「子どもの権利条約」の普及を徹底して「子ども」に行ってほしい。	今回の子どもプランでは、新たに「子どもの権利を大切にす視点を盛り込みました。 「子どもの権利条約」にうたう4つの権利も紹介しています。子どもプランや児童虐待防止等の周知と合わせ、子どもに対し「子どもの権利条約」の周知を行っていきます。 なお、新規の取り組みとして、「子どもの権利の周知、啓発」を追加します。	2	2
446	外国籍の子どもたちが学校生活や地域での生活で困らないようサポートする体制をつくり地域・市民センター・学校が連携して、北九州市全体で取り組むべきである。	教育委員会と連携し、日本語のサポートが必要な児童、生徒、保護者の支援を（公財）北九州国際交流協会を実施しています。 日本語や生活について教える教室を子育て施設や市民センターで開催し、学習や保護者の相談に対応しています。 今後学習者のニーズに応じて、開催場所・時間などを検討していきます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
447	概要版P16 ⑥外国人市民の子ども・子育てへの支援、 について 現在、子どもが通っている幼稚園に外国人が複数いるが、園から配付されるお便りの中の表現で、翻訳ソフトでは訳しにくいものが多々あり困っていた（たとえば、登園、降園などが難しい）。 園に向けて、外国人家族向けには、より一般的な単語で書かれたお便りを作成するよう働きかけ、支援が欲しい。	北九州市の私立幼稚園においても、外国人市民の受入れが増えており、特に幼稚園と保護者とのコミュニケーションが上手くいかないケースがあることを認識しております。 今後は、国際交流協会による行政通訳派遣等に加え、外国人市民を受け入れている幼稚園に対し、どういった支援が行えるのかを検討します。	2	2
施策13 家庭の育児力・教育力の向上（6件）				
448	小・中学校の家庭教育学級には、まず、北九州市職員の保護者が積極的に出席してほしい。	家庭教育学級の周知は、学校で配布する案内チラシや館報、市民センターのホームページ等で周知しています。 北九州市職員を含め多くの保護者が積極的に出席していただけるよう、様々な機会を捉えて周知していきたいと考えています。	2	1
449	4つの視点で、たくさんの取組みを検討されていて、どれも素晴らしいが、敢えて一点だけもっと充実させてほしいと思うのは、特に母親向けの教育である。 また、幼稚園・保育園児の両親向けの講座の充実、小中学校のPTAで開催されている家庭教育学級を、より効果的のものにすることも必要だと思ふ。	核家族や共働き世帯の増加、地域のつながり等、子どもや家族を取り巻く環境が変化している中で、今後の家庭教育学級のあり方について考え、今年度、家庭教育学級の運営等の見直しを実施しました。 また、参加できない保護者でも、家庭教育や子育てに役立つ情報の発信を行うこととしています。 今後、見直しの効果を検証し、家庭教育学級をより充実していきたいと考えています。	2	1
450	お母さんが学べる場が増えると家庭教育の面で、子育てしやすいまちにつながると思う。	親などが家庭で子どもの教育する心構えや子どもとの接し方、教育上の留意点など、家庭教育上の問題を勉強する家庭教育学級を市立幼稚園、小・中・特別支援学校・私立幼稚園・保育所で実施しています。 この家庭教育学級を、より充実したものにしていきたいと考えています。	2	1
451	子ども図書館で“親子読書会”、“親子勉強会”、“大人VS子ども ビブリオバトル”等の企画をしてはどうか。	子ども図書館では、親子で読書が楽しめるようなイベントを企画していきたいと考えています。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
452	成人の生活習慣病は、子ども時代からの食事のあり方、考え方が影響していると思うので、子どもの頃からの食育は本当に大事だと思う。	ご意見のとおり、成人の生活習慣病は、子ども時代からの食事のあり方や考え方に大きく影響を受けますので、子どもの頃からの食育は大変重要だと考えています。 子どもプラン第3次計画の中でも、各区役所等で行う「育児教室（離乳食教室、幼児食教室）」や保育所、幼稚園等で行う「親子ですすめる食育教室」などにおいて、引き続き食育を推進します。	2	1
453	子どもの8割以上が栄養不足であるということを目にする。夫婦共働きの家庭が増え、家庭生活に時間を割く余裕ないと思うが、食生活習慣は大人になり、家庭を持った後にも引き継がれるものである。 生活習慣病予防、医療費の抑制にもつながるので、素案P16に挙げられている「基本的生活習慣の定着や食育の推進」には、乳幼児期のみならず、小学生次期以降も対象にした継続した取り組みが必要ではないかと思う。	頂いたご意見のとおり、子どもの頃の食生活習慣は大人になり、家庭を持った後にも引き継がれることが多いと思います。第3次計画の中でも、各区役所等で行う「育児教室（離乳食教室、幼児食教室）」や保育所、幼稚園等で行う「親子ですすめる食育教室」「幼児期からの生活習慣病予防教室」等において、引き続き食育を推進してまいります。 また、小・中学生には、望ましい食習慣の習得のため、学校給食を「生きた教材」として活用し、栄養教諭等と連携した食育指導を行っているほか、献立表等の家庭配布、給食レシピのホームページ掲載など、家庭や地域に対する情報発信を行っています。	2	1
施策14 子育てと仕事の両立に向けた環境づくり（5件）				
454	市の職員から男女ともに育児休暇を義務化して、他の企業にも広めてはどうか。	平成30年度の市職員育児休業取得率は男性が20.3%、女性が100.0%となっています。 現時点で、市職員への育児休業の取得義務化は考えておりませんが、男性職員に対する育児休業取得促進に関する取り組みを進めていきます。	2	3
455	育休からの復職ではなく、再就職を希望するママの支援をしてほしい。	北九州市では、「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」「北九州市SDGs未来都市計画」等において、女性の就業支援を目標に掲げており、女性の就業支援施設である「ウーマンワークカフェ北九州」において、働きたい女性の就業支援をワンストップで行っています。 また、出産・育児等で離職し、今後働くことに関心を持つ女性を対象に、未就業女性の再就職を支援するセミナーを実施しています。 今後も引き続き、再就職を希望する母親も含めて、女性の就業支援に取り組めます。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
456	<p>子どもの急病等のときは、保護者が仕事を遅刻・早退・休暇できることに加え、PTA活動、学校行事に参加するための遅刻・早退・休暇ができることが必要だと思う。</p> <p>北九州市全体で働き方・子育て・生き方改革に取り組むためには、まずは北九州市がお手本になり、それからその経験を持って企業等に強く働きかけてほしい。</p>	<p>北九州市では、子等の看護又は行事への参加が可能な子育て支援休暇を設けており、時間単位での取得が可能です。</p> <p>また、自治会等への参加を促すとともに、そうした活動ができるよう職員のワーク・ライフ・バランスの推進を図っています。</p> <p>管理職の意識改革を図るイクボスの実践を推進し、市役所全体で職員の働きがいのある職場づくりを進めています。</p>	2	1
457	<p>共働きの家庭が増加している現代では子育てと仕事の両立支援を強化し、子ども達も元気に楽しく過ごせる環境づくりが更に必要になってくると思う。この取組を強化すれば親子共に安心して幸せな家庭づくりができるのではないかと考える。</p>	<p>子育てを楽しみ、子どもの成長に喜びを感じるため、保護者が男女問わず子育てに向き合うことができる時間、親子で過ごす充実した時間を持てるよう、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進に取り組むことが重要です。</p> <p>北九州市では、企業、働く人、市民、行政で構成された「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に取組を進めています。</p> <p>また、平成29年に、働きやすいまち北九州を目指して、企業・団体のトップによる「北九州イクボス同盟」を設立し、仕事と家庭生活の両立や多様な働き方を推進することで、誰もが能力を発揮できるよう企業の働き方改革を後押ししています。</p> <p>今後も引き続き、男女が共に働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するため、企業への取り組み支援や広報啓発事業を進めていきます。</p>	2	1
458	<p>共働き世帯が増えており、夫婦が協力しあって子育てをすることは、非常に重要である。働く女性が増えていても、依然として、家事や育児は女性の方に負担が大きくなりがちであり、早い段階から父親にも育児を自分のこととして積極的に関わってもらう必要がある。</p> <p>子育て支援施設で、父親も参加しやすいよう、休日に両親と子ども、父親と子どもなどで参加できるプログラムがあればいいと思う。</p>	<p>夫婦で協力して出産・育児に取り組む大切さを学ぶため、両親学級を実施しています。区役所で実施している育児学級等は、父親も一緒に参加できます。</p> <p>また、子育て支援施設（子育てふれあい交流プラザ）内の子育て支援サロン“びあちゃーれ”でも、年10回育児講座を開催しています。無料の託児所があり、両親でも参加していただけます。</p> <p>なお、区役所等に設置している親子ふれあいルームについては、父親や週末利用を希望する方へのサービス向上を図るため、対応可能な区の土曜日開所を進めていきます。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
施策15 子どもの安全を守る環境整備（11件）				
459	ママと子どもが（には限らないが）集えるカフェ等に、Wi-Fi環境をつくれば外国の方も情報を得たり、つながりやすい。	市ではお店でWifiが使えるようにすることはできませんが、商店街やお店を経営する人々を支援し、皆さんが行きたくくなるようなお店が増えるように取り組んでいきます。	2	4
460	通学路が車道・歩道ともに狭く、危ないなと感じることがある。白線で区切られているだけの段差のない歩道なので、車が離合のために歩道内に入って走っているのもよく見かける。 また、車の運転手側でも大きなカーブの先など見通しが悪いところで子どもが急に出てくるのでは、と危ない思いをすることもある。 歩道を広げたり、ガードレールを設置したり、見通しの悪い場所では横断できないようにする、など安全性向上のための整備をしてほしい。	通学路の安全確保については、平成27年11月に策定した「通学路交通安全プログラム」に基づき、学校関係者による事前点検を毎年度実施し、5年に一度は全ての小・中学校において、道路管理者や警察、学校関係者が連携して通学路の合同点検を行っています。 これらの点検で抽出された危険箇所については、道路管理者と警察で必要な対策を実施しております。 今後とも、通学路交通安全プログラムを活用しながら、通学路の安全確保に向け、必要な取り組みを進めます。	2	1
461	子どもの安全を守る環境整備について 子どもも（大人も）、自転車を交通手段として気軽に利用できる環境になればいいと思う。 今はレーン分けがあっても中途半端で逆に怖く思える事象もあり、レーン分けが正しい解決手段なのか疑問に思いつがある。	自転車は、法律で車道の左端を通行するようになっています。このため、北九州市では交通状況に応じて、自動車、自転車、歩行者を適切に分離する自転車走行空間の整備に取り組んでいます。 自転車走行空間には、いくつかの整備形態があり、自転車と自動車、歩行者を柵等で分離する「自転車道」、車道内で自転車の通行位置を区分する「自転車レーン」などがあります。自転車道は安全性に優れていますが、設置には広いスペースを必要とするなど、それぞれに特性があります。 そこで、北九州市では、道路の幅、交通量、住民の出入りなどから総合的に判断し、交通管理者である警察と協議しながら、適切な形態の自転車走行空間の整備を進めています。	2	1
462	道路の状態が悪いところや、車道と歩道のつなぎ目部分の段が高いところでは、ベビーカーを押しにくい。道路をフラットにしてもらえると、ベビーカーだけでなく、身体の不自由な人やお年寄りも歩きやすくなると思う。	子育て家庭をはじめ、誰もが安心して移動できる環境を実現するために、公共施設を中心とした地域における歩道の段差解消などのバリアフリー化に取り組めます。	2	1
463	小さな子どもが歩きやすいように歩道のバリアフリー化を検討してほしい。	地域の要望などを聞きながら、歩道や側溝などの修繕、段差の解消等を行い、歩行空間の安全性や快適性、利便性の向上を図ります。	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
464	<p>ひとたび惨事が起こったときの、心構えがとても大事である。</p> <p>体験を伴う訓練を通じて、実際被災した方々への思いやりや配慮ができるようになるのではないかと。土砂災害指定区域マップを見たことがない市民をゼロにすべきである。</p> <p>若い人が集まりやすい状況下でエリアごとに区切り、実際に避難行動を体験し、避難所として指定されている会場での宿泊体験や断水体験などを行なっておく必要があると思う。ローリングストックなど備蓄の工夫についても周知する。</p>	<p>北九州市では、市民の防災意識の向上を図るため、「防災ガイドブック」の全戸配布やハザードマップの紹介、出前講演などにより、日ごろからの備えについて、啓発を行っています。</p> <p>また、市民が災害を体感し、イメージできるように、①「地震体験車」の活用、②総合防災訓練や区の防災訓練、③DIG、HUG等の災害図上訓練（※）、④消防職員が指導する避難訓練等により、地域防災力向上のための支援を行っています。</p> <p>また、「みんなdeBousaiまちづくり推進事業」では、北九州市立大学での講義を通じた人材育成や、住民による地区防災計画の策定等、多方面から防災の取組に参加できるよう事業を展開しています。</p> <p>今後も、あらゆる機会を通じ、防災訓練や啓発を続けていきます。</p> <p>※DIGとは、「住民参加型災害図上訓練」のことで、大きな地図にグループで油性ペンや付箋などで、過去に発生したけがけ崩れ箇所や浸水箇所等を書き込み、見えてきた地域の災害リスク(脆弱性)について、その対応策を検討し、地域の防災力向上を図る、ゲーム感覚で行う災害図上訓練のこと</p> <p>HUGとは、「避難所運営ゲーム」の略で、避難所を舞台とし、参加者が避難所運営担当者となって、スペースを有効活用しながら、数多くの避難者を適切に配置できるか模擬体験する図上訓練のこと</p>	2	1
465	<p>公園、街灯を増やしてほしい。</p>	<p>「街灯」のうち、住宅地内など身近な道路を照らしている防犯灯は、自治会・町内会等が設置、管理しています。防犯灯を増やす場合には、設置箇所の住民合意をえた上で、自治会・町内会等の負担により、設置されます。一方、市が設置する街路灯・生活街路灯は、車を運転するドライバーが、夜間の歩行者に気付きやすくなるよう、交差点、横断歩道など決められた場所に設置しています。街路灯・生活街路灯が消えている場合は、各区まちづくり整備課にお知らせください。</p>	2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
466	地域の安全のために、防犯カメラの設置してはどうか。 （例）各家庭に一台ずつ玄関先に設置できるように補助金を出す。通学路となるところには防犯カメラを設置する。	道路上のカメラについては、プライバシー保護の観点から道路を維持管理する目的をもったものに限って設置しています。 防犯の観点では、主要駅周辺に市が設置した防犯カメラの運用を続けており、地域団体や事業者が防犯カメラを設置する場合には、その設置費用の一部を補助しています。 今後も、地域や警察と協力しながら安全対策に取り組みたいと考えています。	2	1
467	夜になると街灯が少なく暗いため、犯罪が起きやすいのではないかと。死角のない明るい街づくりをお願いしたい。防犯カメラを設置してほしい。	市民の暮らしの安全・安心に配慮し、道路空間の規定の明るさが保たれるよう努めていきます。 地域団体が管理する防犯灯については、設置費用及び維持管理費用の一部を補助するとともに、市が通学路上の防犯灯を設置するなど、夜間の安全対策を行っています。 また、道路上のカメラについては、プライバシー保護の観点から道路を維持管理する目的をもったものに限って設置しています。 防犯の観点では、主要駅周辺に市が設置した防犯カメラの運用を続けており、地域団体や事業者が防犯カメラを設置する場合には、その設置費用の一部を補助しています。	2	1
468	子どもを守るため、地域の高齢者による通学支援として、交通量の多い場所等での誘導や挨拶指導を行う。	北九州市では子どもたちが安全・安心に暮らせるように、以下の取り組みをしています。 ①北九州市の全校区には、地域住民の方々が発成している「生活安全パトロール隊」というボランティア団体があり、登下校の時に児童の安全指導や誘導を行っています。 通学路以外でも地域の見回りをして、声掛けをしながら、不審な車や人がいないか、防犯灯が切れていないか、などを確認しています。 ②子どもがあぶない場所を自分で見分けられるように、小学生を対象とした「地域安全マップづくり」を教えています。これは「入りやすく見えにくい」場所を「危ない場所」として、実際に歩きながら調べ、地図をつくり、そういった場所に近づかない、ひとりで行かないということを学びます。 ③そのほかに、「子ども防犯セミナー」があります。このセミナーでは防犯の専門家が先生になって、不審者からの「声かけ・つきまとい」から自分を守る方法を学びます。	2	1
469	子どもが1人で出歩くようになると、安全・安心面を不安に思うことがある。自治会に加入していなくても、地域の人とふれあい、深く関わり合っていくことで、地域の目で子どもたちを守っていけるような安全・安心の仕組みがあれば、よりいいと思う。		2	1

【意見の内容】

- 1 計画の趣旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- 2 計画の今後の進め方に対する考え方を述べた意見
- 3 計画の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- 4 計画には直接関係しない意見

【意見の反映結果】

- 1 計画に掲載済み（計画期間中に実施予定・検討を含む）
- 2 計画の追加・修正あり
- 3 計画の追加・修正なし

No.	意見概要	市の考え方	内容	反映結果
《その他》（6件）				
470	常に若者世代ではないと放置されてきた50代も含め対策を本気で行う。当事者家族講座、だけではだめで、ひあサポートや情報開示と地域の取り組みを本格化させる。居場所作りや丁寧な社会復帰支援を行う。 高齢者の全戸訪問、だけでなく、引きこもりの全戸把握を行う、防災面などからも行なっておくべきである。	50代も含めた大人のひきこもり対策については、北九州市でも重要な課題と考えています。今回のご意見も参考にしながら、北九州市の関係部署や機関等が連携して、ひきこもり対策を進めていきます。	4	4
471	ふれあいルームに行き、役所のトイレをよく利用している。便座の除菌スプレーを設置してほしい。	ご意見を参考に、市民の皆様が利用しやすい環境づくりにつとめます。	2	1
472	ルールをきちんと教え、筋を通していくには、小学校と中学校の連携が必要だと思う。 中学生になると制服・校則があるが、小学校では校則がないので、個性尊重＝好き勝手になりがちである。小学校で、個性尊重＝好き勝手に先生方が黙認し、中学に入り、環境が変わり慣れない中学生活の中、急に制服だ校則だと色々言われ、一番戸惑うのは子ども達である。 中学生は、まだまだ子供なので、大人の価値観で決めつけて、子どもの希望をつぶしてしまうような対応をしない為にも小学校と中学校が連携し、統一した教育をお願いしたい。	北九州市では、平成25年1月に策定した「北九州市小中一貫・連携教育基本方針」に基づき、現在の小中学校の施設（いわゆる分離型）の下で、小中学校の連携による一貫教育に取り組んでいます。各中学校区においては、児童生徒や地域の課題・実情等については、児童生徒や地域の課題・実情等について共通理解を図り、課題等に応じた教職員交流、児童生徒交流、保護者、地域交流等に組織的・計画的に「できるところから」取り組んでいます。	4	1
473	一般の人から意見を募集したいのなら、もう少し読みやすい（簡単な言葉など、文字も多すぎず）冊子や選択式のアンケートにした方が良い。	できる限り分かりやすい資料づくりに努めています。ご意見を踏まえ、改善を図っていきます。	3	1
474	子どもの意見を聞くために、子ども用の概要版を作られており、素晴らしいご判断だと思う。子どもの権利条約の「参加する権利」を行使することが出来る機会になる。実際に、今回、誰にどのように意見を聞いたのか紹介すると、子どもたちにとって、より「子どもプラン」が身近なものになると思う。	今回、初めての試みとして、子ども向けの概要版を作成しました。小学校や、放課後児童クラブなどから、子どもたちの意見がたくさん届きました。この場で紹介しています。	3	4
475	子ども用のプランについて、何歳ぐらいの子どもを対象として作成をしているのか。子どもの意見を反映するのは良いことだと思うが、プランの表現等が平易すぎて対象年齢が低すぎるように感じる（意見が言えるのか）。	子ども用の概要版については、概ね小学5年生くらいのお子さんが理解できるものを作成しました。 事前に専門の方にもご意見をいただきながら、作成を行いました。 たくさんのお子たちから意見をいただくことができました。	3	4